

東京女子高等師範學校
第六臨時教員養成所

一覽

自昭和五年
至昭和六年

第六東京女子高等師範學成校
臨時教員養成所

一覽

至自昭和六年

東京女子高等師範學校一覽

目 次

至昭和六年

勅諭、令旨及御歌	一
第一 教育要旨及生徒心得	六
一 東京女子高等師範學校教育要旨	六
二 東京女子高等師範學校生徒心得	六
第二 沿革略	八
第三 學年曆	十四
第四 關係法令	十六
一 師範教育令	十六
二 女子高等師範學校規程	十七
三 文部省直轄諸學校官制(抄)	十八
四 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)	三
五 文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ關スル件	三
六 帝國大學名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ノ待遇ニ關スル件	三
七 奏任文官及列任文官ノ優遇ニ關スル件	三
八 文部省直轄諸學校長職務規程	三
九 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集規程(抄)	三
十 文部省直轄學校外國人特別入學規程	三
十一 臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用	三
十二 高等師範學校等卒業者服務規則	三
十三 行幸啓ノ節學生生徒敬禮方(抄)	三
第十五 規則	三
一 東京女子高等師範學校規則	三

第一章 本科	四〇
第一節 總則	四〇
第二節 學科課程及教授時數	四〇
第三節 學年、學期及休業日	四〇
第四節 入學在學、休學及退學	四〇
第五節 成績考査修了及卒業	四〇
第六節 教育實習	四〇
第二章 研究科	四〇
第三章 專修科	四〇
第四章 選科生	四〇
二 東京女子高等師範學校保育實習科規則	四〇
三 東京女子高等師範學校附屬高等女學校規則	四〇
第一章 總則	四〇
第二章 學科課程	四〇
第三章 學年、學期及休業日	四〇
第四章 入學、在學休學及退學	四〇
第五章 成績考査、修了及卒業	四〇
第六章 授業料	一五
四 東京女子高等師範學校附屬小學校規則	一五
五 東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則	一五
六 東京女子高等師範學校生徒獎勵費給與規程	一五
七 東京女子高等師範學校授業費償還ニ關スル事項	一五
八 外國人特別入學規程細則	一五
九 聽講生編入規程	一五
六 東京女子高等師範學校規則施行細則	一五
一 第一章 選修科目及隨意科目	一五
二 第二章 式日	一五
三 第三章 入學及在學	一五
四 第四章 成績考査	一五
五 第五章 教育實習	一五
六 第六章 研究科及選科生	一五

二 寄宿舍規程	一二
三 生徒心得細則	一二
第一章 一般生徒心得	一二
第二章 寄宿舍生徒心得	一二
第三章 通學生生徒心得	一二
四 職員服務規程	一二
第一章 教官ノ服務	一二
第二章 事務員ノ服務	一二
第三章 學校醫ノ服務	一二
第四章 常直ノ服務	一二
五 校務分掌規程	一二
第一章 教育事務	一二
第二章 分課事務	一二
第六 圖書室規程	一二
七 附屬學校幼稚園主事等職務規程	一二
八 會議規程	一二
九 文書處理規程	一二
十 物品會計規程細則	一二
十一 本校生徒本籍府縣別	一二
十二 非常心得	一二
十三 嘉獎學資金	一二
一 嘉獎學寄附金管理規程	一二
二 嘉獎學資金	一二
三 嘉獎學資金ニ關スル規程	一二
十四 生徒	一二
一 生徒氏名	一二
二 生徒兒童幼兒數	一二
(1) 生徒兒童幼兒數	一二
(2) 本校生徒數	一二
(3) 附屬高等女學校生徒數	一二
(4) 附屬小學校兒童數	一二
(5) 附屬幼稚園幼兒數	一二

明治九年九月二十五日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨
今や開業の後日尙淺しといへとも生徒の學業既に進歩の効あることを見る誠に喜ふへ
し猶教員の善く導くと生徒の善く勉むるとを以て倍其上達を致さんことを望む所なり
明治十年十一月二十六日皇太后陛下皇后陛下附屬幼稚園ニ臨御アラセラレシ時皇
太后陛下ヨリ賜リタル令旨
義に此園の設けあるを聞き今其さまを觀るに幼稚の訓育稍々宜に適ひたることを知り
ぬ尙培訓育の方を竭し幼稚をして身を保ち智を増さしめることを望む

同年同月同日皇后陛下ヨリ賜リタル令旨

人の身を保ち智を増さんは稚き時の育方にあれば此園の業もいざ難かるへきをいま稚
き者共の状を觀るに其身の健にして其智の開けのかん效までまのあたりに知られたる
はまことに喜はしき事なり尙務めて此園の育方を普く敷きなは人々をして皆洪福あら
しめんこと誰れか疑ふへき

明治十二年二月十三日皇后陛下第一回卒業證書授與式ニ臨御アラセラレシ時賜リ

タル令旨
此學校創めて立しより教員善く教へ生徒善く學ひ今卒業證書授與の式を觀るに至る寔
に喜ふへしされと小しく成るに安んするは人情の常なれば縱ひ業を卒れりともますく
勉めて他日大に成ことあるを望む
明治十四年五月二十四日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨
生徒ノ學業年ヲ逐フテ進歩ノ効アルコトヲ見ル誠ニ喜ハシ猶教員ノ善ク導クト生徒ノ
善ク勉メシコトヲ望ム

明治十九年五月十八日東京師範學校ニ臨幸アラセラレシ時賜リタル勅諭
本日親しく此校に臨み教務改良諸事整理の緒に就くを見るは朕か甚だ嘉みする所なり
教官等の勉勵に因り將來益進歩する所あらんことを望む
明治四年十一月二十九日博善王妃殿下開校四十年分立二十五年記念式ニ臺臨アラ
セラレシ時賜リタル令旨
茲ニ開校四十年紀念式ノ舉行ニ際シテ恭ク

皇后陛下ノ旨ヲ承ケ來リ臨ミテ此ノ盛事ヲ賜ル欣喜何ソ勝ヘム惟フニ明治八年
昭憲皇太后ノ開校ノ式ニ臨ミタマヒシヤ深ク當局者ノ計畫ヲ嘉シ親諭シテ他日ノ効果
ヲ庶幾シタマヘリ蓋今日女子教育ノ隆運ヲ馳致シタルハ其ノ胚胎セシ所亦甚遠シト謂
フヘクシテ實ニ從事ノ人眞勉努力シテ懿旨ニ奉答センコトヲ期セシニ外ナラストス
皇后陛下遺範ヲ紹述シタマヒ方ニ女子教育ノ事ニ御心ヲ注キテ更ニ將來ノ大成ヲ望マ
セタマヘハ諸員ハ宜ク益奮勵シテ敢テ或ハ懈ルコトナカルヘシ

大正十四年十一月二十九日皇后陛下開校五十年記念式ニ臨御アラセラレシ時賜リ
タル令旨

茲に親しく開校五十年記念式を舉くるの盛事を見る欣悦何そ勝ヘム
昭憲皇太后義に開業の式に臨ませられ深く當路の計畫を佳尙し女子教育を發展せしむ
へきこゝを親諭せらる惟ふに今日の興隆由て来る所已に尙し從事の人常に志を此に置
き又能く時世の進運に鑑みて解ることなく業を修むる者亦意を潜めて訓育の國家人心
と須くも離るへからざる所以を究めは庶幾は
遣範に副ふことあらむ各自其れ之れを眞めよ

昭和五年三月二十七日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル御言葉

本日此校ニ臨ミ詳ニ課業ノ實際ヲ見學校長ヲ始メ職員等ガ熱心ニ教導ニ當リ生徒等モ
亦眞率ニ勉勵シツツアルハ満足ニ堪ヘズ
此校ハ創設以來既ニ五十餘年ヲ經成績愈々揚ガリ國家社會ニ貢獻セシ所洵ニ多シ此レ
實ニ

昭憲皇太后並皇太后陛下ノ御懿旨ニ副フ所以タルヲ信ズ
今ヤ女子教育ハ益々振興ノ必要ヲ感ゼシムルモノアリ諸子宜シク此校ノ本旨タル師範
教育ガ眞ニ女子教育ノ源泉ヲ爲スヲ思ヒ一層努力ヲ加ヘ以テ時世ノ進運ニ伴ハシコト
ヲ期スベシ

第一 比較女子高等師範學校
第二 比較女子高等師範學校

第三 比較女子高等師範學校

第四 比較女子高等師範學校

第五 比較女子高等師範學校

第六 比較女子高等師範學校

第七 比較女子高等師範學校

第八 比較女子高等師範學校

第九 比較女子高等師範學校

第十 比較女子高等師範學校

第一 教育要旨及生徒心得

一 東京女子高等師範學校

教育要旨

本校ハ女子教育ノ淵源ニシテ風教化育ノ依テ
生スル所ナレハ殊ニ教育ニ關スル勅語ノ趣旨
ヲ奉體シテ其ノ實効ヲ學ケンコトヲ務ムヘシ
乾坤德ヲ異ニシ陰陽行ヲ同シクセス本校ノ教
育ハ一ニ女子ノ性ニ順ヒテ之ヲ施スヘシ
德義ヲ以テ教化スルハ教育ノ骨髓ナリ本校生
徒ハ他日人ノ師表母儀タルヘキ重任ヲ負フモ
ノナレハ最モ品行ノ端正志操ノ廉潔ヲ尚ハシ
ムヘシ且ツ謙讓ノ美德ト進取ノ氣象トハ偏廢
スヘカラス二者其ノ宜シキヲ得シムヘシ
生徒心身ノ關係ニ注意シテ其ノ健康ヲ増進セ

二 東京女子高等師範學校

生徒心得

一 本校生徒ハ卒業ノ後國家教育ノ重任ニ當
ルヘキ者ナリ故ニ特ニ教育ニ關スル勅語ノ
大旨ヲ奉體シ德ヲ修メ業ヲ勵ミ以テ其ノ本
分ヲ盡サシコトヲ期スヘシ
一 常ニ貞淑勤儉ヲ旨トン聊カモ虛偽浮薄ノ
言行ヲナス可ラス言ハ衷心ヨリ發シ行ハ誠
意ヨリ出テ女子ノ師表タルヘキ德操ヲ備ヘ
シコトヲ務ムヘシ
一 校規學則ヲ守ルハ勿論時々ノ訓諭命令ニ

從ヒ尊長ヲ恭敬シ朋友ヲ信愛シ常ニ禮節ヲ
正シクシテ師弟ノ義長幼ノ序ヲ明ニスヘシ
一 平素衛生ニ注意シテ眠食勞逸ノ度ヲ節シ
以テ身體ノ健康ヲ増進セシコトヲ務ムヘシ

第二 沿革略

八

廣ク世局ノ進巡ニ鑑ミ女子教育ノ忽ニスヘカラサルヲ察シ明治七年一月文部少輔田中不二磨ハ女子師範學校設置ノ必要ヲ具シテ太政大臣ノ裁可ヲ乞フ茲ニ於テ文部卿ハ同年三月十三日神田區宮本町八番地後現時ノ本郷區湯島三丁目二十四番地ニ變更ラトシテ東京女子師範學校ヲ創立セリ之ヲ本校ノ起源トナス
明治七年 四月十四日小杉恒太郎校長ニ任セラル
明治八年 二月二日皇后陛下本校ノ設立ヲ嘉シ給ヒ御内庫金五千圓下賜セラル〇七月廿九日當校ニ於ケル學科ヲ定メラレタルヲ以テ翌八月教則ヲ制定ス〇十一月十八日中村正直代リテ本校ノ攝理トナル〇同月二十九日校舍新

明治十年 十一月二十六日皇太后陛下皇后陛下幼稚園ニ行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治十一年 六月保姆練習科ヲ置ク〇七月附屬小學校ヲ創設シ練習小學校ト稱ス
明治十二年 二月十三日第一回卒業證書授與

式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ〇同月豫科ヲ廢ス
明治十三年 五月福羽美靜代リテ本校攝理トナル〇七月大ニ校則ヲ釐革シ保姆練習科ヲ廢シ幼兒保育法ハ之ヲ本校ノ課程ニ編入シ再ヒ豫科ヲ置ク
明治十四年 二月十二日禮節教場新設落成ノ旨聞シ召サレ特ニ攝理ヲ召シ皇后陛下ヨリ該教場用トシテ抱一上人筆三幅對畫幅ヲ賜フ〇四月附屬練習小學校ノ教則ヲ改メ附屬小學校ト改稱ス〇五月二十四日皇后陛下行啓アラセラル〇七月那珂通世校長ニ任セラル
明治十五年 七月豫科ヲ廢シ附屬高等女學校ヲ設置シ附屬小學校ノ教則ヲ改メ附屬女兒小學校ト改稱ス〇十二月二十六日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル
明治十八年 八月本校及附屬校園ヲ東京師範

學校ニ合併シ本校ヲ東京師範學校女子部ト稱ス時ニ高嶺秀夫東京師範學校長タリ
明治十九年 二月附屬高等女學校ヲ文部大臣官房附屬トシ東京高等女學校ト稱スマ
明治二十年 四月先ニ勅令ヲ以テ公布セラレタル師範學校令ニ基キ東京師範學校ヲ改メテ高等師範學校ト稱ス〇同月山川浩校長ニ任セラル
明治二十三年 三月二十四日高等師範學校女子部ヲ分離シ女子高等師範學校ト稱シ東京高等女學校及高等師範學校附屬幼稚園ヲ本校ノ附屬トシ別ニ附屬小學校ヲ設置シ高等師範學校附屬小學校ノ女兒ヲ轉學セシム〇同月中村正直校長ニ任セラル〇十二月二十五日御親署定ム〇六月校長中村正直卒去村岡範爲馳校長勅語ヲ下賜セラル
明治二十四年 四月本校學則及寄宿舍規則ヲ

心得ヲ命セラル○八月十日中川謙二郎代リテ
校長心得ヲ命セラル○八月十六日細川潤次郎
校長ニ任セラル
明治二十五年 四月二十五日皇后陛下行啓ア
ラセラル○五月附屬小學校分室ヲ設ク○九月
附屬幼稚園分室ヲ設置ス
明治二十六年 二月七日皇太子殿下ノ御寫眞
ヲ下賜セラル○三月附屬校園ノ規則ヲ改正ス
○十月十六日皇后陛下行啓アラセラル
明治二十七年 三月秋月新太郎校長ニ任セラ
ル○五月本校各部ノ内規ヲ定ム○六月本校教
育要旨ヲ定ム○七月附屬小學校規則ヲ改正ス
○十月本校規定ヲ定ム○十二月本校規則ヲ改
正シテ選科ヲ置ク
明治二十八年 四月附屬高等女學校規則ヲ改
正ス○十月本校生徒心得ヲ定ム○十一月寄宿
舍規則ヲ改正ス

明治二十九年 五月本校規則ヲ改正シ專修科
ヲ置ク○五月十八日皇后陛下行啓アラセラル
○七月本校規則ヲ改正シ保姆練習科ヲ置キ十
月授業ヲ開始ス
明治三十年 九月第一回家事專修科及第二回
保姆練習科ノ授業ヲ開始ス○十一月高嶺秀夫
校長ニ任セラル○十二月養ニ公布セラレタル
文部省令ニ基キ本校規則ヲ改メ科ヲ分チテ文
科理科ノ二トナシ生徒定員ヲ二百名トス
明治三十一年 一月本校規則ヲ改メ研究科ヲ
設置ス
明治三十二年 二月本校規則ヲ改正シ文理科
科ノ外ニ技藝科ヲ置キ生徒定員ヲ増シテ三百
名トナス○三月高等女學校令ニ基キ附屬高等
女學校ノ規則ヲ改メ同月附屬小學校規則ヲ定
ム○六月國語專修科地理歷史專修科ノ規則ヲ
定ム

明治三十三年 一月國語專修科ヲ置ク○三月
本校規則ヲ改正シ本校生徒假入學ノ件ヲ削除
シ又曩ニ發布セラレタル幼稚園設備準則ニ基
キ附屬幼稚園規則ヲ改正ス○五月本校規則中
試験ニ關スル件ヲ改正ス○六月國語專修科ノ
名稱ヲ改メテ國語漢文專修科トナス○九月地
理歴史專修科ヲ置キ授業ヲ開始ス
明治三十四年 一月第三回保姆練習科ノ授業
ヲ開始ス○二月改正小學校令及小學校令施行
細則ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス○同月高
等女學校令施行規則ニ基キ附屬高等女學校ノ
規則ヲ改正シ補習科ヲ廢シテ修業年限三箇年
ノ專攻科ヲ置ク○六月國語漢文專修科及附屬
高等女學校ノ規則ヲ改正ス○九月第二回國語
漢文專修科ノ授業ヲ開始ス
明治三十五年 一月地理歴史專修科規則ヲ改
正シ修業年限ヲ延ヘテ二箇年トシ學科目中ニ

英語ヲ加フ○二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス
○三月生徒學資支給規則ヲ改正セラル○四月
第二回地理歴史專修科及家事專修科ノ授業ヲ
始ム○同月附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○
七月本校規則中ニ改正ヲ加フ○十月二十八日
皇后陛下行啓アラセラル
明治三十六年 一月國語體操專修科ヲ置ク○
四月國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス○十月文
部省令第三十二號ニ基キ本校規則ヲ改正シ同
時ニ附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○十二月文
部省令第三十六號ニ據リ生徒學資支給規程ヲ
定ム

明治三十七年 二月訓令ニ依リ附屬小學校第
三部ニ二部教授ヲ施行スルコトトシ其ノ規則
ヲ定ム○同月小學校令施行規則ヲ改正ニ基キ
附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月附屬小
學校第三部ニ二部教授ヲ開始ス○同月文部省

令第三號ノ趣旨ヲ準用シ出征又ハ應召軍人ノ子女ニ對シ授業料ヲ免除ス○五月第三回家事専修科ノ授業ヲ開始ス○同月數學物理化學專修科ヲ設置ス○十月數學物理化學專修科ノ授業ヲ開始ス○十二月本校及附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ

明治三十八年 一月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス○同月國語體操專修科規則第七條試驗科目中ニ漢文ヲ加フ○三月教員服制ヲ改正ス○同月附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○四月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月研究科生徒學資支給規程ヲ定ム○官費研究科授業ヲ開始ス○同月第二回國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス○十一月家事專修科ノ規則ヲ改定シ修業年限ヲ延ヘテ三箇年トス

明治三十九年 三月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月保育實習科ヲ設置ス○四月當校内ニ第

六臨時教員養成所英語科ヲ置カル○同月第四回家事專修科ノ授業ヲ開始ス○五月保育實習科ノ授業ヲ開始ス○六月生徒學資支給規則中ニ改正ヲ加フ○十月地理歷史專修科ノ規定ヲ改正シ修業年限ヲ延ヘ三箇年トス

明治四十年 二月附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月官費研究科第二回ノ授業ヲ開始ス○五月第三回地理歷史專修科國語體操專修科及第二回保育實習科ノ授業ヲ開始ス○六月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス○十一月本校規則中改正ノ豫備トシテ教育實習ニ關スル條項ヲ假定シ四十一年度ヨリ試ニ施行スルコトトス○十二月小學校令中改正ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス

明治四十一年 三月文部省令第三號ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月三十日勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制改正ノ結果

果トシテ當校ハ四月一日ヨリ東京女子高等師範學校ト改稱ス○六月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月五日皇后陛下行啓アラセラル○十一月二十九日皇孫迎宮淳宮兩殿下成ラセラル明治四十二年 一月第三回保育實習科ノ授業ヲ始ム○二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス○三月前年度ニ於テ假ニ施行セル教育實習ニ關スル條項ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月當校内ニ附設セラレタル第六臨時教員養成所ノ英語科ヲ廢シ更ニ家事科ヲ置カル○四月第三回官費研究科ノ授業ヲ始ム○同月外國人特別入學規程細則ヲ定ム○五月私費專修科生徒寄宿舍ヲ牛込區揚場町ニ設ケ東京女子高等師範學校寄宿分舍ト稱ス○同月第五回家事第四回國語體操兩專修科ノ授業ヲ始ム○十二月十三日皇孫光宮殿下成ラセラル

明治四十三年 二月二十二日校長高嶺秀夫薨

去ス○同二十三日教授飯盛義造校長代理ヲ命セラル○三月四日仙臺高等工業學校長中川謙二郎校長ニ任セラル○四月十一日第四回保育實習科ノ授業ヲ開始ス○五月六日各學科ニ主任ヲ置ク○七月一日生徒學資支給規程ヲ改正ス○十月四日圖書主任ヲ置ク○十月二十六日生徒及卒業生授業費ニ關スル件ヲ定ム○十一月十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ文理科科技藝科ヲ更ニ各第一部第二部ニ分チ生徒ノ定員ヲ増シテ四百五十人トシ私費生ヲ置ク○十二月二十日寄宿舍規則中ニ改正ヲ加フ

明治四十四年 二月一日附屬校園規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬小學校第三部ニ補習科ヲ置ク○四月小石川區原町百二十五番地ニ校外寄宿舍ヲ新設シ之ヲ第三寄宿舍ト稱シ從來ノ寄宿分舍ヲ第二寄宿舍ト改稱ス○同月寄宿舍生徒心得ニ改正ヲ加ヘ通學生徒心得ヲ定ム○五月二

十三日事務員分掌規程中ニ改正ヲ加ヘ圖書掛
ヲ新設ス○六月五日附屬高等女學校同小學校
ノ規則中ニ改正ヲ加ヘ夏季休業ヲ短縮ス○六
月十七日本鄉區湯島三丁目二十三番地所在東
京高等師範學校所用土地建物ヲ本校ノ管理ニ
屬セラル○九月八日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ
本科ニ於ケル試験科目ヲ定メテ各科共通トス
○十月七日入學志願者心得ヲ定ム
明治四十五年一月十八日選科細則ヲ定ム○
同月二十五日生徒學資支給規程中ニ改正ヲ加
ヘ研究科ノ定員三人ヲ十人以内ニ改ム○同月
二十三日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加ヘ本園
ヲ第一部分室ヲ第二部ト改メ第一部ニ於ケル
保育料ヲ増シ第二部ノ保育料ヲ徵收スルコト
トス○二月一日附屬高等女學校規則中ニ改正
ヲ加ヘ定員ヲ増シテ四百人トシ授業料ヲ増シ
専攻科學科課程ヲ改メ選科生ハ第二部ニ限り

入學ヲ許スコトトス○三月二十八日附屬小學
校規則中ニ改正ヲ加フ○四月第三寄宿舍ヲ牛
込區赤城元町二十五番地ニ移シ第二寄宿舍ヲ
第六臨時教員養成所寄宿舍トナス○六月三日
皇后陛下行啓アラセラル○六月十二日第一回
女子通俗講話會ヲ開催ス○六月三十日職員心
得及附屬校園職務規程ヲ定ム○七月六日皇太
子皇太子妃兩殿下ノ御寫眞ヲ下賜セラル仍テ
明治二十六年二月下賜セラレタル皇太子殿下
ノ御寫眞ヲ返納ス
大正元年十月十二日本校規則中ニ改正ヲ加
ヘ從來生徒ハ地方長官ノ薦舉ニ依ルモノナリ
シヲ其ノ出身學校長ノ薦舉トナシ同時ニ入學
志願者心得ヲ改ム○同月十五日學科主任ヲ
置ク○同月二十三日學校醫職務規程ヲ定ム○
同月二十八日明治四十五年六月三日皇后陛下
行啓ノ節下賜セラレタル金員ヲ恩賜獎學資金

トシテ永久ニ保管スルコトトス○同月三十日
圖書室規程ヲ定ム

大正二年一月二十四日生徒學資支給規程中
ニ改正ヲ加フ○三月三日共通學科主任ヲ置キ
同日女子教育研究部ヲ設ケ主任ヲ置ク○三月
八日本校規則中ニ改正ヲ加フ○四月一日附屬
校園規則中ニ改正ヲ加フ○東校舍ニ接續シテ
增築セル本校々舍一部竣工ス○第二寄宿舍ヲ
本鄉區森川町一番地ニ設ク○同月十一日本校
生徒ニ佩用セシムヘキ徽章ヲ定ム○五月二十
日女子教育研究部規程ヲ定ム○七月二十四
日西校舍明治八年築造ヲ取毀ツ○十二月十八
日醫局ヲ新設シ主任ヲ置キ其ノ職務規程ヲ定
ム○同日寮務掛ヲ新設シ事務員事務分掌規程
ヲ改正ス

大正三年二月二日必要アル場合ニ於テハ各
科ニ副主任ヲ置クコトトシ技藝科ニ副主任ヲ

置ク○二月十九日附屬高等女學校並附屬小學
校規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬小學校ノ補習科ヲ
廢シ附屬高等女學校ニ修業年限二箇年ノ實科
ヲ置ク○三月五日獎學寄附金管理規程ヲ定ム
○三月二十日東校舍ニ接續シテ增築セル校舍
落成ス○三月二十三日本校規則中ニ改正ヲ加
ヘ技藝科ヲ家事科ト改稱シ文科及理科ニ於ケ
ル第一第二ノ部別ヲ廢シ學資ハ總ヘテ自費ト
ナス○三月三十一日附屬高等女學校實科規程
ヲ定メ四月一日ヨリ實施ス○四月十五日保育
實習科主任ヲ置ク○六月十日附屬高等女學校
學校規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬高等女學校ニ於
ケル教育ヲ必修科目トシ生徒ノ定員ヲ増シテ
五百人トナス○十一月十二日生徒獎勵費給與
規程ヲ定ム○十一月十七日本校及附屬高等女

學校卒業式日ヲ三月二十七日ニ改メ同小學校
卒業式日ヲ三月二十六日トナス○十一月二十
一日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ
○十二月一日昭憲皇太后御遺物梨子地桐鳳凰
薄繪御料紙文匣同硯箱ヲ下賜セラル
大正四年 一月物品會計規程細則ヲ定ム○二
月二十五日保育實習科規程ヲ改正シ授業料ヲ
徵收スルコトトナス○同月同日寄宿舍規則中
ニ改正ヲ加フ○同月同日附屬校園規則中ニ改
正ヲ加フ○三月十二日會議規程ヲ改メ教授會
ヲ設ク○三月二十七日家事參考品室ヲ設ク○
四月十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ入學檢定料
ヲ徵收スルコトトシ選科生ノ授業料ヲ定ム○
四月二十四日第二回女子通俗講話會ヲ開催ス
○五月二十八日外國人特別入學規程細則中ニ
改正ヲ加ヘ入學檢定料ヲ定メ附屬高等女學校
專攻科ニ入學スル者ノ授業料ヲ定ム○八月二

日學科主任學級主任及學科目主任規程ヲ定ム
○八月三日庶務教務會計ノ三掛ニ掛長ヲ置ク
○八月十四日高等女學校令施行規則ノ一部改
正ニ基キ附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ
加フ○九月三日附屬高等女學校專攻科規則ニ
改正ヲ加ヘ同科卒業者ニシテ相當ノ成績ヲ得
タル者ハ無試驗檢定ニ依リ家事科教員ノ免許
狀ヲ授與セラルル途ヲ開ク○十月一日勳章授
與式例第五條ニ依リ勳章授與式次第ヲ定ム○
十月二十一日天皇陛下御真影ヲ下賜セラル○
十一月五日第三回女子通俗講話會ヲ開催ス○
十一月卒業者ノ爲講習會ヲ開催スル計畫ヲ以
テ其ノ第一回ヲ開ク○十一月即位ノ大禮ヲ行
ハセラレタルニ付此ノ曠古ノ盛典ヲ記念スル
爲大禮記念文庫ヲ設ク○十一月二十九日開校
四十年分立二十五年記念式ヲ舉行ス當日ハ皇
后陛下思召ヲ以テ特ニ博恭王妃經子殿下ヲ御
幸

差遣アラセラレ殿下ヨリ令旨ヲ賜フ此ノ日昭
憲皇太后ノ御下賜品御遺物等ノ保管並明治時
代ニ於ケル我國文化ノ發達變遷ヲ記念スヘ
キ物品ノ陳列ヲナス爲明治記念室ヲ設ク○十
二月十七日明治記念室主任ヲ置ク
大正五年 一月十四日庶務主任及教務主任ヲ
置ク○一月十五日圖書主任ヲ圖書室主任ト改
メ其ノ規程ヲ定ム○三月二十八日圖書室規程
ヲ改正ス○四月寄宿舍生徒心得及通學生徒心
得ヲ改ム○五月十六日附屬校園規則中ニ改正
ヲ加フ○五月二十五日教育實習ニ關スル規程
ヲ定ム○六月十二日附屬幼稚園規則中ニ改正
ヲ加フ○六月十四日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ
本科入學志願者年齡十七年ヲ十六年トス○六
月十八日第四回女子通俗講話會ヲ開ク○七月
十二日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○
八月四日獎學資金ニ關スル規程ヲ定ム○十月

二十一日皇后陛下、皇太子殿下御真影ヲ下賜セ
ラル○十月二十三日皇后陛下行啓アラセラル
○十一月卒業者第二回講習會ヲ開ク
大正六年 六月九日第五回女子通俗講話會ヲ
開ク○六月十一日東京音樂學校長湯原元一校
長ニ任セラル○七月六日前校長中川謙二郎名
譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○七月二十五日卒業
者第三回講習會ヲ開ク○十一月二十七日本校
ニ於ケル重要事項ヲ評議スル機關トシテ評議
員ヲ設ケ十二月六日其ノ規程ヲ實施ス
大正七年 四月二十五日卒業生ノ身上ニ關ス
ル取扱内規ヲ定ム○五月二十五日第六回女子
通俗講話會ヲ開ク本會ハ從來本校ノ事業トシ
テ繼續シ來リシカ今回之ヲ卒業生團體櫻蔭會
ノ事業ニ移ス○六月五日東伏見宮妃周子殿下
台臨アラセラル○八月一日卒業者等第四回講
習會ヲ開ク○十月一日退職職員送別ニ關スル

内規ヲ定ム○十一月二十八日教育實習ノ改善ヲ圖ル爲假規定ヲ定メ試ニ之ヲ實施ス
大正八年三月附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ無試驗検定ニ依リ中等教員家事科免許状授與ノ特典ヲ得○四月四日本校規則中ニ改正ヲ加へ家事科第二部ヲ廢シ家事科第一部ヲ家事科トナス○同月同日圖畫專修科設置規則制定ノ許可ヲ得新ニ修業年限三箇年ノ圖畫專修科ヲ置ク○四月十六日學科主任學級主任及學科自主任規程ニ改正ヲ加へ學級主任ヲ止ム○四月二十六日寄宿舍内規及通學生心得ヲ改正ス○圖畫專修科主任及副主任ヲ置ク○五月十九日圖畫專修科ノ授業ヲ始ム○五月三十日寄宿舍規則ヲ改正ス○十月八日現代ニ於ケル内外ノ情勢ニ就キ精確ナル理解ト正當ナル判断トヲ與フル目的ヲ以テ現代科ヲ置ク

大正九年三月三十一日許可ヲ得テ附屬小學校規則中ニ改正ヲ加へ第三部ニ於ケル授業料ヲ徵收スルコトス○大正八年度中ニ於テ寄宿舍食堂及寮舍ノ一部改築ヲ了ス○六月九日附屬高等女學校專攻科ニ於ケル夏季休業ノ期間ヲ改メテ本校同様トナス
大正十年二月十七日許可ヲ得テ本校並圖畫專修科規則中ニ改正ヲ加へ入學試驗科目中ニ英語及代數初步ヲ加へ教育實習期間ヲ減縮ス○三月十六日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加へ專攻科ニ於テ從來ノ第一部第二部ヲ廢シテ新ニ國語部、英語部、家事部ノ三部ヲ置ク○四月二十六日書記ノ定員ヲ増シテ七名トス○五月四日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ○七月九日豫テ當校職員及櫻蔭作樂兩會員中ニ於ケル有志ノ醸金ヲ以テ當校開校四十年分立二十五年祝賀記念ノタメ建築ノ計畫アリ

シカ工事落成ヲ告ケタルヲ以テ本日之ヲ當校ニ寄贈セリ仍テ受ケテ記念館ト稱ス○十一月九日校長湯原元一東京高等學校長ニ轉任、松本高等學校長茨木清次郎校長ニ任セラル○十二月十四日本校及附屬校園規則中ニ改正ヲ加ヘ本校選科附屬各部ニ於ケル授業料保育料ヲ増額シ附屬高等女學校生徒ノ検定料並入學料ヲ増徴スルコトス又保育實習科ノ定員ヲ増シテ二十名トシ同時ニ授業料ヲ増シ検定料ヲ徵收スルコトトス
大正十一年三月三日附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ加フ○七月十四日文部省告示ヲ以テ中等教員無試驗検定ニ關スル指定學校及學科中ニ改正ヲ加ヘラレタルニ依リ當校附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ國語部ニ在リテハ國語、英語部ニ在リテハ英語、家事部ニ在リテハ家事ノ免許狀ヲ授與セラルコトトナレ

大正十二年九月一日午前十一時五十八分稀有ノ大地震アリ煉瓦建ノ校舍(本部)ハ龜裂ヲ生シ加フルニ破壊墜落セシ箇所多々到底再ヒ使用スルニ堪ヘサル程度ノ損害ヲ被リシカ木造ノ校舍ハ其ノ一部ノ屋根瓦搖落セシニ止リ被害比較的少カリシモ西方ヨリノ延火ニ依リ僅ノ災ニ罹レリ但御真影其ノ他貴重品ハ之ヲ奉還シ緊要書類ハ其ノ一部分ヲ搬出スルヲ得タリ○九月二日東京音樂學校内ニ假事務所ヲ設け應急事務ヲ開始ス○九月十七日御真影其ノニ表門々衛所一棟ヲ残シテ午後五時悉ク類焼一日假事務所ヲ東京府女子師範學校内ニ移シ子師範學校内ニ本校ノ一部及附屬高等女學校專攻科假事務所、東京高等師範學校内ニ本校ノ

一部及附屬小學校ノ假教場ヲ、女子學習院内ニ附屬高等女學校本科及實科ノ假教場ヲ、帝國女子專門學校内ニ本校ノ一部及附屬幼稚園假保育場ヲ設ケ東京盲學校内ニ第一假寄宿舎ヲ、東京府立第五高等女學校内ニ第二假寄宿舎ヲ置ク○十月十五日附屬小學校ノ授業ヲ始ム○十月二十二日附屬高等女學校本科及實科ノ授業幼稚園ノ保育ヲ開始ス○十一月一日本校附屬高等女學校專攻科及第六臨時教員養成所ノ授業ヲ始ム○十一月八日獎勵費給與規程中ニ改正ヲ加フ○十二月八日皇后陛下女子學習院ニ行啓ノ際當校附屬高等女學校ノ授業ヲ御巡覽アラセラル

大正十三年 一月三十一日東京盲學校内ニ假設セル寄宿舎ヲ東京府立第五高等女學校内ニ設ケタル第二假寄宿舎ニ移ス○三月二十日本鄉區湯島三丁目舊校舍跡ニ昨年震災後建築ニ

着手シタル假校舍略落成シタルヲ以テ全部復歸ス新築假校舍ハ木造平家ニシテ其ノ建坪五千七百餘坪、工費九十七萬餘圓ヲ算ス○六月十日震災直後宮内省ニ保管ヲ願ヒ置キタル御眞影其ノ他ノ貴重品ヲ本校ニ奉安ス○十月二十七日皇后陛下行啓アラセラル

大正十四年 四月一日勅令第八十號ヲ以テ職員定員令中改正ヲ加ヘラレ助教授九人ヲ八人ニ改メラル○五月十三日岩川友太郎東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○六月十一日東伏見宮妃周子殿下臺臨アラセラル○十一月二十九日開校五十年ニ相當スルヲ以テ記念式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ

大正十五年 八月二十七日文部省令第二十八

號ヲ以テ生徒募集規程ヲ改正セラレタルヲ以テ本校規則中ニ改正ヲ加ヘ十月五日許可ヲ得タリ之ニ仍リテ從來ノ志望學科ニ對スル第一第二ノ制ヲ廢シ入學試験科目ニ就テハ國語、英語、數學ハ各科共通トシ外ニ文科ニ在リテハ歴史又ハ地理ヲ理科室事科ニ在リテハ物理、化學又ハ動物植物ノ内其ノ一ヲ課ス而シテ選拔試験ハ之マテ東京府ヲ除クノ外ハ當該學校ノ屬スル地方廳所在地ニ於テ地方長官監督ノ下ニ施行セシカ之ヲ限定シテ東京、奈良、札幌、仙臺、金澤、松江、廣島福岡ノ八ヶ所ニ試験場ヲ設ケ直接本校監督ノ下ニ試験シ右ノ外沖繩縣竝朝鮮臺灣關東州樺太、青島ノ管外各廳下ニ於ケル志望者ハ其ノ當該長官監督ノ下ニ受驗セシムルコトトナレリ○九月十八日校内ニ於ケル一般ノ情報ヲ通知スル爲毎週土曜日校報ヲ發行スルコトトナス○校門開閉ノ時間ヲ定ム○九月二

十八日會議規程中ニ改正ヲ加フ○十月二十九日評議員會規程並同細則中ニ改訂ヲ加フ
昭和二年 二月二十三日保育實習科規則中改正ノ件許可セラル本改正ニ依リ課程及實習ヲ了ヘタル者ニハ卒業證書ヲ與フルコトトナリ○二月二十八日校長茨木清次郎浦和高等學校長ニ轉任浦和高等學校長吉岡輝甫校長ニ任命セラル○三月三十一日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○五月一日本校ニ於ケル旅費支給內規ヲ定ム○六月十七日本校細則中職員服務規程、校務分掌規程、會議規程及評議員會內規ヲ改定シ九月十一日ヨリ實施ス○九月一日附屬高等女學校ノ規則ヲ改正ス○同月十一日本校規則ヲ改正ス○同月同日本校規則施行細則ヲ制定ス○十月寄宿舎規程及生徒心得細則ヲ制定ス○十二月勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ本校ニ

助手二名ヲ置カル

昭和三年 一月七日保育實習科規則ヲ改正ス

○二月一日昭和三年三月限本校圖畫專修科廢止ノ件並ニ昭和四年三月限附屬高等女學校實科廢止ノ件認可セラル但附屬高等女學校實料ハ現ニ在學スル生徒及昭和三年四月入學スヘキ者ニ對シテハ其ノ卒業スルニ至ル迄仍之ヲ存續ス○二月二日生徒願届書式例ヲ定ム○四月四日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○五月四日遠足修學旅行及見學ニ關スル事項ヲ定ム○六月十五日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○六月二十日本校及保育實習科附屬高等女學校附屬小學校附屬幼稚園規則ヲ改正シ皇太后陛下御誕辰ヲ休業日ニ加フ○八月二十三日生徒獎勵費給與規程並ニ獎學資金ニ關スル規程中ニ改正ヲ加フ○八月入學者選拔ノ方法ヲ改正シ沖繩縣朝

鮮臺灣關東州樺太胥島ノ入學志願者ニ對シテ

ハ從前ノ通各廳ニ選拔試驗ノ施行ヲ委託スルモ内地ノ入學志願者ニ對シテハ本校並ニ奈良女子高等師範學校ニ於テノミ選拔試驗ヲ施行シ之ニ引續キ第一次身體檢查ヲ施行スルコトトス又入學志願者ヲシテ文科理科及家事科ニ就キ志望ノ順位ヲ定メ二科ヲ併セ指定スルヲ得シム○九月十四日勅令第二百三十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加へ訓導二十一人ヲ二十二人ニ増員セラル○十月九日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル○十月三十日勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ニ改正ヲ加へ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ別ニ生徒主事補ヲ置カル同時ニ勅令第二百五十七號ヲ以テ定員令中ニ改正ヲ加へ教諭ノ次ニ生徒主事書記ノ次ニ生徒主事補各一人ヲ加ヘラル○十一月十日大禮記念事

二三

業トシテ新校地ニ記念植樹ヲナスコトトス○十一月二十六日小石川區大塚町三十五番地ノ十四號、東青柳町二十八番地ノ一號ニ於ケル二萬七千二百六十四坪ヲ新校地トシテ文部省ヨリ交付セラル○十二月二十日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加ヘ専攻科英語部ハ昭和四年三月限廢止スルコトトス但現ニ在學スル生徒ニ對シテハ其ノ卒業ニ至ルマテ仍之ヲ存續ス昭和四年 一月十二日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○一月十八日會議規程及生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○二月二十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ規則第三十五條第一號ニ依リ一旦退學シタル者モ退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再ヒ入學シ得ルノ途ヲ開ク○三月七日聽講生編入規程ヲ定ム○三月十一日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○七月十七日文書處理規程ヲ定ム○九月六日勅令第二百六十六號ヲ以

テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加へ教授二十八人ヲ三十人ニ、助教授八人ヲ十人ニ増員セラル○九月十四日本校規則並ニ同施行細則中ニ改正ヲ加ヘ各學科ニ選修ノ區分ヲ設ク○十一月二十二日本校新營寄宿舍(小石川區大塚町三十五番地所在)ノ工事竣成ニ付移轉ヲ了ス

昭和五年 二月一日校門開閉ノ時間中ニ改正ヲ加フ○三月二十七日皇后陛下行啓アラセラレ御言葉ヲ賜フ○四月二十五日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○五月二十九日勅令第百九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ助教授十八人ヲ十二人ニ増員セラル

第三學年曆

至昭和五年四月

二四

昭和五年

四月一日 本校附屬學校第一學期及附屬幼稚園春季休業始

四月三日 神武天皇祭

四月七日 附屬學校及幼稚園春季休業終

四月八日 附屬學校第一學期及附屬幼稚園第一期始業

四月十日 本校春季休業終

四月十一日 本校第一學期始業 本校生徒入學式

四月廿九日 天長節 拜賀式

六月廿五日 皇太后陛下御誕辰 拜賀式

七月十日 本校及附屬高等女學校專攻科第一學期及附屬幼稚園第一期終業

七月十一日 本校、附屬高等女學校專攻科及附屬幼稚園夏季休業始業

七月二十日 附屬高等女學校本科及附屬小學校第一學期終業

七月廿一日 附屬高等女學校本科及附屬小學校夏季休業始業

八月卅一日 本校附屬學校第一學期及附屬幼稚園第一期終業

九月一日 本校及附屬學校第二學期、附屬幼稚園第二期始業

九月十日 本校附屬高等女學校專攻科及附屬幼稚園夏季休業終業

九月十一日 本校及附屬高等女學校專攻科第二學期、附屬幼稚園第二期始業

九月廿四日 秋季皇靈祭

十月十七日 神嘗祭

十月三十日 教育勅語喚發四十週年記念式

十一月三日 明治節 拜賀式

十一月廿三日 新嘗祭

十一月廿九日 開校記念日 記念式

十二月廿四日 本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園第二期終業

十二月廿五日 大正天皇祭 本校、附屬學校及幼稚園冬季休業始業

十二月卅一日 本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園第二期終業

昭和六年

一月一日 本校附屬學校第三學期及附屬幼稚園第三期始業

一月七日 本校、附屬學校及幼稚園冬季休業終業

一月八日 本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園第三期始業

二月十一日 紀元節 拜賀式

三月六日 皇后陛下御誕辰 拜賀式

春 分 日 春季皇靈祭

第四 關係法令

二六

一 師範教育令

(明治三十年十月九日勅令第三百四十六號)

第一條 高等師範學校ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス。女子高等師範學校ハ師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス。師範學校ハ小學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス。前項ニ記載シタル學校ニ於テハ順良信愛威重ノ德性ヲ涵養スルコトヲ務ムヘシ。

第二條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ東京ニ各一校ヲ設置シ師範學校ハ北海道及各府縣ニ各一校若ハ數校ヲ設置ス。

第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ

文部大臣ノ管理ニ屬シ師範學校ハ地方長官ノ管理ニ屬ス。

第四條 師範學校ノ經費北海道及沖繩縣ヲ除クハ府縣稅又ハ地方稅ノ負擔トス。

第五條 師範學校ノ設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム。

第六條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ募集及卒業後ノ服務ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム。

第七條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ學資ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ學校ヨリ之ヲ支給スヘシ。

前項ノ外文部大臣ノ定ムル所ニ依リ私費生ヲ置クコトヲ得。

二 女子高等師範學校規程

(明治三十年十月十二日文部省令第
二十四號、明治三十二年第一號ヨリ
大正三年第五號マテ屢次改正)

第一條 女子高等師範學校ノ學科ヲ分チテ文科理科家事科トス。

第二條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歷史、地理、外國語、家事、音樂、體操トス。理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、礦物及地質植物、動物、生理及衛生、外國語、家事、圖畫及手工、音樂體操トス。

家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、裁縫、手藝、手工、圖藝、圖畫、國語、外國語、數學、音樂、體操トス。

家事科ハ之ヲ分チテ第一部及第二部トナス。

附 則

第十條 本令ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス。

明治十九年勅令第十三號師範學校令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス。

第十一條 他ノ法令中尋常師範學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然師範學校ト改正セラレタルモノト看做ス。

參 照

明治三十五年五月勅令第九十八號直轄諸學校官制改正ヲ以テ廣島高等師範學校ヲ加フ明治四十年三月勅令第六十八號直轄諸學校官制改

コトヲ得

學校長ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ前各項ノ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第三條 前條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトヲ得

第四條 女子高等師範學校ノ學科ハ師範學校女子部ノ課程ニ照シ更ニ一層精深ナル程度ニ於テ教授スルモノトス

第五條 女子高等師範學校各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第六條 削除

第七條 第四學年生徒ハ附屬學校及幼稚園ニ於テ實地授業及保育ニ從事セシム

第八條 生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘ

シ

文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資及授業費ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 生徒在學中疾病ニ罹リ若ハ學業進マス又ハ品行修マラサルカ爲ニ成業ニ適セスト認ムルトキハ學校長ヨリ退學ヲ命スヘシ

第十條 女子高等師範學校ノ卒業生又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノニシテ第二條ニ規定シタル科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

研究科ノ修業年限ハ一箇年乃至二箇年トス

第十一條 師範學校女子部及高等女學校教員ノ缺乏ヲ充タス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトヲ得

專修科ノ學科目及其ノ程度並修業年限、募集人員、入學者資格等ハ其ノ都度文部大臣ノ認

ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得

三 文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年勅令第八十六、號明治二十九年第二百二十六號ヨリ昭和四年第一百四十四號マテ屢次改正)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

可ヲ經テ學校長之ヲ定ム
第十二條 師範學校女子部又ハ高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル者ニシテ各學科中ノ一科目若ハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得
選科生ハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身教育ヲ兼修スルコトヲ要ス
選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但シ特別ノ事情アル者ニ就キテハ學校長ニ於テ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第十三條 一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル本科生ニハ學業ノ成績ニ依リ所設ノ科目中其ノ數ヲ限り修メシムルコトヲ得

附 則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ學校長ニ於テ便宜本令

東京女子高等師範學校 奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校 鹿兒島高等農林學校
上田躉絲專門學校 東京高等躉絲學校
京都高等躉業學校 鳥取高等農林學校
三重高等農林學校 宇都宮高等農林學校
岐阜高等農業學校 宮崎高等農林學校
千葉高等農藝學校 長崎高等商業學校
山口高等商業學校 小樽高等商業學校
名古屋高等商業學校 福島高等商業學校
大分高等商業學校 產根高等商業學校
和歌山高等商業學校 橋濱高等商業學校
高松高等商業學校 高岡高等商業學校

第一高等學校	第二高等學校	明治專門學校	東京高等工藝學校
第三高等學校	第四高等學校	神戶高等工業學校	濱松高等工業學校
第五高等學校	第六高等學校	德島高等工業學校	長岡高等工業學校
第七高等學校造士館	第八高等學校	福井高等工業學校	山梨高等工業學校
新潟高等學校	松本高等學校	秋田鐵山專門學校	東京高等商船學校
山口高等學校	松山高等學校	神戶高等商船學校	東京外國語學校
水戶高等學校	山形高等學校	大阪外國語學校	東京高等商科醫學校
佐賀高等學校	弘前高等學校	東京美術學校	東京音樂學校
松江高等學校	東京高等學校	東京盲學校	東京聲樂學校
大阪高等學校	浦和高等學校	東京育英學校	東京體育學校
福岡高等學校	靜岡高等學校	京都高等學校	東京高等工業學校
高知高等學校	姫路高等學校	東京高等師範學校	東京高等農業學校
廣島高等學校	富山高等學校	東京高等師範大學	東京高等師範大學
熊本藥學專門學校	京都高等工藝學校	東京高等師範大學	東京高等師範大學
名古屋高等工業學校	桐生高等工業學校	東京高等師範大學	東京高等師範大學
米澤高等工業學校	京都高等工業學校	東京高等師範大學	東京高等師範大學
橫濱高等工業學校	熊本高等工業學校	東京高等師範大學	東京高等師範大學
金澤高等工業學校	生徒主事	東京高等師範大學	東京高等師範大學
	教授	東京高等師範大學	東京高等師範大學
	助教	東京高等師範大學	東京高等師範大學
	書記	東京高等師範大學	東京高等師範大學

正徳三年
前項職員ノ

前項職員ノ外文部省直轄試験學校職員定員令
ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大
命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ附屬職員ヲ監督

第八條 教授ハ勅任又ハ委任トシ助教授ハ判任、又生徒ヲ教督セズ。

任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

生徒主事ノ専任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ委任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事

徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之

ヲ補ス

ル
生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌

十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務
會計ニ從事ス

十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ
會計ニ從事ス

關稅法令

第十條ノ三 助手ハ判任トス教授又ハ助教授
ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス
第十一條 第六條ニ掲タル職員ノ外女子高等
師範學校ニ教諭、助教諭、訓導及保姆ヲ置ク
教諭ハ委任トシ助教諭、訓導及保姆ハ判任ト
ス

教諭及助教諭ハ附屬高等女學校ノ生徒ノ教
育ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス
訓導ハ附屬小學校生徒ノ授業ヲ掌リ兼テ師
範生徒ノ實地授業ヲ監督ス

保姆ハ附屬幼稚園幼兒ノ保育ヲ掌ル

三一

官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得。一
第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得。

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ専行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ。

第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムル事。

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト。

第三 傅給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト。

第四 教官以下内國各地出張ニ關スルコト。

第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト。

第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト。

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト。
第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト。

第四條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ。

九 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集規程(抄)

(文部省令第二十八號 大正十五年八月二十七日)

第二條 女子高等師範學校文理科家事科及專修科ノ生徒ハ左ノ各號ノ一一該當シ身體健全品行方正ニシテ出身學校長ノ推薦シタル者ニ就キ試験ノ上之ヲ選拔ス但シ第三號又ハ第四號ニ該當スル者ニ付テハ女子高等師範學校長ニ於テ出身學校長ノ推薦ニ代ル。

ヘキ適當ノ方法ヲ定ムルコトヲ得。

一 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者。

二 專門學校入學者検定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者。

三 前號ノ外專門學校入學者検定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験検定ヲ受クル資格ヲ有スル者。

四 專門學校入學者検定規程ニ依リ試験検定ニ合格シタル者。

第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ノ入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一一該當スル者ハ入學ヲ許サス。

一 身體虛弱ナル者。

二 精神機能ニ障碍アル者。

三 急治ノ見込ナキ重症トロームヲ患フ

ル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得ニサル視力障碍ヲ有スル者。

四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者。

五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル者。

六 高度ノ脊柱彎曲著シキ畸形又ハ運動障碍ヲ有スル者。

七 肺其他ノ機關ニ結核性疾患アル者。

八 癪ヲ患フル者。

九 重症心臟疾患ヲ患フル者。

一 惡性腫瘍腎臟疾患糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者。

二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者。

三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者。

第四條 高等師範學校長及女子高等師範學校長ハ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第一條及第二條ニ規定シタル事項ノ外生徒推薦ニ關スル條件ヲ定ムルコトヲ得
第五條 第一條及第二條ニ規定シタル選拔試験ノ學科目及其ノ程度、期日場所、募集人員、出願手續其ノ他必要ナル事項ハ當該學校長ニ於テ豫メ官報ヲ以テ公告ス
第六條 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當該學校長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
高等師範學校生徒募集規則及女子高等師範學校生徒募集規則ハ之ヲ廢止ス

十 文部省直轄學校外國人特別

入學規程

(明治三十四年十一月)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ
第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ
第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ
第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサ

ルコトヲ得
第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ承ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得
附 則
第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト看做ス
第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規定ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢ス

十一 臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用

(文部省令第十六號)

テハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス
第一條 本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校、圖畫師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業者ニ適用ス
第二條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス
① 一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間
二 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ其ノ修業年限ノ二分ノ一二相當スル期間
前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ於テハ通シテ八年ヲ超エス
第三條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年

間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ

有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其ノ期間トス

一學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス

第四條 卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其ノ理由ヲ具シ道府縣ニ奉職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ

免除セラレタルモノトス

第五條 卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ掲ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學

資ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學資學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀被奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條 卒業者ニシテ服務年限中研究科專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セムトスルモノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアル

者服務規則同年文部省令第三號東京音樂學校

甲種師範科卒業者服務規則及明治四十五年文部省令第八號臨時教員養成所卒業者服務規則

ハ之ヲ廢ス

十三 行幸啓ノ節學生生徒敬禮

方(抄) (明治四十三年八月廿六日文部省訓
號大正五年第五號ヲ以テ改正)

第七條 卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科專攻科若ハ帝國大學學部等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規定ニ依ル大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ規定ニ依リ服務義務ナキモノノ服務ハ仍從前ノ例ニ依ル

明治四十二年文部省令第二十五號高等師範學校卒業者服務規則同年文部省令第二十七號女子高等師範學校卒業者服務規則明治四十二年文部省令第二號東京美術學校圖畫師範科卒業

二 武裝セサル場合女生徒ヲ含ム

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮官ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ(氣ヲ付ケ)ノ號令ヲ下シ一齊ニ脫帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ランム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ(禮ノ號令ニテ敬禮セシメ體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)直レノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

第五規則

四〇

一 東京女子高等師範學校規則

第一章 本科

第一節 總則

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼テ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第二條 學科ヲ分チテ文理科、家事科トス

第三條 各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第四條 生徒ノ定員ハ凡四百五十人トス

第五條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、外國語、音樂、體操トス

第六條 理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理化

學植物、動物、生理及衛生、礦物及地質、外國語、音楽體操トス
第七條 家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事裁縫、理科、圖畫、手藝、外國語、音樂體操トス

第八條 各學科ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトア

ルヘン

第九條 文科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身

修養論、教育ニ關スル勅語、戊申詔書及國民道

德論、倫理學

法制及經濟、作法

教育

心理學、論理學、教育學、教育史、教授

文學

講讀、習字、文法、作文、作歌、文學史

數學

算術、代數、幾何、三角法、解析幾何

物理

微積分、數學雜論、演習

化學

無機化學、有機化學、理論化學大意、實驗

植物

形態、組織及細胞、生理、遺傳、分類

生物

磁氣學、實驗

動物

生態、生物學史、應用、國藝、實驗

分類

形態、組織、發生、生理、生態

生理及衛生

營養、生理、運動生理、神經生理、衛生學

通論

礦物、通論、礦物各論、地殼ノ構造及發達

體操

體操、遊戲及競技、教練、體育概論

教育

第十條 理科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

規則

四一

實驗	外國語英語	音樂	體操	文科二準ス
第十一条 家事科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如				
家事	纖維及織物	衣類整理法	食物及營養	
教育	料理法	住居	養老	
文科二準ス	家計簿記	育兒	看護	
修身	家事概論	家事	家事	
裁縫	裁縫	裁縫	裁縫	
和服裁縫	和服裁縫	洋服裁縫	洋服裁縫	
圖畫	圖畫			
生物學	物理學	化學	生理及衛生	園
理	實驗			
藝				
裁縫				
和服裁縫				
圖畫				

自在畫	考案畫	手藝	編物	刺繡	音樂
第十二條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ					
文科二準ス	地歴	漢文	國語	教育	修身
每週教授時數ハ左表ニ依ル	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年
	外國語	地理	史	漢文	國語
	三	四	五	三	七
	四	五	六	二	二
	三	四	五	七	二
	二	三	四	五	三
	一	二	三	六	四

規則	生理及衛生	動植物	植物學	化學	物理學	數學	教育	修身	學科	學年
	一	三	三	四	四	五	二	二	計	音樂
	一	三	三	三	三	五	二	二	三	二
	二	三	三	三	三	六	三	二	三	二
	二	六	七	六	七	七	四	二	三	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第三學年、第四學年ノ國語(四)(六)ト歴史(二)(三)及
地理(二)(三)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選修セシム
第三學年、第四學年ノ英語各一ハ隨意科目トス
第十三條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ
毎週教授時數ハ左表ニ依ル

家事	教	修	學科	學年
	事	育	身	第一學年
	二	二	二	第二學年
	四	二	二	第三學年
(四七)	三	二	二	第一、二期學年
(五九)	四	二	二	第一、二期學年
一	三〇	一	一	第三學年

第十四條 家事科ノ各學年ニ於ケル各學科目
ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

第三學年、第四學年ノ英語各一ハ隨意科目トス
ヲシテ其ノ一ヲ選修セシム物理及化學ヲ選
修スル者ニ對シテハ第三學年ノ鑑物及地質
二ヲ必修セシム

	計	體操	音樂	外國語	鑑物及地質
	三	三	二	三	一
	三	三	三	二	二
	三	三	三	二	二
	三	三	三	一	二
	三	三	三	一	一
	三	三	一	一	一
	三	一	一	一	一

第三學年、第四學年ノ數學(六)(一三)ト物理(二)(七)
及化學(三)(六)ト植物(三)(七)及動物(三)(六)トハ生徒
ヲシテ其ノ一ヲ選修セシム物理及化學ヲ選
修スル者ニ對シテハ第三學年ノ鑑物及地質
二ヲ必修セシム

第三學年、第四學年ノ英語各一ハ隨意科目トス
ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

	裁縫	理科	圖畫	手藝	外國語	音樂	體操	計
七	七	六	二	二	三	二	三	三
(四)	(五)	六	一	一	一	一	一	三
五	五	四	一	一	一	一	一	一
五	五	四	一	一	一	一	一	一

第三學年第四學年ノ家事四(五)ト裁縫四(五)ト
ハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選修セシム
第三學年第四學年ノ英語各一ハ隨意科目トス
第十五條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十
一日ニ至ル
第十六條 學年ヲ分チテ三學期トス
第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至
リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日

ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三 十一日ニ至ル	春季休業四月一日ヨリ同十日ニ至ル	天長節四月二十九日	秋季皇靈祭秋分日	皇太后陛下御誕辰六月二十五日	春季休業四月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル	神嘗祭十月十七日	夏季休業七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル	明治節十一月三日
新嘗祭十一月二十三日	開校記念日十一月二十九日	冬季休業十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル	紀元節二月十一日					

皇后陛下御誕辰 三月六日	春季皇靈祭 春分日	第四節 入學在學休學及退學	第十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年 ノ始ヨリ三十日以内トス	第十九條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左 ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ	身體健全品行方正ニシテ教員タルニ適 當ナリト認ムル者	年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同 等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大 臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者	(三) 前號ノ外專門學校入學者検定規程ニ 依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗 検定ヲ受クル資格ヲ有スル者	(四) 専門學校入學者検定規程ニ依リ試驗 検定ニ合格シタル者
二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(一)又ハ(二)ノ 學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於 テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メ タル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコト ヲ得	(一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者 (二) 專門學校入學者検定規程ニ依リ卒業 者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業 ヲ得	三 年齡十六年以上二十二年未滿ニシテ夫 ヲ有セサル者	二十條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル 入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ 推薦ヲ要ス	出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願 者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様 式ニ依ル入學志願者ノ入學志願票履歷書、學 業成績調查人物考定書、身體檢查書及寫真ヲ				

添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘシ
 第二十一條 第十九條第二號ノ三又ハ四ニ該
 當スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定
 ムル様式ニ依ル入學志願票履歴書身體検査
 書及寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ
 第二十二條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職
 務ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第二
 十條又ハ第二十一條ニ掲記セル書類ノ外本
 屬長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス
 第二十三條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一
 ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス
 一 身體虛弱ナル者
 二 精神機能ニ障碍アル者
 三 急治ノ見込ナキ重症トロホームナ患フ
 ル者又ハ眼鏡ヲ以テ○五以上ニ矯正シ得
 サル視力障碍ヲ有スル者
 四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者

五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル者
 六 高度ノ脊柱彎曲著シ半畸形又ハ運動障
 碍ヲ有スル者
 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
 八 癖ヲ患フル者
 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 一〇 慢性腫瘍腎臟疾患糖尿病又ハ重症貧血
 ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 一二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ
 異常アル者若クハ他ニ感染ノ虞アル疾患
 アル者
 四 第二十四條 入學志願者ハ入學検定料金參圓
 ヲ所定ノ期間内ニ納付スヘシ
 既納ノ検定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付
 セス

第二十五條 入學志願者ニ對シ選拔試験及第

一次身體検査ヲ行フ但第一次身體検査ハ選
 拔試験ノ施行ヲ他ニ委託セル場合ニ於テハ
 之ヲ行ハサルコトアルヘシ
 前項ニ依リ入學志願者ニ就キ入學候補者ヲ
 選拔ス
 選拔試験ノ科目及其ノ程度期日場所募集人
 員其ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之
 ヲ公告ス
 第二十六條 入學候補者ハ指定ノ期間内ニ戸
 籍謄本ヲ差出スヘシ
 第二十七條 入學候補者ニ對シ第二次身體檢
 查及口頭試問ヲ行フ但第一次身體検査ヲ行
 ハサル入學候補者ノ身體檢查ハ第一次及第
 二十八條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル
 曆書ヲ差出スヘシ

第二十九條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ
 保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル
 一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ
 談當スル者ナキトキハ他ノ尊族又ハ後見人
 ニ就キ之ヲ定ムヘシ
 第三十條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居
 住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ
 代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住
 スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム
 者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人
 ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
 代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替
 ヘシムルコトアルヘシ
 第三十一條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定
 ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
 第三十二條 生徒ノ學資ハ總テ私費トス但別
 ニ定ムル所ノ規程ニ依リ學資ヲ補給スルコ

トアルヘシ

第三十三條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給ノ學資ヲ償還ス

ヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 引續キ二箇月以上課業ヲ缺キ又ハ缺クヘシト認メタル者ニハ一箇年以内休學ヲ命ス但時宜ニ依リ本文ニ依ラサルコトアルヘシ

第三十五條 左ノ各號ノ一一該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者

二 學業進マスシテ成業ノ目途立タサル者

三 二回同一學年ニ止レル者

四 品行修ラサル者

五 本校教育ノ趣旨ニ適セサル者

第三十五條ノ二 前條第一號ニ依リ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再

ヒ入學ヲ志願スルトキハ其ノ身體ヲ検査シタル上同一學年以下ニ限り之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス

第五節 成績考査修了及卒業

第三十七條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス

第三十八條 各學科目ハ之ヲ一ノ評點科目トス但毎週教授時數ヲ顧慮シ之ヲ二以上ノ評

點科目ニ分ツコトアルヘシ

教育中教育實習ハ之ヲ二ノ評點科目ト看做ス各評點科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高トス

第三十九條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ平素ノ學業ノ成績又ハ試驗及平素ノ學業

ノ成績ヲ考査シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四十條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ各學期成績評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム但

第四學年ニ於テハ第一學期及第二學期成績評點ノ和ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ學年成績ト看做ス

第四十一條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成績評點ノ和ヲ四除シタルモノヲ八倍シ之ニ

教育實習ノ成績評點ヲ加ヘ十除シテ之ヲ定ム

第四十二條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成績評點全課程ヲ卒業シタル者ニ依リ

之ヲ認定ス

第四十三條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテハ卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

ハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

右者本校何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス
番 號 年 月 日 東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某印

第四十四條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生徒ニハ其ノ學業成績ヲ顧慮シ規定ノ學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ

前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ

様式ハ左ノ通之ヲ定ム

右者本校何科何又ハ何々科々缺クノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス
番 號 年 月 日 東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某印

第六節 教育實習

第四十五條 第四學年第三學期ニ於テ各學科生徒ヲシテ附屬學校幼稚園ニ於テ教育實習ニ從事セシム

教育實習ニ從事スル生徒ヲ教生ト稱ス

第四十六條 教生ハ教育實習中附屬學校幼稚園主事ノ指揮監督ヲ受ク

第四十七條 附屬學校幼稚園主事ハ教育實習細則ヲ定メ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第二章 研究科

第四十八條 各學科ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ專攻セムトスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

第四十九條 研究科ノ修業年限ハ一箇年以上二箇年以下トス

第五十條 研究科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ本校卒業者又ハ試験ニ依リ之ト同等以上ノ

學力ヲ有スト認メタル者タルヘシ

第五十一條 研究科ニ入學セムトスル者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願票履歴書及身體檢查書ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ但本

校卒業後直ニ入學セムトスル者ニ在リテハ身體檢查書ヲ要セス

第五十二條 入學志願者ノ學力人物及研究學科目等ヲ考查シ適當ト認メタルトキハ教授

設備ニ差支ナキ場合ニ限り入學ヲ許可ス

第五十三條 第十五條乃至第十七條第二十二條乃至第二十四條、第二十八條乃至第三十三條第三十五條第三十六條ハ之ヲ研究科生徒ニ適用ス

第五十四條 研究科生徒ハ學校長ノ指定スル指導教官ニ就キ研究ニ從事スヘシ

第五十五條 研究科生徒ハ修業期間ノ終ニ於テ研究報告ヲ差出スヘシ

第五十六條 前條ノ報告書ヲ審査シ合格ト認メタルトキハ修了證書ヲ授與ス

第三章 專修科

第五十七條 女子師範學校師範學校女子部、高等女學校教員ノ缺乏ヲ充ス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトアルヘシ

第五十八條 專修科ノ學科目及其ノ程度並修業年限募集人員等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第五十九條 第十五條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十二條、第四十五條、第四十六條ハ專修科生徒ニ適用又ハ準用ス

第六十條 全課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

右者當校何々專修科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

番號 東京女子高等師範學校長位勳學位證書某

第四章 選科生

第六十一條 女子師範學校師範學校女子部、高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル女子ニシテ各學科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セムトスル者アルトキハ教授上差支ナキ場合ニ限り選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十二條 選科生ニハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身及教育ヲ兼修セシム

第六十三條 選科生トシテ入學スルコトヲ得ル者ハ品行方正、身體健全ニシテ所選科目ノ學修ニ堪フト認メタル者タルヘシ

第六十四條 選科生トシテ入學セムトスル者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願票、履歴書ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ
第六十五條 選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但特別ノ事情アルトキハ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ
第六十六條 第五條乃至第七條、第十五條乃至第四十二條、第四十五條、第四十六條ハ之ヲ選科生ニ適用又ハ準用ス
第六十七條 選科生ノ授業料ハ一箇年五拾五圓トス

授業料ハ始業日後七日以内ニ於テ其ノ學年分ヲ完納スルカ又ハ其ノ學期分若ハ月分ヲ分納スヘシ其ノ月分ヲ納付スル場合ニハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

毎學期又ハ毎月分納スル場合ニ於ケル其ノ學期分又ハ其ノ月分ノ授業料額ハ左ノ通之

第一學期 各金貳拾圓
第二學期 金拾五圓
第三學期 金五圓

第六十八條 既納ノ授業料ハ如何ナル事情アルモ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス
授業料ノ滞納二箇月以上ニ亘ル者ハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ
第六十九條 所選科目ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

校印	卒業證書	族籍
右者當校何科中何々選科生トシテ成規ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	年月日	某
年月日	東京女子高等師範學校長位勳學位證何某	

附 則

第七十條 本規則ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ各學科目ノ程度及毎週教授時數ハ從前ノ規程ヲ參照シテ之ヲ定ム

二 東京女子高等師範學校保育實習科規則

第一條 幼稚園保姆タラムトスル志望ヲ以テ保育ノ方法ヲ實習セムトスル者ノ爲ニ保育實習科ヲ設ク
第二條 保育實習科ノ修業期限ハ一箇年トス
第三條 保育實習科生徒ノ定員ハ凡二十人トス
第四條 保育實習科ノ學科目ハ修身、教育保育理科、圖畫、手工、音樂體操トス
第五條 各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身	學生心得	道德要領
教育	教育學	兒童心理
保育	保育實習	教授法及管理法ノ大要
理科	自然研究	植物栽培
	圖畫	動物飼育
手工	紙細工	粘土細工
音樂	ナル木工	きびから細工
體操	單音唱歌	重音唱歌
	音樂	樂器使用練習
體操	遊戲及競技	
第六條	各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依	

學科	修身	一	圖畫	二
保育	教育	三	音樂	二
理科	實習	一〇四	體操	三
	計	三〇		

第七條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル
第八條 學年ヲ分チテ三學期トス
第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十日ニ至
リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十日ニ至
リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十日ニ至
リ第四學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
第九條 休業日ハ左ノ如シ
春季休業 四月一日ヨリ同十日ニ至ル
日曜日 天長節 四月二十九日
第十條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ
十一日ニ至ル
第十一條 保育實習科ニ入學スルコトヲ得ル
者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ
一 身體健全品行方正ニシテ保姆タルニ適
當ナリト認ムル者

皇太后陛下御誕辰 六月二十五日
夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル
秋季皇靈祭 十月十七日
神嘗祭 十月三日
明治節 十一月二十三日
秋分日 十二月二十五日ヨリ翌年十一月二十九日ニ至ル
開校記念日 一月七日ニ至ル
紀元節 二月十一日
皇后陛下御誕辰 三月六日
春季皇靈祭 春分日
冬季休業 十二月二十九日ヨリ翌年十一月二十三日ニ至ル
始ヨリ三十日以内トス

二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(一)又ハ(二)ノ
學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於
テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メ
タル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコト
ヲ得
(一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
(二) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業
者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業
年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同
等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣
ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者
(三) 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ
依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗
檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者
(四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗
檢定ニ合格シタル者
三年齡十六年以上ニシテ夫ヲ有セサル者

第十二條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル
入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ
推薦ヲ要ス出身學校長又ハ當該學校長ニ於
テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別
ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者ノ入學志願
票履歷書、學業成績調查人物考定書、身體檢查
書及戶籍謄本並寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ
差出スヘシ
第十三條 第十一條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當
スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ム
ル様式ニ依ル入學志願票履歷書、身體檢查書
及戶籍謄本並寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出ス
ヘシ
第十四條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務
ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第十二
條又ハ第十三條ニ掲記セル書類ノ外本屬長
官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

第十五條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ
該當スル者ハ入學ヲ許可セス
 一 身體虛弱ナル者
 二 精神機能ニ障碍有ル者
 三 急治ノ見込ナキ重症トランホームヲ患フ
ル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇五以上ニ矯正シ得
サル視力障碍ヲ有スル者
 四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者
 五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル
者
 六 高度ノ脊柱彎曲著シキ畸形又ハ運動障
碍ヲ有スル者
 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
 八 癰ヲ患フル者
 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 一〇 慢性腫瘍腎臟疾患糖尿病又ハ重症貧血
 ニ 罷リ急治ノ見込ナキ者

第十六條 入學志願者ハ入學検定料金參圓ヲ
所定ノ期間内ニ納付スヘシ
 既納ノ検定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付
セス
 第十七條 入學志願者ニ對シ選拔試験身體檢
査及口頭試問ヲ行ヒ入學者ヲ選拔ス
 選拔試験ノ科目及其ノ程度期日募集人員其
ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公
告ス
 第十八條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓
書ヲ差出スヘシ
 第十九條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ
保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル
事項ヲ記入シ保證書ヲ提出ス
 第二十條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居
住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ
代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住
スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム
者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人
ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
 代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替
ヘシムルコトアルヘシ

第二十一條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定
ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
 第二十二條 己ムヲ得サル事故ニ依リ退學セ
ムトスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ
連署ヲ以テ願出ツヘシ但疾病ノタメニ退學
セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添

付スベシ
 第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當セリト認メ
タル者ニハ退學ヲ命ス
 一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
 二 學業進マシテ成業ノ目途立タサル者
 三 品行修ラサル者
 四 本校教育ノ趣旨ニ適セサル者
 第二十四條 授業料ハ一年金五拾五圓トス
 前項ノ授業料ハ缺席ノタメニ之ヲ免除スル
コトナシ
 第二十五條 生徒ハ指定ノ期間内ニ於テ其ノ
學年分學期分又ハ月分ノ授業料ヲ納付スヘ
シ但毎月其ノ月分ヲ納付スル場合ニハ八月
分ヲ納付スルヲ要セス各學期分又ハ毎月分
ノ授業料額ハ左ノ通之ヲ定ム
 第一學期第二學期 各金貳拾圓
 第三學期 金拾五圓

毎月	金五圓
第二十六條 既納授業料ハ之ヲ還付セヌ但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ還付ス	
授業料ノ意納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ	
第二十七條 所定ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス	
卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム	
校印	卒業證書
番號	右者當校保育實習科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ 年月日 東京女子高等師範學校長位勳學位等何某
族籍	何某 年月日生

三 東京女子高等師範學校附屬高等女學校規則

- 第一章 總則
- 第一條 附屬高等女學校ハ女子高等普通教育ノ方法ヲ研究シ本校生徒ヲシテ之ヲ練習セシム所トス
- 第二條 附屬高等女學校ニ本科專攻科ヲ置クノ方法ヲ研究シ本校生徒ヲシテ之ヲ練習セシム所トス
- 第三條 附屬高等女學校ノ修業年限ハ本科ニ在リテハ五箇年、專攻科ニ在リテハ三箇年トス
- 第四條 附屬高等女學校本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス
- 附屬高等女學校專攻科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス
- 第五條 附屬高等女學校ノ生徒定員ハ本科ニ在リテハ凡五百名、專攻科ニ在リテハ凡百五十名トス

第二章 學科課程									
第六條 本科ノ學科目ハ修身、國語、外國語(英語)歴史、地理、數學、理科、圖畫、家事教育、裁縫、音樂、體操トス但第五學年ノ圖畫、音樂ハ隨意科目トス									
第七條 專攻科ヲ國語部及家事部ニ分ツ									
國語部ノ學科目ハ修身、國語、漢文、心理及論理教育及美學、英語、歷史、地理、法制及經濟體操、習字トス但習字ハ隨意科目トス									
家事部ノ學科目ハ修身、家事理、數學、裁縫及手藝、圖畫、心理及論理教育及美學、國語法、制及經濟體操トス									
第八條 刪除									
第九條 本科ノ各學科目ノ教授事項及每週教授時數ハ左表ニ依ル但夏季休業ノ前後各二週間以内ハ十八時迄第三學期中ハ二十八時									
圖畫	理科	數學	地理	歷史	(英語)	國語	修身	日本學年	迄每週教授時數ヲ減スルコトアルヘシ
一 考寫生 畫	二 動植物	三 算術	四 日本地	五 日本歷	六 習講話聽 字讀方方	七 習作文讀 字讀方方	八 作法 要領道心	九 第一學年	
一 考寫生 畫	二 動植物	三 算術	四 日本地	五 日本歷	六 習講話聽 字讀方方	七 習作文讀 字讀方方	八 作法 要領道心	九 第二學年	
一 同上	二 生物 幾何數	三 幾何數	四 外國地	五 外國歷	六 習作文讀 字讀方方	七 習作文讀 字讀方方	八 作法 要領道心	九 第三學年	
一 同上	二 生物 幾何數	三 幾何數	四 外國地	五 外國歷	六 習作文讀 字讀方方	七 習作文讀 字讀方方	八 作法 要領道心	九 第四學年	
二 同上	三 物理學	四 同上	五 同上	六 同上	七 同上	八 同上	九 同上	十 第五學年	
(二) 幾考寫生 畫	三 生物 概論	三 數角幾何 概論	三 地理概論	二 日本近世史	四 地理概論	四 作文讀	二 道德要領 法制	事教 授	

10

第十條 専攻科各部ノ各學科目ノ教授事項及
毎週教授時數ハ左表ニ依ル

家事						
教育						
裁縫						
三						
繕縫子類普通 ヒヒ方ノ裁衣						
三						
同上						
三						
同上						
三						
同上						
二						
住衣、食						
(二)						
教育法						
四						
割家事看兒育						
シム						
第五學年ノ外國語(英語)四ハ之ヲニ減スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ教育ニヲ必修セシム						
第五學年ノ圖畫ニ音樂ニハ之ヲ隨意科目トシ之ヲ學習スル生徒ハ其ノ一ヲ選フモノト						

第五學年ノ圖畫ニ音樂ニハ之ヲ隨意科目トシ之ヲ學習スル生徒ハ其ノ一ヲ選フモノト

第十二條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十日ニ至ル

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至

十一日ニ至ル

春季休業 本科ハ四月一日ヨリ四月七日ニ至リ専攻科ハ四月一日

ヨリ四月十日ニ至ル

天子一節四月二十九日
皇太后陛下御誕辰六月二十五日

九
見

月三十一日ニ至リ専攻科ハ	七月十一日ヨリ九月十日ニ
秋季皇靈祭	秋分日
神嘗祭	十月十七日
明治節	十一月三日
新嘗祭	十一月二十三日
開校記念日	十一月二十九日
冬季休業	十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
紀元節	二月十一日
皇后陛下御誕辰	三月六日
春季皇靈祭	春分日
第四章 入學在學休學及退學	
第十五條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス	
第十六條 入學志願者ハ別ニ定ムル志願票ニ	

所要事項ヲ記入シ検定料金五圓ヲ添へ指定ノ期間内ニ之ヲ差出スヘシ但本校附屬小學校第一部卒業者ニシテ引續キ本科ニ入學セムトスル者ハ検定料ヲ要セス
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス
第十七條 入學ヲ許可スヘキ者ハ入學志願者中學力及身體ノ検査ニ合格シタル者ニ就キ之ヲ選定ス
第十八條 志願ニ依リ退學シタル者ハ指定ノ期限迄ニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ但本科卒業者ニシテ引續キ専攻科ニ入學スル者前條ニ依リ入學スル者ハ此ノ限ニ在ラス
既納ノ入學料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付

セス	第二十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ保護者ヲ届出ツヘシ
	保護者ハ父兄之ニ當リ在學中學校ト協定シテ生徒ノ監督指導ニ任スヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ
	第二十一條 保護者東京市又ハ其ノ附近ニ居住セサルトキハ別ニ代理者ヲ定メ届出ツヘシ
	代理人者ハ東京市又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ保護者ノ責務ヲ遂行スルニ足ル者タルヲ要ス
	第二十二條 保護者又ハ代理人者ノ住所等ニ變更ヲ生シタルトキハ速滞ナク届出ツヘシ
	第二十三條 保護者又ハ代理人者死去若ハ他ノ

事故ニ由リ其ノ義務ヲ盡ス能ハサルニ至ルトキハ他人ヲ以テ之ニ代へ直ニ届出ツヘシ
第二十四條 疾病其ノ他ノ已ムヲ得サル事由ニ由リ缺席缺課遅参又ハ早退スルトキハ其ノ日時及事由ヲ記シ保護者又ハ代理者ヨリ届出ツヘシ
第二十五條 已ムヲ得サル事故ニ由リ二箇月以上課業ニ就ク能ハサル見込ノ者ニ對シテハ當該學年間ニ限り休學ヲ許可スルコトアレハシ
休學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ休學セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘルハシ
第二十六條 已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ退學セムトスルトシ

キハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ
退學ヲ命ス
一一性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メ
タル者
二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メ
タル者
三 引續キ一箇年以上缺席シタル者
四 正當ノ事由ナク引續キ一箇月以上缺席
シタル者
五 前各號ノ外本校教育ノ趣旨ニ適セスト
認メタル者

第五章 成績考査修了及卒業
第二十八條 各學期ノ終ニ於テ其ノ學期間ニ
於ケル生徒ノ學業成績ヲ考査シ各學年ノ終
ニ於テ其ノ各學期ノ學業成績ニ依リ其ノ學
年ノ課程ノ修了ヲ認定ス

印	校	卒業證書	族籍	何某
番號	東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某	年月日	年月日	年月日
右者當校附屬高等女學校專攻科何部ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒業 タリ因テ茲ニ之ヲ證ス				
第一樣式(本科)				

第六章 授業料

第三十條 授業料ハ一學年ニ就キ本科ニ在リ
テハ金四拾九圓五拾錢、專攻科ニ在リテハ金
五拾五圓トス

第三十一條 保護者ハ指定ノ期間内ニ於テ其
ノ學年分學期分又ハ月分ノ授業料ヲ納付ス
ヘシ但毎月其ノ月分ヲ納付スル場合ニハ八
月分ヲ納付スルヲ要セス

每學期又ハ毎月納付スル場合ニ於ケル其ノ
學期分又ハ其ノ月分ノ授業料額ハ左ノ通之
ヲ定ム

第三十二條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但

臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當
スル全額ヲ返付ス
授業料ノ滯納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停
メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ
第三十三條 授業料ハ缺席休學等ノ爲ニ之ヲ
免除スルコトナシ

附則

第三十四條 本則ハ昭和二年九月一日ヨリ之
ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ各
學科目ノ教授事項及毎週教授時數ハ從前ノ
規程ヲ參照シテ之ヲ定ム
昭和三年十二月十日改正規則附則

第三十五條 本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之
ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學
科目及其ノ教授事項毎週教授時數ニ關シテ
ハ其ノ生徒ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例
ニ準ス

四 東京女子高等師範學校附屬

小學校規則(本規則中第三部ニ闕スルモノハ試ニ施行シツ、アルモノナリ)

第一條 附屬小學校ハ普通教育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ教育ノ方法ヲ練習セシム所トス

第二條 附屬小學校ヲ第一部、第二部、第三部トス

第三條 第一部ハ單式學級ニ編制セル女兒ノ尋常小學校ニシテ附屬高等女學校ニ連續スルモノトス

第四條 第二部ハ複式學級ニ編制セル男兒女兒共學ノ尋常小學校並ニ複式學級ニ編制セル女兒ノ高等小學校ヲ以テ組織セル尋常高等小學校トス

第五條 第三部ハ單式學級ニ編制セル男兒女兒共學ノ尋常小學校トス

第六條 附屬小學校高等小學校ノ修業年限ハ二箇年トス

第七條 附屬小學校ノ教科目ハ左ノ如シ

尋常小學校ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、鄉土科、圖畫、手工作業、唱歌、體操、外國語、英語トシテ、女兒ニハ裁縫ヲ加フ但外國語(英語)ハ第一部ニ限り郷土科及作業ハ第三部ニ限ル

第八條 削除

第九條 各部兒童ノ定員及學級ノ編制ハ左ノ如シ但特別ノ事情アルトキハ本文ニ據ラサルコトアルヘシ

第一部ノ兒童定員ハ凡二百四十人トシ六學級

一月一日、昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日タル祭日、祝日及日曜日

春季 休業 四月一日ヨリ同月七日マテ
皇后陛下御誕辰 三月六日

皇太后陛下御誕辰 六月二十五日

夏季 休業 七月二十一日ヨリ八月三十日
開校記念日 十一月二十九日

冬季 休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第十四條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 入學期ハ毎學年ノ始トス但缺員アルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第十六條 入學ヲ願フ者ハ左式ノ履歷書ヲ差出スヘシ

第十三條 休業日ハ左ノ如シ

用紙半紙

履歴	
誰道廳府縣華士族平民	年月日生
何女(男)妹(弟)戸主等	
道廳府縣何郡市何町何番地	
東京府何都市何町何村何番地	
道廳府縣何郡市何町何番地	
他人家ニ寄寓スルトキハ	
其ノ家長ノ氏名職業ヲモ併記スヘシ	
種痘第一期完了年月日、第二期完了年月日、	
痘瘡經過	
前ノ教育	
何年何月ヨリ何幼稚園ニ於テ保育ヲ受ケ或ハ	
何市何町村私立尋常小學校ニ於テ尋常小學科第何學年	
高等小學校ニ於テ何々修業等	
マテ修業或ハ何某ニ就キ若ハ家庭ニ於テ何々修業等	
東京府郡市何町何番地	
道廳府縣華士族平民	年月日生
保護者何某	

第十七條 保護者ニシテ東京市若ハ附近ニ居住セサル場合ニ於テハ代理者ヲ定メテ届出ツヘシ保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近ニ居住シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ハ

第十八條 授業料ハ兒童一人ニ就キ第一部ニ在リテハ一學年金參拾參圓第二部及第三部ニ在リテハ一學年金貳拾貳圓トス
第十九條 保護者ハ兒童出席ノ有無ニ拘ラス
毎學年、每學期若ハ毎月始業ノ日ヨリ七日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ但毎月分納スル場合ニハ八月分ハ納付スルヲ要セス
第二十條 每學期若ハ毎月ニ分納スル授業料額ヲ左ノ如ク定ム

第一學期及第二學期	(第一部)	各金拾貳圓
(第一部)	第三部	各金八圓
(第二部)	第三部	金九圓
(第二部)	第三部	金參圓
第二十一條 學年半途ニ入學シタル兒童ノ授業料ハ前二條ノ規定ニ依リ入學シタル月以後ヲ以テ計算シ入學後七日以内ニ納付スヘシ		

第二十二條 一旦納付シタル授業料ハ之ヲ還付セス但臨時休業全月ニ亘ル時ハ其ノ月額ニ相當スル授業料ヲ還付ス
第二十三條 授業料ノ忘納二箇月ニ亘ル者ハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ
第二十四條 學年ノ終ニ於テハ其ノ學年間ノ成績ヲ考查シ各學年ノ課程若ハ全教科ノ修了ヲ認定ス
第二十五條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第一號書式ノ證書ヲ與ヘ全教科ヲ修了シタル者ニハ第二號書式ノ證書ヲ與フ
第一號書式

第二十六條 兒童又ハ保護者ノ轉居シタル時ハ保護者ヨリ直ニ届出ツヘシ
第二十七條 病氣其ノ他ノ事故ニ由リ遲刻又ハ缺席スルトキハ其ノ旨保護者ヨリ届出ツヘシ
第二十八條 退學セムト欲スル者ハ理由ヲ具シテ其ノ旨保護者ヨリ申出ツヘシ
第二十九條 無届缺席一箇月ニ及フ者ハ除籍スルコトアルヘシ

第三十條 當校教育ノ趣旨ニ適セスト認ムル者ニハ退學ヲ命ス
右ハ當校附屬小學校第何部ニ於テ尋常小學校第何學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス
年月日

東京女子高等師範學校

校印

修業證書

何某

年月日生

右ハ當校附屬小學校第何部ニ於テ尋常小學校第何學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス
年月日

東京女子高等師範學校

六九

第三十一條 本則ハ昭和二年四月一日ヨリ之									
附則									
(別表)									
圖畫	理科	地理	國史	算術	國語	修身	修業日	科數	學年
一 形體、簡單ナル	一 單形、簡單ナル		二 直觀教授		七 須知ノ要旨		一 道德ノ要旨	時數毎週	第一學年
一 形體、簡單ナル	一 單形、簡單ナル		二 直觀教授		八 假名、ノ文字及近易須知		一 道德ノ要旨	時數毎週	第二學年
一 形體、簡單ナル	一 單形、簡單ナル		二 直觀教授		九 日常須知ノ要旨		二 道德ノ要旨	時數毎週	第三學年
一 形體、簡單ナル	一 單形、簡單ナル		二 直觀教授		十 日常須知ノ要旨		二 道德ノ要旨	時數毎週	第四學年
一 簡單ナル形體	一 簡單ナル形體		十一 珠步比合計算		十一 珠步比合計算		二 道德ノ要旨	時數毎週	第五學年
一 簡單ナル形體	一 簡單ナル形體		十二 前學年ノ續き		十二 道德ノ要旨		二 道德ノ要旨	時數毎週	第六學年
一 簡單ナル形體	一 簡單ナル形體		十三 前學年ノ續き		十三 道德ノ要旨		二 道德ノ要旨	時數毎週	第七學年

第三十一條 附則
〔別表〕 本則ハ昭和二年四月一日ヨリ之

ヲ施行ス

規則

七三

算術	國語	修道	時數週	日學年	第三部	計	英語	裁縫	家事	實業
二 ル測計方、及書於數易方ノ數範	小圓内ナル、及書于數易方ノ數範	綴讀易須發リミナノ假方、書通字及簡キク数易方ノ數範	六	一 道徳ノ要旨	程	第一學年	二	二	二	二
四 計方通算方、常及書ノ數易方ノ數範	假方、普文名、書通字及日方ノ近常語方ノ讀易須知方、綴ミル文	一 道徳ノ要旨	一 時數週	二 度	程	第二學年	二	二	二	二
四 簡整數ノル計算	リ方普字日方、書文近須語方、讀ナノ方綴ミル文	一 道徳ノ要旨	一 時數週	三 度	程	第三學年	女男元七	二 方方類通常縫裁ヒ衣	二	二
五 ル數整計方、唱ノ計算及測易方算定ノ書小	リ方普字日方、書文近須語方、讀ナノ方綴ミル文	一 道徳ノ要旨	一 時數週	四 度	程	第四學年	女男三六	三 方方類通常縫裁ヒ衣	三	三
四 珠ノ數整計算ノ計算、分數小	シキ文及日方、讀易知方、綴ミルノ方、普文書通字	二 道徳ノ要旨	二 時數週	五 度	程	第五學年	三 ヒ裁ノ通常方ヒ方衣縫類	四 ヒ裁ノ通常方ヒ方衣縫類	二 商業ノ大要	二
四 珠ノ近歩比知合算識ノ算例	シキ文及日方、讀易知方、綴ミルノ方、普文書通字	二 道徳ノ要旨	二 時數週	六 度	程	第六學年	三 聽方、リ讀ミ方、シ書綴	四 ヒ裁ノ通常方ヒ方衣縫類	二 商業ノ大要	二

體操	唱歌	手工	圖畫	理科	地圖	國史	算術
及練體競技	單平音唱	細簡工	一單				四 ナ方數百
操、遊戲教	易唱ナル	易ナル	形				ル及書唱下算易キヘノ
及練體競技	單平音唱	細簡工	一單				四 ナ方數千
操、遊戲教	易唱ナル	易ナル	形				ル及計書唱下算易キヘノ
及練體競技	單平音唱	細簡工	一簡單ナル				五 算整數ノ計
操、遊戲教	易唱ナル	易ナル	體				五 ル及ノ算整數計
及練體競技	單平音唱	細簡工	形簡單ナル				四 珠分數計算
操、遊戲教	易唱ナル	易ナル	體				四 珠步比合算算例
及練體競技	單平音唱	細簡工	形簡單ナル				四 珠歲的數分小整何計代
操、遊戲教	易唱ナル	易ナル	體				四 珠歲的數步比合算形算數數數
及練體競技	單平音唱	工簡易ナル	形簡單ナル				二 前學年ノ續
操、遊戲教	易唱狀	工簡易ナル	體				二 外國地理ノ
及練體競技	單平音唱	細簡工	形簡單ナル				二 前學年ノ續
操、遊戲教	易唱狀	細簡工	體				二 國史ノ大要
及練體競技	單平音唱	工簡易ナル	形簡單ナル				二 前學年ノ續
操、遊戲教	易唱狀	工簡易ナル	體				二 國史ノ大要
及練體競技	單平音唱	工簡易ナル	形簡單ナル				二 前學年ノ續
操、遊戲教	易唱狀	工簡易ナル	體				二 地理ノ補習

七二

五 東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則

第一條 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

元始兒保育人方法之總督十二月八日

第三回 第一部の冒頭、幼児の言葉をもとにした「アーリーラーニング」

附屬幼稚園ノ保育項目ハ遊戯、唱歌、唱歌

第五條 幼兒ノ年齢ハ第一部ニ在リテハ滿四

リテハ満三歳ヨリ小學校ニ就學スルマテトス

部凡九十名トス

第一期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

卷之三

第三期
翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ
至ル

シ第二部ハ毎週二十八時トス但夏季休業前後各三週以内ハ第一部ニ在リテハ十八時マテ、第二部ニ在リテハ二十一時マテ或ベシ。

トアルヘシ

祝日、大祭日及日曜日

皇后陛下御誕辰 三月六日
皇太后陛下御誕辰 六月二十五日

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ
至ル

開校記念日 十一月二十九日
冬季休業 十二月二十五日より一月七

オニコロノヨリシテ日ニ至ル事有矣本體既

第十條 入園ノ期ハ毎年四月トス但缺員アル
トキハ臨時入園ヲ許スコトアルヘシ
第十一條 入園ヲ願フ者ハ左式ノ履歴書ヲ差
出スヘシ

履歴書	幼兒何某
一族稱	北海道廳、何府縣、華族、士族
女姊妹等	北海道廳、何府縣、華族、士族
住所	東京府市何區郡何町村何番地、何某幾男
保護者ノ職業及幼兒トノ關係	何官、何商、何社ノ何役等
(他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其ノ家長ノ職業ヲ併記スヘシ)	
出生地	
出生年月日	
營養品	生母ノ乳、乳母ノ乳、牛乳、乳粉等
一養育セシ場所	自宅、乳母ノ家等
一痘瘡第一期完了年月日	痘瘡經過年月日
一生來著症及病名	病名
一兩親ノ年齢及健否	
一兄弟姊妹ノ數及健否	
右之通ニ御座候	
年月日	住所
保護者何某	

第十二條 保護者ニシテ東京市若ハ其ノ附近ニ住居セサル場合ニ於テハ代理人ヲ定メテ届出ツヘシ

保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近ニ住居シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツルモノニ限ル
第十三條 保育料ハ幼兒一人ニ付第一部ハ一年金參拾參圓トシ第二部ハ同金拾壹圓ト
簡年金參拾參圓トシ第二部ハ同金拾壹圓トス

第十四條 保護者ハ幼兒出席ノ有無ニ拘ラス
毎年毎期若ハ毎月始業ノ日ヨリ七日以内ニ
保育料ヲ納付スルヲ要セス

第十五條 每期若ハ毎月ニ分納スル保育料金ハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

第一期及第二期
第一部 各金拾貳圓 第二部 各金四圓

第三期	
第一部	金九圓
第二部	金參圓
每月	
第一部 金參圓	第二部 金壹圓

ギハ其ノ事由ヲ届出ツヘシ但幼兒傳染病ニ
罹リタルトキハ直ニ其ノ病狀ヲ届出ツヘシ
第二十條 退園セムト欲スルモノハ其ノ理由ヲ具シ保護者ヨリ其ノ旨申出ツヘシ
第二十一條 本則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則施行前ニ入園シタル幼兒ノ保育料ハ從前ノ通トス
昭和四年三月十一日改正規則附則
第二十二條 本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 半途ニ入園シタル幼兒ノ保育料ハ前二條ノ規定ニ依リ入園シタル月以後ノ分月割ヲ以テ計算シ入園後七日以内ニ納付スヘシ

第十七條 一旦納付シタル保育料ハ之ヲ還付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月額ニ相當スル保育料ヲ還付ス

第十八條 幼兒又ハ保護者ノ轉居シタルト半ハ直ニ届出ツヘシ

第十九條 幼兒缺席スルコト一週ヲ超ユルトノハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

六 東京女子高等師範學校生徒

獎勵費給與規程

第一條 本校生徒ニシテ學力優等品行方正ナル者又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子若ハ

入學後非常ノ災害ニ遭遇シ蒙計上ニ著シキ
變化ヲ來シ學資ニ困難ヲ生シタル者ニハ獎
勵ノ爲月額金拾五圓以内ヲ支給スルコトア
ルヘシ但特別ノ事情アル者ニ對シテハ月額
金貳拾五圓ヲ支給スルコトヲ得

第二條 獎勵費ハ其ノ月十五日以後ニ於テ支
給命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限り月額
ノ半額トス

第三條 獎勵費ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命
セラレタル場合ニハ其ノ期間獎勵費ヲ支給
セス但此ノ場合ニ於テハ日割計算トス

第四條 獎勵費ハ其ノ月二十三日(七月ニ在リ
テハ五日休業日ナレハ繰下ク)ニ之ヲ支給ス
但半途退學者卒業者死亡者ニ在リテハ此ノ
限ニ在ラス

七 東京女子高等師範學校授業
費償還ニ關スル事項

一 女子高等師範學校規程第八條同卒業者服 務規則第五條ニ依リ償還セシムヘキ授業費 文科	研究科(文科ニ屬スルモノ) 專修科(官費私費共モノ)	月額金五圓 年額金六拾圓
家事科	研究科(理科並ニ家事科ニ屬スルモノ) 專修科(理科並ニ家事科ニ屬スルモノ)	月額金七圓 年額金八拾圓
同上卒業者	同上卒業者	年額金八拾圓

八 外國人特別入學規程細則

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校外國人
特別入學規程ニ依リ入學ヲ志願スル者アル
トキハ設備上差支ナキ場合ニ在リテハ本校
各科及附屬高等女學校專攻科聽講生トシテ

之ヲ許可スルコトアルヘシ	第七條 聽講生在學中ハ特ニ定メラレタル本 校敎官ノ指揮監督ヲ受クヘキモノトス
第二條 第一條ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員 ハ每年三月末之ヲ定ム	第八條 聽講生ニシテ成規ノ課程ヲ修了シ成 績佳良ト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス ヘシ
第三條 入學志願者ニ對シテハ試驗ヲ以テ相 當ノ學力ヲ認定スヘキモノトス	第九條 本校諸規則ニシテ本則ニ抵觸セサル モノハ聽講生ニ適用ス
第四條 入學志願者ハ入學検定料トシテ金參 圓ヲ納付スヘシ但既納ノ検定料ハ何等ノ事 由アルモ之ヲ還付セス	第十條 本則ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施 行ス
第五條 聽講生ハ授業料トシテ本校各科附屬 高等女學校專攻科各部共ニ一學年金四拾圓 ヲ每學年四月十五日休日ナラハ繰下クニ納 付スヘシ但明治四十四年文部省令第十六號 ニ依リ入學シタル者ニハ授業料ヲ減額シ又 ハ徵收セサルコトアルヘシ	第一條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ全課程 ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ顧 ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之 ヲ本科ニ編入スルコトアルヘシ
第六條 半途退學其ノ他如何ナル事情アルモ 既納ノ授業料ハ返還セサルモノトス但全學 年間休學ヲ命シタル場合ニハ之ヲ徵收セス	第二條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ課程中

九 聽講生編入規程

ノ一科目又ハ數科目ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ願ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之ヲ選科生ニ編入スルコトアルヘシ
第三條 前二條ニ依リ本科又ハ選科生ニ編入シタル者ノ授業料ニ付テハ本校規則第六十七條及第六十八條ヲ準用又ハ適用ス但朝鮮人及臺灣人ニシテ本科ニ編入シタル者ノ授業料ハ此ノ限ニ在ラス

第六 細則

一 東京女子高等師範學校規則

施行細則

第一章 選修科目及隨意科目

第一條 規則第十二條乃至第十四條ノ各第二項ニ依リ生徒ヲシテ選修セシムヘキ科目ハ

生徒ノ志望順位及當該科目ノ學業成績ト教

授上ノ都合トヲ考量シテ之ヲ定ム

第二條 第二學年生徒ハ其ノ選修スヘキ科目ノ志望順位ヲ定メ第三學期ノ指定期間内ニ

教務課ニ届出ツヘシ

第三條 隨意科目ハ學年ノ中途ニ於テ其ノ履修ヲ開始シ又ハ中止スルコトヲ得ス

第三條ノ二 隨意科目ヲ履修シ又ハ其ノ履修ヲ中止セムトスル者ハ前學年第三學期ノ指

定期間内ニ教務課ニ届出ツヘシ

第二章 式日

第四條 紀元節、天長節、明治節、皇后陛下御誕辰

皇太后陛下御誕辰及一月一日ニハ拜賀式ヲ

行フ

拜賀式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム

一生徒着席
二職員着席
三學校長着席

四敬禮

五御帳ヲ開ク

六御影ヲ奉拜ス

七唱歌

八生徒總代祝賀

九教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

十 唱歌(勅語奉答)
 十一 學校長式辭
 十二 唱歌(君が代)
 十三 御帳ヲ閉ツ
 十四 敬禮
 十五 學校長職員生徒順次退場
 前項第七號ノ唱歌ハ一月一日紀元節天長節
 明治節ニ在リテハ其ノ歌皇后陛下御誕辰及
 皇太后陛下御誕辰ニ在リテハ校歌「みがかず
 ば」トス紀元節ニハ第九號教育ニ關スル勅語
 ノ次ニ憲法發布勅語ヲ加フ
 第五條 開校記念日ニハ記念式ヲ行フ
 記念式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 着席
 二 敬禮
 三 唱歌校歌「みがかずば」
 四 開校ノ日ニ於テ昭憲皇太后ヨリ賜リタ
 ル令旨及開校五十年記念日ニ於テ皇太后

六 陸下ヨリ賜リタル令旨ヲ奉讀ス
 七 學校長式辭
 八 生徒總代祝辭
 九 學校長式辭
 十 退場
 第六條 生徒入學ノ日及卒業ノ日ニハ入學式
 及卒業式ヲ行フ
 入學式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 生徒着席
 二 職員着席
 三 學校長着席
 四 敬禮
 五 入學ノ許可ヲ申渡ス
 六 入學生徒總代誓詞ヲ朗讀ス
 七 入學生徒總代誓詞ヲ呈出ス
 八 學校長告辭
 九 敬禮

十 學校長職員生徒順次退場
 卒業式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 着席
 二 唱歌(みがかずば)
 三 卒業證書ヲ授與ス
 四 唱歌(おもへばはてなき)
 五 學校長告辭
 六 文部大臣祝辭
 七 卒業者總代謝辭
 八 唱歌(はてしなき)
 九 敬禮
 十 退場

國語	教育	修身	學科	學年		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	
				第一學年	第二學年					
第七條	規則第二十條第二項ノ推薦書、入學志願票、履歷書、學業成績調査及人物考定書並ニ身體檢查書ノ様式ハ附錄第一號乃至第五號ノ通之ヲ定ム。	第六號ノ通之ヲ定ム	第九條	規則第三十一條ノ保證書ノ様式ハ附錄第七號及第八號ノ通之ヲ定ム	第十條	保證人又ハ代理保證人ノ住所、身上等ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク届出ツヘシ	第十一條	保證人又ハ代理保證人死去若ハ他人ニ至ルトキハ他人ヲ以テ之ニ替へ更ニ規則第三十一條ノ手續ヲナスヘシ	第十二條	文科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル
第八條	規則第二十八條ノ誓書ノ様式ハ附錄	第三章 入學及在學	第四章 成績考查							

<p>第十五條 教官ハ規則第三十九條ニ依リ毎學期末ニ於テ其ノ擔任ニ屬スル評點科目ニ就キ各生徒ノ學期成績評點ヲ定ムヘシ</p> <p>前項ノ評點ハ所定ノ評點表ニ之ヲ記入シ試験ノ問題ト共ニ指定ノ期日迄ニ教務課ニ差出スヘシ</p>																
<p>第十六條 一評點科目ヲ數人ニテ擔當スルトキハ當該學科目主任ハ各人ノ擔當スルモノニ就キ評點ノ割合ヲ定メ學校長ノ承認ヲ受クヘシ</p>																
<p>第十七條 一學科目ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツ場合ニ於テ教授事項ニ區分ヲ立テ難キトキハ其ノ學科目ノ成績評點ヲ以テ各評點科目ノ成績評點ト見做ス</p>																
<p>第十八條 演習及實驗實習ニ關スル分科目並ニ左ノ學科目又ハ分科目ノ成績評點ハ平素</p>																
<p>ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ但隨時一樣ノ演習ヲ課スルコトヲ得</p>																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">文</td> <td style="width: 25%;">國語</td> <td style="width: 25%;">中講讀、習字、作文及作歌</td> <td style="width: 25%;">漢文</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>外國語</td> <td>音樂</td> <td>體操(體育概論)</td> </tr> <tr> <td>家事科</td> <td>裁縫</td> <td>圖畫</td> <td>手藝</td> </tr> <tr> <td>體操(體育概論)</td> <td></td> <td></td> <td>音樂</td> </tr> </table>	文	國語	中講讀、習字、作文及作歌	漢文	理	外國語	音樂	體操(體育概論)	家事科	裁縫	圖畫	手藝	體操(體育概論)			音樂
文	國語	中講讀、習字、作文及作歌	漢文													
理	外國語	音樂	體操(體育概論)													
家事科	裁縫	圖畫	手藝													
體操(體育概論)			音樂													
<p>第十九條 前條外ノ學科目及分科目ノ成績評點ハ試験及平素ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ</p> <p>試験ハ每學期ノ終ニ於テ期ヲ定メ之ヲ行フ</p>																
<p>第二十條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ某評點科目ノ試験ニ缺席シタル者ニシテ當該學期ニ於ケル其ノ科目ノ出席總時數教授總時數ノ二分之一以上ナル者ニ對シテハ認定試験評點ヲ付與ス</p>																
<p>前項ノ認定試験評點ハ他ノ二學期ニ學期ニ</p>																

學科 目	學年	第十三條 理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル														
		合計	體操	音樂	外國語	地理	歷史	漢文	生理及衛生	動物	植物	化學	物理	數學	教育	修身
	第一學年	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第二學年	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第三學年	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第四學年 (第二學年及 第三學年)	三	一	一	二	二	一	一	一	一	一	三	三	三	三	一
體操	學年	合計	體操	音樂	外國語	地理	歷史	漢文	生理及衛生	動物	植物	化學	物理	數學	教育	修身
	第一學年	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第二學年	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第三學年	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	二	二	二	一
	第四學年 (第二學年及 第三學年)	三	一	一	二	二	一	一	一	一	一	三	三	三	三	一

テ完了スル科目ニ在リテハ他ノ一學期ノ試験評點ヲ勘案シテ定メタルモノノ十分ノ八トス
第二十一條 左ノ各號ノ一一該當スル者ニハ認定試験評點ヲ付與セス
一 試験ニ缺席シタル理由正當ナラスト認メタル者
二 當該學年ニ於テ某評點科目ノ試験ニ缺席スルコト二回以上ニ及フ者
第二十二條 左ノ各號ノ一一該當スル者ニ對シテハ追試験ヲ許可スルコトアルヘシ但第三號ニ該當スル者ニ對シテハ一學年一回ニ限ル
一 第二十條第一項ニ該當スルモ他ノ學期ニ其ノ評點科目ナキカタメ同條第二項ニ依リ認定試験評點ヲ付與スルコト能ハサル者

前項第一號及第三號ニ該當スル者ノ試験評點ハ追試験評點ノ十分ノ八トス
第二十三條 學年成績ノ平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一一該當スル者ハ其ノ學年ノ課程ヲ終了シタル者トス
一 評點科目ノ評點六十未滿ノモノナキ者
二 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ二科目以内アルモ其ノ評點五十以上ナル者

三 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ三科目アルモ其ノ評點何レモ五十五以上ナル者又ハ一ハ五十以上ニシテ他ノ二ハ五十五以上ナル者
二十四條 當該學年ニ於ケル缺席日數缺課回數ノ夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス之ヲ原學年ニ止ムルコトアルヘシ
第二十五條 各學年ノ各學科目ノ平均評點六十未滿ノ者ニ對シテハ規則第四十四條第二項ヲ準用ス
第五章 教育實習

第二十六條 教育實習ノ期間ヲ分チテ左ノ二期トス
第一期 一月十日ヨリ二月十三日マテ
第二期 二月十四日ヨリ三月十九日マテ
第二十七條 各學科ノ教生ヲ分チテ二組トシ各組交番ニ附屬高等女學校及小學校ニ於ケル教育又ハ幼稚園ニ於ケル保育ニ從事セシム
第二十八條 教育實習トシテ行フヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ
一 教授訓練及保育ノ方法ヲ實習セシムルコト
二 附屬高等女學校小學校及幼稚園ニ於ケル教育保育ノ要旨及諸規程ヲ會得セシムルコト
三 附屬高等女學校小學校及幼稚園ニ於ケル事務ヲ見學補助セシムルコト
四 他ノ學校及幼稚園ノ教官之ヲ指導スノ指導ニ協力スヘシ
第三十九條 本校ノ教官ハ教育實習期間時々附屬高等女學校小學校及幼稚園ニ出張シ教生ハ教生ノ指導ニ關シ時々打合ヲナシ相互ノ

東京女子高等師範學校入學志願票							表
・入學資格		・氏名	・本籍	・生年月日	・志學科	・受驗地	・受信場所
大昭和	年 月	(氏名ノ漢字ニハ右傍ニ振假名ヲ施スヘシ) 試験検定ヲ受クル資格 専門學校入學ニ關シ無		明治正月	第一志望		
				縣府道	年 日	科	
				番號	()		
				學業成績			
				人物考定			
				體格			
學校		(試驗檢定 卒業見込定)					

▲本票記入方ニ關シテハ裏面ノ注意ヲ見ルヘシ
(第三號)

三

注

- 専門學校入學ニ關シ無試験検定ヲ受クル資格ヲ有スル者ハ其ノ文字下ノ括弧内ニ其ノ資格(何々免許状所有等)ヲ記入シ他ヲ抹消スヘシ

5 氏名欄ニ記入スヘキ氏名ハ戸籍面ノモノト相違セサルヤウ注意スヘシ

6 志望學科欄ニハ第一第二ノ志望學科名ヲ記入スヘシ第二志望學科ナキ場合ハ其ノ欄ニ何等記入スヘカラス

7 受信場所欄ニハ本票提出ノ日ヨリ翌年四月末日迄確ニ且速ニ郵便物ヲ受ケ得ヘキ場所ヲ定メ記入スヘシ

8 本票提出後ハ何等ノ事情アルモ記入事項ノ變更ヲ許サス但改メテ再出願ノ手續ヲナス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三號

卷之二

連絡ヲ圖ルヘシ
第六章 研究科及選科生
第三十二條 規則第五十一條及第六十四條ノ
入學志願票履歷書及身體檢查書ノ様式ハ第
七條ノ當該様式ニ準ス

附 則

第三十三條 本則ハ昭和二年九月十一日ヨリ
之ヲ施行ス但現ニ在學スル者ニ對シテハ第
十二條乃至第十七條ハ第十三條ノ選修科目
ノ評點科目數ニ關スルモノヲ除キ昭和三年
三月マテ仍從前ノ慣例ニ依ル

附 錄

(第一號)

推 薦 書

原 籍

現住所

何 年 月 日 生

某

11

圖ルヘシ

右者當校卒業者（當校ニ於テ駿校ノ入学期以前）ニシテ女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校ノ教員志望ニ候速應

二

細則

私儀今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校ノ規則命令ヲ
格守可仕ハ勿論卒業ノ上ハ女子高等師範學校卒業者服務規
則ヲ遵奉シ專心教育ニ從事可仕此段宣誓仕候也

東京女子高等師範學校何科生徒

年月日 何某

(第七號)

東京女子高等師範學校校長何某殿

印紙 保 證 書

東京女子高等師範學校何科生徒 何某

右者今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校ノ規則命令ヲ
格守可仕ハ勿論本人ノ身上ニ圖スル一切ノ事件ハ拙者ニ
於テ引受ケ可申此段保證仕候也

龍藏上人注意

現住所

第四號

記載上ノ注意

年月日	何學校何科第何學年ニ入學	學業	履歷
年月日	卒業	書	原籍
年月日	何所ニテ何教員免許狀受領	現住所	
年月日	何學校ニテ試験検定合格證書受領		
年月日	業務		
年月日	何道廳府縣ニ於テ何職拜命		
年月日	何事由ニ依リ退職		
年月日	何業ニ從事		
年月日	何事由ニ依リ廢業		
年月日	賞罰		
年月日	何事由ニ依リ何賞ヲ受ク		
年月日	何事由ニ依リ何罰ヲ受ク		
年月日	身上ニ關スル事項		
年月日	何事由ニ依リ何下氏名ヲ改ム		
以上			
以			
年月日			
右			
何			
某			

學業ノ箇所ニハ學歴ニ就テハ中等學校程度以上ニ限り記載シ教員免許狀試驗合格證書ニ就テハ別ニ其ノ寫ナ添付

卷之三

體格	脊柱	胸圍	體重	身長	氏名
		cm	kg	cm	
		ノ値 差値			
		·cm			
シテ強健持久病患ナキモノ、 シテ強健壯大ナルモノ、 シテ強健ト称スルモノ、 シテ強健ハ強健、中等、薄弱ノ三等ニ區別スヘシ トス	脊柱ニ向就テハ、凡ニテ其ノ示スルモノトス シテ正位ニ二種種ニ區別シ自己ノ意志ニ依リテ前後左右ノ矯正シ得ルモノヲ弱弱トシ然ラサルモノヲ強	胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂 乳線ノ上第4肋間ノ水平線ニ於テ測定ス レアル時テ測定スヘシ乳房ノ下垂セル者ニ在リ モノトス	身長ノ測定スルニハ足袋靴等ヲ脱セシメ兩 上肢ヲ鉛直に保タシメ體アルモノハ小桿ヲ體 スヘシ着衣若ハ検査服ノ重量ヲ除去シ記載	身長ノ測定スルニハ足袋靴等ヲ脱セシメ兩 上肢ヲ鉛直に保タシメ體アルモノハ小桿ヲ體 スヘシ着衣若ハ検査服ノ重量ヲ除去シ記載	年月日生

年月日	本人トノ糧柄
年月日	保證人 何 菜卯
東京女子高等師範學校長何某殿	
(第八號)	
印紙	代理保證書
年月日	東京女子高等師範學校何科生徒 某
右者今般御校ニ入學許可相成候處保證人何某儀御校所在地 ヲ距ルコト遠キ土地ニ居住致居候間御校ノ要求アル場合ハ 拙者ニ於テ其ノ義務ヲ代理可仕段保證仕候也	
本籍族稱、業務	
現住所	本人トノ糧柄
年月日	代理人 何 某卯
年月日生	東京女子高等師範學校長何某殿
第二 寄宿舍規程	
第一條 寄宿舍ハ生徒ヲ寄宿セシメ本校ノ教育ト相俟テ學業ヲ自習シ德行ヲ磨礪シタルニ	
第五條 寄宿舍生徒ニシテ疾病ニ罹リタル者ハ第三學年以上ノ生徒中通學ヲ希望スル者ニ就キ選定スルヲ常例トス	
第六條 夏季休業中ハ寄宿舍ヲ閉鎖ス	
第七條 寄宿舍生徒室ノ人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム	
第八條 寄宿舍ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ得ス	

和衷協同ノ精神ヲ涵養シ兼て事務ヲ練習セシムル所トス
寄宿舍ニ收容スヘキ者ノ數其ノ定數ニ超過スルトキハ若干名ヲ限り通學ヲ命スルコトアルヘシ
寄宿舍ニ收容スヘキ者ノ數其ノ定數ニ超過スルトキハ若干名ヲ限り通學ヲ命スルコトアルヘシ
前條但書ニ依リ通學ヲ命スル場合ニハ第三學年以上ノ生徒中通學ヲ希望スル者ニ就キ選定スルヲ常例トス
寄宿舍生徒ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ外泊歸郷又ハ旅行スルコトヲハ移轉療養ヲ命スルコトアルヘシ
夏季休業中ハ寄宿舍ヲ閉鎖ス

經テ生徒主事之ヲ定ム	
第九條 寄宿舍生徒ハ規約ヲ定メ學校長ノ認可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ	
一 舍内ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト 二 舍内ノ清潔及衛生ニ關スルコト 三 炊事々務ニ關スルコト 四 其ノ他必要ナル事項	
第十條 寄宿舍ニ左ノ役員ヲ置ク	
一 寮總代 各寮二名	第十二條 役員ハ生徒主事ノ指揮監督ヲ受ク
一 室總代 各室一名	第十三條 寄宿舍ニ週番ヲ置ク
一 委員 若干名	週番ハ生徒主事ノ指揮ニ從ヒ寄宿舍事務ヲ練習ス
寮總代ハ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ規則規約ノ實行ヲ督勵ズ	
室總代ハ其ノ室ノ常務ヲ取扱ヒ室内ノ整理ニ任ス	
委員ハ其ノ分擔事務ヲ取扱フ	
第十四條 週番ハ第四學年及第三學年生徒二	

名輪番ヲ以テ之ニ當リ毎週日曜日交替ス

簿ヲ擔當ノ教官ニ提出シ放課後ニ於テ之

ヲ生徒課ノ所定場所ニ納置スルコト

四 每日其ノ學級日誌ヲ記載シ放課後ニ於

テ生徒課ノ所定場所ニ納置スルコト

五 授業ニ所要ノ物品ヲ準備スルコト

六 其ノ他學級ニ關スル諸般ノ事務

三 生徒心得細則

第一章 一般生徒心得

一 受業及教室事務

第一條 生徒ハ始業ノ號鈴ヲ聞クトキハ直ニ定席ニ着キ教官ノ入室ヲ待ツヘシ
教官入室スルトキハ起立シテ敬禮ヲ行フヘシ退室スルトキ亦同シ

第二條 授業時間中ハ勿論休憩時間中ト雖靜肅ヲ旨トスヘシ

第三條 各學級ニ學級當番ヲ置ク
學級當番ハ左ノ事務ヲ擔當ス

一 本校ノ示達ヲ其ノ學級生徒ニ傳フルコト
二 教室ノ清潔整頓及換氣保溫ニ注意スルコト

三 每時限ノ始ニ於テ其ノ學級ノ生徒出席

第四條 學級當番ハ當該學級生徒二名輪番ヲ以テ之ニ當リ隔週月曜日交替ス

第五條 正課外ニ於テ實驗實習ノタメ教室ヲノ檢閱ヲ受クヘシ

第六條 教室其ノ他ノ床壁備品ヲ毀損又ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ毀損又ハ汚染シタルトキハ學級當番ヲ經テ直ニ教務課ニ申出ツヘシ

二 缺席缺課及遲刻

第七條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ

課業ニ缺席缺課又ハ遲刻スルトキハ其ノ日時及事由ヲ詳記シ生徒主事ノ檢印ヲ經テ三日以内ニ生徒課ニ差出スヘシ

第八條 疾病ノタメ課業ニ缺席スルコト一週

日以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ但寄宿舎ニ在舍スル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第八條ノ二 父母祖父母兄弟姉妹ノ喪ニ丁リ課業ニ缺席缺課シタル場合ニ於テハ之ヲ他ノ事故ニ由ル缺席缺課ト區別シ左ノ各號ノ期間内ニ限り缺席日數缺課時數ニ算入セス
一 父母ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ七日以内
二 祖父母兄弟姉妹ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ五日以内

三 集會及旅行

第九條 集會ヲ開カムトスルトキハ其ノ代表者ヲ定メ其ノ目的、日時場所、會費等ヲ具シ生徒課ヲ經テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
第十條 集會ハ成ルヘク校内ニ於テ之ヲ開ク
教室ヲ使用セムトスル場合ニハ豫メ教務課ノ承認ヲ經テ前條ノ手續ヲナスヘシ
第十條ノ二 常時ノ集會ヲ設ケムトスルトキハ規約ヲ具シ願出ツヘシ
第十條ノ三 前條ノ集會ヲ解散シタルトキハムトスルトキハ原稿ヲ具シ願出テ指定教官ノ檢閱ヲ受クヘシ
第十一條 休業日ニ於テ旅行ヲナサムトスルトキハ其ノ代表者ヲ定メ其ノ目的、日時場所費用等ヲ具シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

四 服裝及徽章
第十二條 服裝ハ質素實用ヲ旨トスヘシ附屬品持物等亦同シ

第十三條 衣服ノ地質ハ左ノ通トシ色合縞柄模様等ハ目立タサルモノヲ用フヘシ

一 和服

(二) 衣 木綿織、交織麻織毛織ノ類但外出ノ際ハ紬銘仙ノ類ヲ用フルコトヲ得

(三) 帯 セル、カシミヤノ類

二 洋服
木綿織、交織麻織毛織ノ類

第十四條 生徒ハ校内ニ在リテハ上靴ヲ用フヘシ

第十五條 生徒ハ所定ノ徽章ヲ佩用スヘシ其ノ位置ハ和服ニ在リテハ袴紐ノ左寄、洋服ニ在リテハ衣ノ左胸部下寄トス

第十六條 體操ノ授業ヲ受クル際ニハ體操服

ヲ着用スヘシ
體操服ノ地質制式等ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 ノ二 本校ノ示達ハ所定ノ掲示場ニ就キ承知スヘシ

掲示後三日ヲ経タルモノハ一般ニ知了シタルモノト看做ス

第十六條 ノ三 掲示ヲナサムトスル者ハ生徒主事ノ検印ヲ受クヘシ

第二章 寄宿舍生徒心得
一 外出、外泊及歸省

第十七條 已ムヲ得サル事情アリテ所定ノ時間外ニ外出セムトスル者ハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生シ歸舍時間又ハ豫定期限ニ歸舍スルコト能ハサルトキハ直ニ其ノ事由ヲ申出テ生徒主事ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條 每休日(式日ヲ除ク)ノ前夜自宅近親者又ハ代理保證人ノ宅ニ宿泊セムトスルトキハ豫メ宿泊場所戸主職業及自己トノ續柄等ヲ具シ願ヒ出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條 已ムヲ得サル事情ニ由リ外泊セムトスルトキハ豫メ宿泊場所面會ヲ要スル者ノ氏名職業自己トノ續柄及外泊ヲ要スル事情ヲ詳記シ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生シ豫メ前條ノ手續ヲ履ムコト能ハサルトキハ直ニ其ノ手續ヲ履ミ生徒主事ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十二條 父母其ノ他近親ノ病氣ヲ看護シ又ハ喪ニ服スルカタメ外泊又ハ歸郷セムトスルトキハ豫定期間及事由ヲ詳記シ保證人ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 衣服ノ地質ハ左ノ通トシ色合縞柄模様等ハ目立タサルモノヲ用フヘシ

主事ノ許可ヲ受クヘシ歸校延期ヲ要スル場

合亦同シ
前項本文ノ場合ニ於テ事急ヲ要スルトキハ一時電報又ハ書面ヲ以テ保證人又ハ代理保證人ノ連署ニ代フルコトヲ得
第二十三條 春季及冬季休業中歸郷セムトスルトキハ豫定期間及歸郷先ヲ具シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
第二十四條 春季、夏季及冬季休業中歸郷ノ途次外泊又ハ旅行セムトスルトキハ豫メ事由ヲ詳記シ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十五條 春季、夏季及冬季休業中歸郷シタル者始業ノ前日迄ニ歸校スル能ハサルトキハ豫メ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ

第二十六條 寄宿舍ニ到達セル信書ハ來信函

又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出テ生徒

ニ挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度掲示板ニ掲示スヘキニ付當直教官ニ就キ之ヲ受領スヘシ

第二十七條 郵便爲替ヲ以テ送金ヲ受ケムトスルトキハ拂渡郵便局大塚郵便局駿河臺郵便局又ハ本郷郵便局及受取人ヲ指定シテ送付スヘキヤウ豫メ學資支出者ニ通知シ置クヘシ

第二十八條 前條ノ郵便局ニ就キ爲替金ヲ受領セムトスルトキハ爲替證書ニ生徒主事マ證印ヲ受クヘシ

三 面 會

第二十九條 外來者トノ面會ハ應接室ニ於テ面會時間ハ放課後ヨリ午後六時迄トス

第三十條 疾病ニ罹リタルトキハ直ニ生徒主事ニ申出ツベシ但當該室總代ニ於テ代理スルコトヲ得

五 非 常

第三十四條 出火ヲ認知スルトキハ直ニ當直教官ニ急報スヘシ

第三十五條 出火ヲ認知スル者消火器ヲ使用シ又ハ他ノ手段ヲ以テ消火シ得ヘシト思惟

第三十二條 校醫ニ於テ必要ト認ムルトキハ來診ヲ求ムルコトヲ得

第三十三條 校外ノ診療ヲ受ケムトスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第三十四條 出火ヲ認知スルトキハ直ニ當直教官ニ急報スヘシ

第三十五條 出火ヲ認知スル者消火器ヲ使用シ又ハ他ノ手段ヲ以テ消火シ得ヘシト思惟

スルトキハ大聲ヲ發シテ之ヲ報スルト共ニ即刻其ノ事ニ從フヘシ

第三十六條 消災ノ號鐘ニ接スルトキハ各自ニ於テ其ノ必需品ヲ取纏メ速ニ其ノ室前ニ整列スヘシ

第三十七條 各室總代ハ其ノ室友ヲ總へ寮總代ノ指揮ニ從フヘシ

第三十八條 各寮總代ハ其ノ寮友ヲ總へ生徒主事ノ指揮ニ從フヘシ

第三十九條 立退ノ際ハ便宜非常口ヲ利用スヘシ

第四十條 各室及各寮總代ハ隨時所屬員ヲ點檢スヘシ

第四十一條 大地震ノ際ハ第三十六條乃至第四十條ニ準シ其ノ居所ニ最モ近キ非常口ヲ經由シテ立退クヘシ此ノ際特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第三章 通學生徒心得

一 通學及入舍

第四十二條 特別ノ事情ニ由リ通學セムトスルトキハ居住若ハ寄留スヘキ場所戸主ノ氏名職業自己トノ續柄及通學ヲ要スル事情ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ

第四十三條 通學生徒入舍セムトスルトキハ入舍ヲ要スルニ至レル事情ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ

二 宿 所

第四十四條 通學生徒ハ毎學年ノ始ニ於テ所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ記入シ生徒課ニ差出スヘシ

第四十五條 通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ更ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第四十六條 通學生徒ノ宿所ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシム

三 離鄉及旅行

記シ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ歸京延期ヲ要スル場合亦同シ

第四十八條 通學生徒春季夏季及冬季休業中
歸鄉又ハ旅行セムトスルトキハ保證人又ハ
代理保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ

通學生徒課選

記シ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ歸京延期ヲ要スル場合亦同シ
第四十八條 通學生徒春季夏季及冬季休業中
歸鄉又ハ旅行セムトスルトキハ保證人又ハ
代理保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ

本校二到

挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受
領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度掲示板ニ
掲示スヘキニ付生徒課ニ就キ之ヲ受領スヘシ
五 傳染病

第五十條 通學生徒ニシテ左ノ各號ノ傳染病
ニ罹リタル者ハ速ニ届出テ治癒スルニ至ル
迄昇校ヲ差控フヘシ治癒シタル後昇校セム

差控フヘシ

ル傳染病患者アル家ニ居住スル者又ハ該病
ニ感染ノ疑アル者ハ昇校ヲ差控フヘシ但
醫師ニ於テ豫防處置施行ノ情況及其ノ他ノ
事情ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ハ該
醫師ノ證明書ヲ差出シタル上昇校スルコト
ヲ得

四 職員服務規程

第一章 教官之服務

第二條 教官ハ毎學年末ニ於テ其ノ擔任スル
徒教育ノ責ニ任ス

學科目ニ就キ次學年度ノ教授要目ヲ調製シ
學科目主任及學科主任ヲ經テ學校長ニ具申

第三條 教官ハ毎學期末ニ於テ前條ノ教授題目
スヘシ

第三種、基キ其ノ學期間ニ於ケル教授ノ進程ヲ

細則

記載シ學科主任及學科主任ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

意見アルトキハ之ヲ學校長ニ具申スヘシ
第五條 報酬ヲ受ケテ他ノ職務ニ從事セムト

スル者ハ官吏ニ在リテハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受ケ囑託員ニ在リテハ學校長ノ許可ヲ受ケヘン但本務ノ他ニ在レ皆ハ比

ノ限ニ在ラス

第二章 事務員ノ服務

受ヶ分課ノ事務ニ從事スヘシ
雇員ハ前項ノ外特別教室ニ勤務セシムルコ

揮ヲ受ケテ執務スヘシ

卷之三

第八條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖執務スヘシ

第九條 疾病其ノ他ノ事故ニ由リ遲刻又ハ缺勤セムトスルトキハ當日執務時間前ニ事由ヲ具シ届出ツヘシ

疾病ニ由リ缺勤スルコト一週日ニ至ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出テ爾後二週日ニ至ル毎ニ同様届出ツヘシ

第十條 執務時間中發病等ノタメ退出セムトスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 女子ノ職員ハ分娩豫定日前二週日以内分娩後六週日以内休養スルコトヲ得前項分娩豫定日ハ醫師ノ診斷書ニ依ル但特別ノ事情アル場合ニ在リテハ産婆ノ證明書ヲ以テ醫師ノ診斷書ニ代フルコトヲ得

第十二條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スル者ハ前

日中ニ届出ツヘシ

第十三條 親屬ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クルトキハ其ノ親屬關係ヲ記シ届出ツヘシ

第十四條 病氣療養父母ノ看病又ハ墓參ノタメ請暇セムトスルトキハ日限及行先地ノ宿所ヲ具シ願出ツヘシ延期ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ

第十五條 陸軍召集令又ハ海軍召集令ニ依リ召集又ハ簡便點呼ニ應スルトキハ日限及應召地部隊名又ハ艦艇名ヲ具シ出發前ニ届出ツヘシ

第十六條 喬賜中旅行セムトスルトキハ日限及旅行先地ヲ具シ出發前ニ届出ツヘシ

第十七條 出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ届出テ且歸校後一週日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十八條 新任者ハ五日以内ニ住所居及履歴書ヲ差出スヘシ

第十九條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名族籍ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第二十條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歴ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ

第二十一條 轉任免官休職等ノ際又ハ分掌事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ

第二十二條 非常事故アルトキハ速ニ登校シ上官ノ指揮ヲ受クヘシ事急ヲ要スルトキハ當直者及登校者ニ於テ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第三章 學校醫ノ服務

第二十三條 學校醫ハ學校長及生徒課幹事ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル事務ニ從事ス

第二十四條 學校醫ハ毎月二回以上出校シ全校ニ亘リ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ

第二十五條 學校醫ハ日曜日及土曜日ヲ除キ毎日定時寄宿舍醫局ニ出頭シ疾病ニ罹レル生徒アラハ之ヲ診療スヘシ

第二十六條 學校醫ハ學生、生徒、兒童身體檢查規定ニ依リ生徒ノ身體ヲ検査シ身體檢查票ヲ調製スヘシ

第二十七條 學校醫ハ本校及本校附屬校園ニ入學ヲ志望スル者ノ身體ヲ検査シ其ノ結果ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二十八條 學校醫ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ノ外學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ

第二十九條 學校醫ハ學校内、學校所在地及其ノ近傍ニ傳染病ノ發生シタルトキハ其ノ情況ニ依リ十分ナル清潔方法ヲ施行シ全校若

ハ其ノ一部ヲ閉鎖ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ
第三十條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニ就キ學校長ニ申告スヘシ
第三十一條 學校醫ハ其ノ執務ノ狀況及調查又ハ申告シタル事項等ニ就キ其ノ大要ヲ記載シ其ノ都度之ヲ學校長ニ提出スヘシ
第四章 當直ノ服務
第三十二條 當直勤務ハ事務當直及寄宿當直トス
第三十三條 男子ノ書記及分課事務ニ從事スル男子ノ雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服ス
ヘシ但丁年未滿ノ者ハ此ノ限ニ在ラス
生徒課勤務ノ女子教官ハ輪番ヲ以テ寄宿當直ニ服スヘシ但學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス
第三十四條 當直時間ハ平日ニ在リテハ執務

時間ノ終ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限迄トシ休日ニ在リテハ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限迄トスヲ免ス
第一出張中出張ノ前日出張先ヨリ歸校ノ翌日
二 賜暇中
三 忌引中
四 疾病其ノ他ノ事故ニ依ル缺勤中
五 新任者着任ノ日ヨリ七日間
六 以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ
第三十六條 事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ
一 校舍各室ノ鎮鑰ヲ管守スルコト

二 校舍内外ノ取締ヲナスコト
三 接受シタル物件ヲ處理スルコト
四 火災ノ虞アル場所及備品ニ對シ特ニ注意スルコト
第三十七條 寄宿舎當直ハ寄宿舎ノ管理及取締ニ任シ舍内一切ノ事務ヲ處理スヘシ
第三十八條 當直者ハ勤務中學校又ハ寄宿舎ヲ離ルルコトヲ得ス
第三十九條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得
第四十條 當直中非常事故アルトキハ直ニ學校長及庶務課幹事ニ報告シ事急ナルトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ
第四十一條 當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課幹事寄宿舎當直ニ在リテハ生徒課幹事之ヲ定ムヘシ
附 則

第四十二條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス
五 校務分掌規程
第一章 教育事務
第一條 教授ニ關スル事務ハ各教官之ヲ分擔ス
第二條 訓育ニ關スル事務ハ全教官之ヲ擔任シ生徒主事之ヲ主掌ス
生徒主事ハ其ノ事務ヲ寄宿舎生徒ニ關スル事項ト通學生徒ニ關スル事項トニ別チ之ヲ分擔スルコトヲ得
第三條 教育事務整理ノ責ニ任セシメムカタメ學科目主任、學級主任及學科主任ヲ置ク
第四條 學科目主任ハ學科目毎ニ各一人トシ
學科目主任ハ當該學科目ニ就キ左ノ事務ヲ擔任ス

一 教授ノ連絡統一ニ關スルコト
 二 教授ノ分擔ニ關スルコト
 三 教授要目及教授進程報告ノ整理ニ關スルコト
 四 教科用圖書ノ豫選ニ關スルコト
 五 教授上必要ナル参考用圖書、器具、機械、標本等ノ調査ニ關スルコト
 六 其ノ他當該學科ニ關スル事項
 第五條 學級主任ハ學級每ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 學級主任ハ當該學級ニ就キ左ノ事務ヲ擔任ス
 一生徒ノ統率及風紀ニ關スルコト
 二 生徒ノ性行、學業及健康ニ關スルコト
 三 校規命令ノ實行ニ關スルコト
 四 生徒當番ニ關スルコト
 五 其ノ他當該學級ニ關スル事項

第六條 學科主任ハ文科、理科、家事科每ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 第八條 本校ニ庶務課、教務課、圖書課、生徒課ヲ設キ事務ヲ分掌セシム
 第九條 各課ニ幹事ヲ置キ所屬職員ヲ率キ分掌事務整理ノ責ニ任セシム
 第十條 各課所屬ノ職員ハ幹事ノ指揮ヲ受ケ
 幹事ハ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 第十一條 庶務課ニ庶務掛及會計掛ヲ置ク

庶務掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 御眞影勅語及令旨ノ保管ニ關スルコト
 二 學校長ノ官印及校印ノ管守ニ關スルコト
 ト
 三 校旗ノ保管ニ關スルコト
 四 職員ノ進退及身分ニ關スルコト
 五 職員ノ服務ニ關スルコト
 公文書ノ處理ニ關スルコト
 六 統計報告、一覽等ニ關スルコト
 校報ニ關スルコト
 七 諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト
 八 日誌及諸記錄ニ關スルコト
 九 儀式ニ關スルコト
 一〇 評議員會ニ關スルコト
 一一 三 寄贈ノ金品等ニ關スルコト
 一二 本校ノ當直ニ關スルコト
 一三 教員免許狀ニ關スルコト

二 面會人ノ取扱ニ關スルコト
 七 乘車船割引證交付ニ關スルコト
 八 他ノ課掛ニ屬セサル一切ノコト
 九 會計掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 歲入歳出豫算及決算ニ關スルコト
 二 資金ニ關スルコト
 三 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
 四 物品ノ購入及不用品處分ニ關スルコト
 五 圖書以外の物品ノ出納及保管ニ關スルコト
 六 土地建物ニ關スルコト
 七 道路庭園ニ關スルコト
 八 營繕ニ關スルコト
 九 電話、電燈、瓦斯、給水及煙房ニ關スルコト
 一〇 傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
 一一 警備取締ニ關スルコト
 一二 酒掃ニ關スルコト

三 其ノ他會計ニ關スル一切ノコト
 第十二條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 學科課程ニ關スルコト
 二 教授要目及教授進程報告ニ關スルコト
 三 教科用圖書ニ關スルコト
 四 教官ノ分擔及日課ノ配當ニ關スルコト
 五 授業及休業ニ關スルコト
 六 生徒ノ募集及入學ニ關スルコト
 七 選拔試験ニ關スルコト
 八 成績考査進級及卒業ニ關スルコト
 九 成績證明ニ關スルコト
 一〇 教授上ノ設備ニ關スルコト
 一一 教官會議ニ關スルコト
 一二 修學旅行ニ關スルコト
 一二 卒業生ニ關スルコト
 一三 參觀人ノ取扱ニ關スルコト
 一四 教室教官室ニ關スルコト

六 其ノ他教務ニ關スル一切ノコト
 第十三條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 圖書ノ出納保存及整理ニ關スルコト
 二 圖書印ノ監守ニ關スルコト
 三 圖書ノ貸付閲覽ニ關スルコト
 四 圖書目錄編纂ニ關スルコト
 五 書庫閲覽室ニ關スルコト
 六 生徒ノ他圖書ニ關スルコト
 第十四條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 生徒ノ取締ニ關スルコト
 二 生徒ノ訓誨及賞罰ニ關スルコト
 三 生徒ノ當番ニ關スルコト
 四 生徒ノ學籍ニ關スルコト
 五 證書保證書ノ整理、保管ニ關スルコト
 六 生徒ノ出席簿ニ關スルコト
 七 退學休學其ノ他生徒ノ事故ニ關スルコト

八 在學及品行證明ニ關スルコト
 九 家庭及保證人トノ連絡ニ關スルコト
 一〇 生徒ノ願伺、居ニ關スルコト
 一一 生徒ノ郵便物ニ關スルコト
 一二 生徒ノ集會ニ關スルコト
 一三 運動競技ニ關スルコト
 一四 學校衛生ニ關スルコト
 一五 身體検査ニ關スルコト
 一六 寄宿舎ノ清潔整頓ニ關スルコト
 一七 寄宿舎ノ警備取締ニ關スルコト
 一八 寄宿舎ノ當直ニ關スルコト
 一九 入舍退舍外泊旅行其ノ他寄宿舍生徒ノ異動ニ關スルコト
 二〇 寄宿舍生徒ノ舍室配當ニ關スルコト
 二一 寄宿舍ノ炊事監督ニ關スルコト
 二二 寄宿舍生徒ノ舍費食費等ノ收支ニ關スルコト

六 圖書室規程

第一條 東京女子高等師範學校圖書室ハ本校ノ圖書ヲ收藏シ職員及生徒ノ閲覽參考ニ供

スルヲ以テ目的トス

第二條 閲覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開
ク但時宜ニ依リ臨時之ヲ開閉スルコトアル
ヘシ

閲覽室ニ於ケル閲覽時限ハ別ニ之ヲ定ム
第三條 閲覽室ニ入り圖書ヲ借覽スルヲ得ル
者左ノ如シ

一本校及附屬校園職員

二本校生徒

三附屬高等女學校第五學年及專攻科生徒

四閲覽票ヲ所有スル者

第四條 左ニ掲タル者ニハ其ノ請求ニ依リ閲
覽票ヲ交付ス

一本校卒業生

二附屬高等女學校卒業生

三特ニ校長ノ許可ヲ得タル者

第五條 職員ハ掛員ノ承認ヲ得テ自ラ書庫及

閲覽室ニ入り圖書ヲ検索シ之ヲ借覽スルコ
トヲ得其ノ他ノ者ニ在リテハ圖書ヲ借覽セ

ムトスル時ハ必ス掛員ニ申出テ其ノ貸出ヲ
受クヘシ

第六條 圖書ヲ借覽セムトスル者ハ規定ノ用
紙ニ書名及冊數年月日等ヲ記入シ署名ノ上
掛員ニ差出シ其ノ貸出ヲ受クヘシ

借覽ノ圖書ハ閲覽了ラハ直ニ返納スヘシ
第七條 借覽ノ圖書ハ閲覽室外ニ帶出ヲ許サ
受クヘシ

第八條 職員以外ノ者ニ在リテ同時ニ借覽シ
得ヘキ圖書ハ一人ニ付十冊ヲ限トス

第九條 圖書筆墨紙類ヲ除クノ外物品ヲ閲覽
室ニ携帶スヘカラス

閲覽室ニ於テハ常ニ靜肅ヲ保チ喫煙音讀雜
談等他人ノ妨害トナルヘキ舉動ヲナスヘカ
ラス

第十條 各學科目主任並ニ附屬校園主任ハ教
授上及参考上必要ナル圖書ヲ借受シ之ヲ各
教室若ハ各特別教室等ニ備付ケ其ノ學科目
又ハ其ノ校園教官ノ共用ニ供スルコトヲ得
各事務主任ハ事務上必要ナル圖書ヲ借受シ
之ヲ各事務室ニ備付ケ其ノ掛員ノ共用ニ供
スルコトヲ得

前二項ニ依ル圖書ノ借受ニハ別ニ部數ノ制
限ヲ設ケス圖書室備置ノ共用圖書貸出簿ニ
書名冊數年月日等ヲ記入シ捺印ノ上其ノ貸
出ヲ受クヘシ

第十一條 教官ハ一人三十冊其ノ他ノ職員ハ
一人十五冊ヲ限リ圖書ヲ借受スルコトヲ得

第十二條 貴重ナル圖書及教官ノ請求ニ依リ
圖書室ニ常備シ置クヲ要スル圖書ハ借受ス
ルコトヲ得

第十三條 生徒ハ受持教官ノ指定ニ係ル教科

用圖書ニ限り之ヲ借受スルコトヲ得但本校
夏季休業中ハ一人十冊ヲ限リ特ニ一般圖書
ノ借受ヲ許スコトアルヘシ

第十四條 本校生徒ニシテ日曜日祝祭日及閲
覽室閉鎖後ニ圖書ヲ借受セムトスル者ニハ
之ヲ貸出スコトアルヘシ但同時ニ借受シ得
ヘキ圖書ノ冊數ハ五冊ヲ限トス

第十五條 本校生徒ニシテ教生タル者ハ其ノ
期間教育實習上必要ナル圖書一人五冊五日
ヲ限リ借受スルコトヲ得

第十六條 新ニ購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタル圖
書ハ一ヶ月ヲ經ルニアラサレハ借受スルコ
トヲ得ス但本校又ハ附屬校園教官ノ共用ニ
供スル爲購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタルモノハ

此ノ限ニ在ラス

第十七條 圖書ヲ借受セムトスル者ハ圖書課

第六臨時教員養成所職員及生徒ハ本規程ニ依リ本校職員及生徒ニ準シテ圖書ノ借受及借覽ヲナスコトヲ得

ニ就キ規定ノ用紙ヲ受取り之ニ書名冊數年月日等ヲ記入シ署名捺印ノ上掛員ニ差出シ其ノ貸出ヲ受クヘシ

第十八條 第十條ニ依リ備付ケタル共用圖書

ハ借受者其ノ保存ニ任シ目錄ヲ調製シ其ノ

借受借覽ニ關シテハ別ニ規則ヲ定ムルモノ

トス

第十九條 凡テ借受ノ圖書ハ六月、十二月指定

ノ期日ニ於テ悉皆返納スヘシ但時宜ニ依リ

臨時之ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第十條ニ屬スル圖書ハ其ノ所屬部局ニ付テ之ヲ調査スルモノトス

第二十條 凡テ借受ノ圖書ハ之ヲ他人ニ轉貸

スルヲ許サス

第二十一條 借受借覽ノ圖書ヲ汚染毀損シ又

ハ紛失シタルトキハ之ヲ償還若ハ修理セシ

ムルコトアルヘシ

表	
第 號	有 效 期 間 (自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日)
職業	圖書閱覽票 (閱覽票ナ得ヘキ資格)
某	校印

一此ノ票ヲ交附セラレタル者ハ凡テ圖書閱覽ニ關スル規則ヲ遵守スヘシ
一圖書ヲ閱覽セントスルトキハ此ノ票ヲ掛員ニ示スヘシ
一此ノ票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス又遺失シタルトキハ速ニ届出ツヘシ
一此ノ票ハ有効期間ヲ過キタルトキハ速ニ返納スヘシ

七 附屬學校幼稚園主事等

職務規程

主事

指揮ヲ校長ニ承ケ校園ニ於ケル事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督シ教生ノ教育實習ヲ指導シ生徒兒童幼兒ノ教育ヲ擔任ス
上席所屬職員ヲシテ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

左ノ諸件ハ主事ニ於テ適宜處分スルコトヲ得但一二三五ニ就テハ處分後報告スヘシ
一附屬校園ノ事務ヲ處理シ教育ノ方法ヲ改良セムカ爲細則ヲ設クルコト

二 所屬職員ニ分擔ヲ命スルコト

三 生徒兒童ノ及第落第ヲ判定スルコト

四 參觀ヲ許否スルコト

五 生徒兒童ノ退學及幼兒ノ退園ヲ承認ス

六 通常ノ事項ニ關シ生徒兒童幼兒ノ保護者若ハ其ノ代理人ヲ呼出しシ又ハ之ト文書ヲ往復スルコト

附屬高等女學校專攻科主任

指揮ヲ主事ニ承ケ專攻科ニ於ケル教育ノ統

一ヲ計リ兼テ其ノ全體ニ關スル事務ヲ掌理ス

附屬掛

指揮ヲ主事ニ承ケ附屬校園内ノ整理器具標本簿冊ノ整頓物品ノ受渡圖書ノ保管外來人ノ應接文書報告板圖印章ノ保管等ノ事ヲ掌ル

八 會議規程

第一條 會議ヲ分チテ評議員會及教官會トス

第二條 評議員會ハ學校長ノ諮詢ニ應シ校務ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第三條 評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
評議員ハ左ノ職員ニ就キ學校長之ヲ命ス
一 各課幹事及寄宿舍主任生徒主事
二 教授生徒主事ヲ本官トスル者ノ互選シ
タル者若干名
必要アルトキハ臨時評議員外ノ職員ヲシテ
會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ
第四條 前條第二項第二號ニ依ル評議員ノ任
期ハ當該學年間トス
第五條 教官會ハ學校長ノ諮詢ニ應シ學科課
程成績考查其ノ他學校長ニ於テ必要ト認メ
タル事項ヲ審議ス
第六條 教官會ハ左ノ五種トシ當該教官ヲ以
テ之ヲ組織ス
一 學科主任會
二 學科目主任會
三 學級主任會

四 教授會
五 教官總會
前項第一號乃至第四號ノ各教官會ニ於テ必
要アルトキハ當該教官外ノ教官ヲシテ會議
ニ加ハラシムルコトアルヘシ
第七條 評議員及各教官會ノ當該教官ハ其ノ
會議ニ附議スヘキ議案ヲ提出スルコトヲ得
此ノ場合ニ於テハ三名以上ノ賛成ヲ得會議
ノ三日以前ニ於テ學校長ニ提出スルヲ要ス
第八條 評議員會及教官會ノ議長ハ學校長之
會ノ庶務ヲ處理ス
第九條 評議員會及教官會ニ理事ヲ置ク
評議員會理事ハ庶務課幹事教官會理事ハ教
務課幹事之ニ當リ學校長ノ指揮ヲ受ケ其ノ
會ノ庶務ヲ處理ス
第十條 評議員會及教官會ニ書記ヲ置ク
評議員會書記ハ庶務課庶務係主任書記教官

會書記ハ教務課主任書記之ニ當リ上司ノ指
揮ヲ受ケ其ノ會ノ庶務ニ從事ス
附則
第十一條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ
之ヲ施行ス

九 文書處理規程
第一條 公文書ハ附屬校園ニ於テ直接處理ス
ルモノ及本規程第四條ニ依ルモノノ外庶務
課庶務掛ニ於テ收受シ左ノ各號ニ依リ取扱
フヘシ
一 親展文書ハ月日受信名及發信名ヲ親展
文書送付簿ニ登記シ封緘ノ儘之ヲ宛名ニ
配付スヘシ
二 前號外ノ文書ハ之ヲ開封シ文書收受簿
ニ登記シ其ノ件名番號及年月日ヲ記入シ
タル後直ニ主掌分課掛ニ配付シ其ノ證印

ヲ徵スヘシ
三 二分課掛以上ニ關聯スル文書ハ關係ノ
重キニ從ヒ之ヲ配付スヘシ
第二條 親展文書ノ回付ヲ受ケタルトキハ前
條第二號ニ準シ之ヲ取扱フヘシ
第三條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ分課
掛ノ主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務
課庶務掛ニ還付スヘシ
第四條 左ノ文書ハ庶務課庶務掛ヲ經由セス
主掌分課掛ニ於テ直ニ接受スヘシ
一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
二 生徒ヨリ差出ス願届書類
三 入學志願者及入學候補者ニ關スル書類
四 其ノ他學校長ノ指定シタル書類
第五條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速
ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ
事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能

ハス又ハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ學校長ニ供閲シ指揮ヲ受クヘシ
第六條 處分案ニシテ他ノ分課掛ニ關係アルモノハ合議スヘシ
第七條 決裁済ノ文書ハ主掌分課掛ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ
第八條 発送ヲ要スル文書ハ庶務課庶務掛ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ事務當直ニ回付スヘシ
第九條 庶務課庶務掛ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ文書發送簿ニ登記シ原議ハ之ヲ主掌分課掛ニ還付スヘシ
第十條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ直接文書ヲ發送スルトキハ月日受信名發信名及番號ヲ文書送付簿ニ記載シ送達ノ上送先ノ證印ヲ徵スヘシ

第十一條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ郵書電信ヲ發送シタルトキハ月日受信名發信名及料金ヲ郵便切手受拂簿ニ登記シ取扱者檢印スヘシ
第十三條 事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課掛ニ於テ編纂保存スヘシ
第十四條 文書ハ之ヲ分類シ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ
一 事件ノ完結シタル順序ニ依リ曆年別(會計ニ關スルモノハ會計年度別)ニ綴込ムヘシ但紙數ノ多寡ニ應シ便宜一年分ヲ分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得
二 保存期限十年以上ノモノハ卷首ニ目錄
ヲ附シ件名及丁數ヲ掲記スヘシ
三 圖表其ノ他合綴シ難キモノハ適宜ノ方

法ニ依リ之ヲ保存スヘシ
第十五條 文書ノ保存期間ハ之ヲ無期十年、五年及一年ノ四種ニ分ツ
第十六條 無期保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

御眞影拜戴、勅語謄本下附及御下賜品等ニ關スル書類、行啓ニ關スル書類、訓令、告諭及通牒書類、職員進退及叙位叙勳等ニ關スル書類、職員履歴書、儀式ニ關スル書類、規則細則ノ制定改廢ニ關スル書類、卒業證書原簿、教員免許狀ニ關スル書類、命令簿、學校一覽、校報、諸統計並報告書類、寄付ニ關スル書類、文書收受簿、文書發送簿、官廳往復重要書類、歲入徵收簿、支出內謄簿、經費推算簿、支拂元受高差引簿、概算渡整理簿、現金出納簿、保證金出納簿、資金ニ關スル重要書類、科學研究獎勵費ニ關スル書類、歲入歲出概算書、物品出納計算書、收入金現金出納計算書、委任經理現金出納計算書、歲入歲出外現金出納計算書、會計檢查院審理答辯書寫、當儲員命令簿、業績簿、成績調查表、入學者寫真、入學者及特別入學者關係書類、評議員會及教育會記錄學期別課程表、研究科生徒研究報告書、生徒學籍簿、生徒處分ニ關スル書類、休退

第十七條 十年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ
文部省在外研究員關係書類、職員勤務調査表、職員出張復命書類、職員本務以外應囑書類、會計關係計算報告書類、歲入歲出豫算施行ニ關スル書類、競爭入札ニ關スル書類、郵便切手受拂簿、消耗品受拂簿、俸給支出原簿、傭人給料支出原簿、諸契約書、見積書、歲入徵收報告簿、物品請求書類、高等師範學校等ニ關スル調入學者選拔試驗關係書類、教科書選定表、教授要目、教授進程報告、日課表、試驗問題、入學者選拔試驗問題、選修學科目選擇、見學旅行關係書類、生徒身體檢查統計表、生徒晉書及保證書、生徒ノ思想性行ニ關スル書類、生徒學資金關係書類、宿直日誌、文書送付簿、職員顧問屆書類、職員生徒身分證明原簿、乘車船隻割引證交付原簿、通知伺簿、揭示伺簿、支拂豫算科目流用伺簿、經費推算表、經費分割簿、豫算分配簿、當儲人出勤簿、小切手支拂書號原簿、俸給共ノ他交付簿、臨時僕上人夫出面帳、入學志願者名簿、入學者選

拔試験成績表 入學志願票(入學者ノ分) 入學者選拔試験
 答案 講習會關係書類 成績證明書類 評點科目割合表
 教官受持時數調 卒業生配當ニ關スル書類 教生配當ニ關
 スル書類 教官生徒圖書借覽書類 生徒戸籍謄本 生徒履
 歴書 生徒勤情報告 生徒出席簿 生徒宿所届 入舍及退
 舍ニ關スル書類 生徒並保證人印鑑簿 保證人變更届 寄
 宿舍役員任命認可關係書類 在學證明書交付簿 集會顧綴
 通學願ニ關スル書類 生徒ノ外出、外泊、歸省ニ關スル書類
 第十九條 一年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左
 ノ如シ

書留郵便授受簿 常備員顧居書類 入學志願票及寫眞(不
 合格者ノ分) 入學出願書類(不合格者ノ分) 參觀人ニ關ス
 ル書類 生徒書留郵便物受渡簿 生徒缺席届

第二十條 文書ノ保存期間ハ事件ノ完結シタ
 ル翌年ヨリ之ヲ起算ス但會計ニ屬スルモノ
 ハ翌會計年度ヨリ之ヲ起算ス

第二十一條 保存期間ノ經過シタル文書ハ之
 ヲ庶務課會計掛ニ引繼クヘシ

庶務課會計掛ニ於テ前條ノ文書ヲ受繼キタ
 ルトキハ經伺ノ上相當ノ措置フナスヘシ

十 物品會計規程細則

第一章 總則

第一條 本校ニ屬スル物品ノ保管及出納ハ物

品會計規則並文部省直轄各部物品會計規程

ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 物品ハ之ヲ分チテ備品消耗品ノ二種

トス

第二章 保管及出納

第三條 物品ノ出納ハ總テ學校長ノ命令ニ依

リ物品會計官吏之ヲ執行ス

第四條 各部局ニ於テ所要ノ物品ハ請求書ニ
 品目、數量、需要ノ事由ヲ記載シ會計掛ニ請求
 スヘシ但注文上圖案ヲ要スルモノハ之ヲ添
 付スヘシ

第五條 會計掛ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタル
 トキ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ之ヲ當該
 物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ
 購入ヲ要スルモノハ學校長ノ許可ヲ受ケ購
 入ノ上支給ノ手續ヲナスヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ一箇年ノ所要ヲ豫
 定シ學校長ノ許可ヲ得テ一回若ハ數回ニ取
 繩メ會計掛ニ於テ購入ノ手續ヲナスヘシ

第七條 生產品又ハ寄贈品ニ係ル物品ハ會計
 掛ニ於テ其ノ品目數量及價格ヲ記シ藏置若
 ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條 物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品
 ハ直ニ物品出納簿ニ登記スヘシ

物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ヲ支給
 セムトスルトキハ備品ニ在リテハ現品ニ番
 號ヲ付シ備品支給簿ノ登記ヲ了シタル後之
 ヲ交付スヘシ

圖書機械標本ハ各物品監守者ニ於テ各自一
 定ノ番號ヲ附記スヘシ

第九條 物品ノ監守及取扱ニ關スル責ニ任セ
 シムル爲各部局ニ物品監守者及物品取扱主
 任各一名ヲ置ク

第十條 物品監守者ハ備品監守簿ヲ、物品取扱
 主任ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ物品ノ支給ヲ受
 ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ支給簿又ハ請
 求書ニ受領ノ印ヲ押シ受授ノ手續ヲ爲スヘ
 シ

第十一條 物品監守者若ハ物品取扱主任交迭
 シタルトキハ前任者後任者ニ於テ物品監守
 簿消耗品受拂簿ト現品ヲ對照シ其ノ引繼
 ヲ了シタル事由及年月日ヲ帳簿餘白ニ記入
 シ相互記名捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ了シタルトキハ前任者連署ノ
 上學校長ニ届出ツヘシ

第十二條 甲備品監守者ノ監守スル物品ニシテ不用ニ歸シタルモ乙備品監守者ニ於テ必要ナルモノアルトキハ甲乙監守者ヨリ其ノ旨物品會計官吏ニ通告シ現品ノ受渡ヲナスヘシ

第十三條 物品監守者ハ監守セル物品ニシテ自然ニ毀損シタル爲修理ヲ要スルモノアルトキハ現品ヲ添へ會計掛ニ請求スヘシ
會計掛ハ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲナシ出來ノ上ハ物品監守者ニ交付スヘシ

第十四條 物品監守者ニ於テ自然毀損シ若ハ不用ニ屬シタル物品ハ直ニ之ヲ會計掛ニ返付シ監守簿ニ其ノ事由及年月日ヲ記入シ物品會計官吏ノ受領ノ證印ヲ受クヘシ

第十五條 物品會計官吏ニ於テ前項物品ノ返付ヲ受ケ將來所要ノ目的ナシト認メタルモ

ノハ其ノ處分案ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十六條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各物品監守者及物品取扱主任ノ物品ヲ查閱シ備品監守簿消耗品受拂簿ノ調査ヲナシ其ノ狀況ヲ學校長ニ申告スヘシ

第十七條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り學校長ニ申報スヘシ

第十八條 物品監守者ハ時々監守物品ヲ帳簿ト對照シ點検スヘシ若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經由シテ學校長ニ申報スヘシ

第十九條 物品ヲ亡失シ或ハ毀損シタル者アルトキハ學校長ハ其ノ事實ヲ審查シ其ノ監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出テタルモノト認

ムルトキハ文部省直轄各部物品會計規程第十二條若ハ第十三條ニ依リ處分スヘシ

スヘシ(別紙様式略ス)

第三章 帳簿

第四章 檢閲

第二十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一普通備品出納簿

一圖書出納簿

一機械標本類出納簿

一機械標本類出納簿

一普通備品支給簿

一機械標本類支給簿

第二十一條 物品監守者ハ物品ノ監守、物品取扱主任ハ消耗品ノ受拂ヲ明確ニスル爲左ノ

帳簿ヲ備フヘシ

一備品監守簿

一消耗品受拂簿

一郵便切手類受拂簿

第二十二條 諸帳簿等ハ別紙様式ニ依リ調製

第二十七條 物品検査上在庫物品ニ付テハ物品會計官吏監守及取扱物品ニ付テハ物品監

品會計官吏監守及取扱物品ニ付テハ物品監

守者又ハ物品取扱主任ニ於テ其ノ保管監守
取扱ニ係ル現品及帳簿等ヲ取揃ヘ立會ノ上
之カ検査ヲ受ケ検閲委員ヨリ質問アリタル
トキハ之ニ答辯スヘシ

第二十八條 物品檢閲委員檢閲ヲ終了シタル
トキハ檢閲ノ顛末ヲ具シ意見ヲ付シテ學校
長ニ申報スヘシ

十一 非常心得

第一條 非常事變アルトキハ報鐘ヲ連打シテ
之ヲ報ス

第二條 非常事變ノ節職員ハ晝夜ヲ論セス直
ニ出校シ上官ノ指揮ニ從フヘシ

第三條 非常事變ノ節ノ立退場ハ運動場及正
門附近トス

第四條 非常ヲ認知シタル者ハ直ニ報鐘ヲ連
打スヘシ

第五條 報鐘ヲ聞キタルトキ或ハ非常ヲ認知
シタルトキ生徒兒童幼兒ハ左ノ指揮ヲ受ケ
テ急速最近ノ立退場ニ整列スヘシ

一 寄宿舍ニ在リテハ生徒主事及寮總代室
總代若ハ其ノ代理者

二 教室内ニ在リテハ受持教員
ハ上官ノ指揮ヲ受ケテ進退スヘシ

三 大地震等ノ場合ニ在リテハ非常報鐘
ノ有無ニ拘ラス教員生徒主事寮總代室總代
若ハ其ノ代理者ハ便宜速ニ立退カシムヘシ

但教員ノ指揮ヲ受クル暇ナキトキハ生徒ハ
便宜ノ處置ヲ採ルヘシ

第八條 火災ノ節ハ最モ先ニ左ノ物品ノ持退
ヲ終ヘテ他ノ物品ニ及フヘシ

一 庶務課庶務掛緊要書類
一 庶務課會計掛緊要書類

ノ他ヨリ駆付ヲ受ケタルトキ之カ應接ノ任
ニ當ルヘキモノトス

第十四條 非常立退ノ方法ハ時々練習スヘシ

第十五條 附屬校園並ニ寄宿舍ニ於テハ非常
心得ニ基キ更ニ實施ノ方法ヲ定ムヘシ

一 教務課緊要書類
一 圖書課緊要書類
一生徒課緊要書類
一 寄宿舍緊要書類
一 醫局緊要書類
一 附屬學校幼稚園緊要書類
第九條 各部所管ノ緊要書類物品等ニハ常ニ
非常持退品ノ文字ヲ標記シ置キ至急持退ニ
便スヘシ

第十條 執務時間外ニ於テ火災アルトキハ宿
直員ハ電話ヲ以テ直ニ校長ニ急報スヘシ

第十一條 火災ノ節職員ハ小使人足等ヲ指揮
シテ消防ニ盡力スヘシ

第十二條 非常ノ節指揮者ハ校内便宜ノ場所
ニ其ノ居ヲ定メ夜間ハ高張提灯ヲ掲ケテ目
標トスヘシ

第十三條 庶務課庶務掛ハ諸官省學校又ハ其

第七 奨学資金

一 奖学寄附金管理規程

第一條 奖学寄附金ニシテ文部大臣ヨリ交付セラレタル現金ハ株式會社三井銀行當座預金トシ又有價證券ハ中央金庫ニ保管ヲ託スルモノトス但預入人ハ學校長ノ名義トス
第二條 奖学寄附金ノ銀行預金通帳及有價證券ノ中央金庫保管證書ハ當校備付ノ金櫃ニ藏置シ會計主任之ヲ保管ス
第三條 有價證券ノ利子ハ第一條ノ預金トスヨリ預金ヲ引出シ現金ヲ以テ其ノ受取人ニ交付ス

二 奖学資金

明治四十五年六月三日昭憲皇太后本校へ行啓アラセラレ職員生徒ニ金五百圓ヲ賜フ本校カ陛下ノ行啓ヲ辱ウシタルコト實ニ十一回ニシテ其ノ都度ニ於ケル御下賜ノ金品ハ職員生徒ノ協議ヲ經テ或ハ本校及附屬校園ニ分配シ有益ナル機械器具ニ替ヘ又ハ校歌タル陛下ノ御詠ヲ謹寫セシメ之ヲ分チ戴キテ以テ永ク記念シ奉リタル事アリ故ニ今回亦一般ニ諸リ將ニ先例ニ倣ハントセシニ何ソ圖ラン其ノ年七月三十日明治天皇俄ニ御登遐アラセラレ昭憲皇太后ノ本校行啓ハ其ノ時ヲ以テ最終ノ御事トナレルニ依リ前記御下賜金處理ノ方法ヲ更メ後之ヲ恩賜獎学資金トシテ永久ニ記念シ奉リ其ノ利子ヲ以テ獎学ノ資ニ充テムトシ其ノ手

續ヲ了シタリ而シテ右ノ外有志ノ寄附ニ係ル

奖学寄附金アリ

昭和五年五月末日現在高左ノ如シ

金四千九百三十二圓十二錢

内訳

金五百八十一圓八十九錢（五百圓）

恩賜獎学資金

金百五十三圓三十七錢（百圓）

黒田獎學寄附金

金七十六圓六十九錢（五十圓）

山本獎學寄附金

金六百九十八圓八十四錢（五百圓）

今村獎學寄附金

金百五十六圓十九錢（同百圓）

第回理科卒業者記念獎學寄附金

金百八十七圓八十一錢（同六十圓）

杉本獎學寄附金

三 奖学資金ニ關スル規程

第一條 經理委任ニ屬スル獎学資金ヨリ生スル利子ハ本規程ニ依リ使用スルモノトス但寄附者ヨリ用途ヲ指定シタルモノハ此ノ限り在ラス
第二條 祈學資金ヨリ生スル利子ハ適宜左ノ各號ノ用途ニ充ツルモノトス
一 本校及附屬校園ニ於テ運動其ノ他特ニ獎勵ヲ要スル事項ニ關スル施設ヲ爲スコト
二 本校生徒中品行方正ニシテ學業優等ノ者ニ學資ノ補給ヲ爲スコト

卷之三

第三條 前條第二號ニ依ル學資ノ補給ハ之ヲ一時ニ爲シ或ハ期間ヲ定メテ毎月之ヲ爲ス

但期間ヲ定メテ學資ノ補給ヲ爲スモノニ對シ其ノ月十六日以後ニ於テ補給ノ命令ヲ發

シタル場合ノ其ノ月ニ限り月額ノ半額トナ
第四條 每月ノ學資補給ハ其ノ月二十三日(七
月ニ在リテハ五日、休業日ナレハ繰下ク)ニ之

ヲ爲ス但半途退學者、卒業者、死亡者ニ在リテ
ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 學資ノ補給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル場合ハ其ノ翌月ヨリ休學期間補給ヲ停止ス

第八 職昌

(昭和五年九月調)

第八 職員

(昭和五年九月調)

學校長	吉岡 鄉市	山口	漢文	細田 謙藏	東京
名譽教授	岩川 友太郎	東京	教育	保井 コノ	大阪
教 授	下田 次郎	東京	植物	倉橋 稔三	長野
修身、教育	下村 三四吉	兵庫	國語	佐伯 常麿	北澤 種一
歴史	尾上 八郎	岡山	理科	堀 黑田	倉橋 靜岡
國語	岡田 美津	東京	化學	七藏 富山	種島 根
英語	藤井 東京		教育	菅原 敦造	佐伯 常麿
地理	近藤 耕藏	神奈川	家事	成田 安太郎	堀 黑田
物理	富士 德治郎		國語	古川 竹二	七藏 富山
生理及衛生	孝吉 奈良		裁縫	水野 敏雄	菅原 敦造
文部省學校衛生官	石川 岩手		修身、教育	齋藤 文藏	成田 安太郎
教諭				水野 敏雄	古川 竹二
裁縫				齋藤 文藏	長崎
修身				東京	東京
歷史					

勤務	勤務(兼)	書記 西堂信一 埼玉	生徒主事 西野みよし 東京
勤務	書記 杲木鉄吉 東京	勤務	勤務
勤務	嘱託 蒲田新太郎 京都	勤務	勤務
勤務	雇水谷昌春 福島	勤務(兼)	勤務(兼)
勤務	雇本田ツネ 兵庫	勤務(兼)	勤務
幹事	教授 下村三四吉 兵庫	勤務	勤務
主任、勤務	書記 細井専山 形	勤務(兼)	勤務(兼)
勤務	嘱託 橋田弘久 岡山	生徒主事補 前田のゑ 静岡	書記 岩崎辰治 富山
勤務	嘱託 稲枝豊彦 東京	雇水谷昌春 福島	書記 富岡龜門 東京
勤務	雇今井きよ 東京	雇山内ふみ 東京	助教授 三浦ヒロ 北海道
勤務	新保磐次 新潟	嘱託 本間辰藏 新潟	
勤務	醫局勤務	嘱託 佐伯作次 福井	
勤務	醫局勤務	嘱託 棚形テツ 東京	
臨時圖書ニ關スル取調			
生徒課			
生徒主事			
堀口			
きひこ			
長野			
附屬高等女學校			
主事			
(擔任學級ハ略稱ニ依ル本ハ本科、專攻科ナシ示シ數字ハ學年ヲ示ス)			

第一部尋五擔任、教務掛、會計掛	第三部尋四擔任	飛松正兵庫	英語講師	齊藤勝子 東京
第二部尋三、四擔任、教務掛、會計掛	第一部尋四擔任	山本七一秋田	體操	鹽清福島
裁縫	第三部尋二擔任、庶務掛	奥田兵治富山	事務室勤務	齋藤勝子 東京
	第三部尋三擔任	田代順之新潟	附屬幼稚園	鹽清福島
	地理	坂本豊福井	主事	齋藤勝子 東京
	體操	寺谷朝藏鳥取	助教授	三浦ヒロ
	圖畫、手工、體操	齋藤與助千葉	教授	堀七藏富山
圖畫	第一部尋六擔任、會計掛	岡田千代石川	第一部分擔任	及川ふみ大阪
	第三部尋一擔任	金成みき江茨城	第一部川ノ組擔任	新庄よしこ茨城
	第一部尋二擔任	淺黄俊次郎山形	第一部山ノ組擔任	菊池フジノ宮城
	第一部尋一擔任	川たき千葉	第二部林ノ組擔任	神原キク香川
第一部尋三擔任、會計掛	第二部尋一、二擔任	折原さだ群馬	第二部池ノ組擔任	德久孝子茨城
裁縫	第二部尋二、三擔任	島根阿佐兵庫	第一部海ノ組擔任	白根美智子廣島
		島原美榮山		村上露子新潟
		日城		

第九生徒

(昭和五年七月末調)

一 生徒氏名

(氏名ハ五十音順トス氏名ノ上段ハ(休)トアルハ休学ヲ示シ氏名ノ下段ハ本籍府縣名及出身學校名略稱ヲ示ス略稱ハ女子師範學校ナ「女師」トシ高等女學校ナ省ク

石井安天	米山山	森森	望藤	間藤	永花	武中	高畠	高橋
川上藤野	文科第三學年	井日本	日形川	月島井	田島野	井形	内川	内橋
民郁タリ		ナツコ	愛き	松登代	千代子	トシ子	千代子	千代子
榮子ヘン		子	のぶ子	千代子	和房	ヨシミ	さだ子	清子
愛岡東香		島滋	山茨	東廣	東靜	廣香	静山	高京
知山京川		根賀	形城	京京	京島	岡岡	梨園	神奈川
愛知女師		松彦	山形	東京女師	東京第三	高松	濱松	東京第一
山見丸		江根	女師	吳東京	東京第三	青島日本	神奈川	東洋

大内岩今石荒雨 前星肥富寺千田高高瀬佐越河
森野木堀原本宮橋名後永見野中橋塚木戸藤原合
芳道喜恭美淑教二サ俊ヒ律操順譽ては華三喜
子子ふ子于子年下房子口傳子子子るな子代
愛神愛廣山熊山 楠新鹿長岡長山岡東富東愛
媛奈川知島梨木梨 木潟島崎山野野形山京山京知
附東附東廣甲東甲 東長東長西松奉東岡大冰 東岡
女女京第一岡第一岡第一岡第一岡第一岡第一
屬師屬師五島府 第五府

(イ)
三三三藤廣平橋西鍋角竹高高田鹽四紺近後木川葛
宅村浦田田岩口尾島川尾橋木内谷條 藤藤元邊城
志喜孝ふ鈴マ壽正キ正悦玉文ア文文シ君ト久
惺じ子子き子ツ美子ヨ子子枝子イ枝子ゲ子香シ子
三愛大福靜石鹿茨香宮長東愛愛新山富福東大鹿神
奈川重知分島岡川島城川城崎京知知湯梨山島京分
佛覺知第一東静長女鹿東丸宮城第一大牟田東京第一
英第一東京第一學院京師野師島第五龜

(ウ)
多說小倉木蒲奥大内稻石朝浅 織横大森村村
田田島田村池村森西田田並澤倉野科第二
正愛光君野ミ種美右い房よエ喜善學年
子子惠都合チ子江く子しミ 芙岐東長石東福岡大岡千東山鹿兒島
城阜京野川京島山阪山葉京形 北東福高東廣
土日之出東京女師金澤第二山宮城第二三輪田
浦

田鈴杉齋後小草金家大小江鶴阿理科第三學
中木村 藤山柳子守澤澤渡川武平上尾田鹿田
美春千鶴子江江代子枝子子代子子年操
知恵子八千代子子代子子年操
熊東愛愛神奈川京岡野岡島媛森川口馬知木知
本京媛知奈川京岡野岡島媛森川口馬知木知
川東高知第一愛知第一神女青福神朝廣今第一
東京第一奈學奈第一神女師口馬知木知
越三

(イ)
加緒浦市石明屋村水見松塘土橋長谷永中中東
賀方田原田間代上口澤岡江屋本塘山村川寺
英テ愛靜弘ツハルイ孝智友子すすキヤス
子ル子江子ル子子子子子子子子子子子子子
東福熊佐山秋新兵大靜宮三長岡兵大岡東大茨
京岡本賀日田鴻庫分岡城重崎山山京阪
東柳臺南東京第六橫斯女神大宮城第二
京河第一臺南第一發學長崎女師仁院戶分仁
喜川

(ウ)
大小遠一石井盛松久畑富角直田高高庄古神香
亦野藤井上山澤末福川崎原中橋垣司藤谷佐
芳ヨヒヨシ江代百富玉信壽た麿幸花枝子君子
子子子子子子子子子子子子子子子子子子
和歌山福茨東京秋田北福島鳥岡北道静岡山
城梨田山葉京知京島山阪山葉京知京島山
和歌宇茨城甲東京第一靜劍長横宮安津豐兒
歌都宮東京女師府第一岡第一岡第一岡第一
山

生徒		區海東	區山東	區陸北	區東關	區北東
三愛	靜	岐長山	福石富新	神東千崎群柄茨	福山秋宮岩	
重知	岡	阜野梨	井川山湯	奈川京葉玉馬木城	島形田城手	
二一		一一	一一二	七	一一	
一四一		三	一一一	二四	二二	
四一		一	一	五一	一	
一		二	一	一七	三	
一〇五		四四	三二三	三三一一二一三	三一五一	
一		四	一	二八	一	
一		一一	一	一三一	一一	
一		一	一	一四	一	
一		一	二	七	一	
一		一七一	二二一	四	二一一一	
二一		二	四	一七一一	二一二	
二一		二二一	二二	三一一一二二	三一一	
二六四		一二二	二七	三〇三一二三四	二七五四	
一		一一	二一	一五一一二	一	
六元三		三七	五八三	二允五二五五三	七〇六〇二	
沖繩		區州九	區國四	區國中	區畿近	
		鹿宮大熊長佐福 兒島崎分本崎賀岡	高愛香德 知媛川島	山廣岡島鳥 口島山根取	和奈兵大京滋 歌山良庫阪都賀	
		一一二	一	二五	一	
		一一一	一一一	一六	一	
		一一一	二三	一二二	二二	
		二二三一六	一五六一	三五二二	三三	
		一	一	一五	二	
		二一一一	二一	四	一一	
		一	二	一一二	二一	
		二	一一一	一二三	一一	
		二	一一一	三二	六二一	
		一	一二	五一二一	一	
		一	二	一四一	—	
		二	一一一	一一四一	—	
		四一三二四	一三一	六五〇一三	—	
		一三	一一	—	—	
		八五八三六	二三九二	三四三一五	四〇二二一	

(四七)

府 縣 學 年	學 科	部二第			尋常科			合		
		計	尋常科	高等科	第一科	第二科	第三科	家事部	英語部	國語部
北海道	文	一四四	一一一	一三	二〇	四三	四三	二七	一	二四
一	理	四七	一二二	一二	二四	四三	四〇	一四二	一	一九
一	科	二一	一二	一〇	一	四〇	四七	一二八	一三九	一一
一	計	二二	一二	一二	一	四七	四六	九七	一	一
二	家事	二三	一二	一八	一	四六	四六	一〇五	一	一
二	計	二〇	一二	一〇	一二	四四	六三	六三	一	一
九	研究	一七六	六七	六五	四四	六三	六四	六三	一	五四
九	保育	一七六	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	一一七	一五	一五
九	計合	一七六	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	二二〇	一五	一五
府 縣 學 年	學 科	性組			部三第			(五) 附屬幼稚園幼兒數		
		計	女	男	組山ノ	組海ノ	組森ノ	組川ノ	組林ノ	組池ノ
青森	文	三〇	一一	一九	一九	一八	一九	一九	一五	一五
一	理	三〇	一二	一九	二二	一九	一九	一九	一五	一五
一	科	三〇	一二	一九	一九	一九	一九	一九	一五	一五
二	家事	三〇	一二	七五	七五	七五	七五	九二	一三	一五
二	計	三〇	一二	一五	一五	一五	一五	九七	二八	一五
二	研究	五八	一七八	七五	二八	二八	二八	九五	二九	一四
二	保育	五八	一七八	七五	一〇三	一〇三	一〇三	五八七	一四八	七三
二	計合	五八	一七八	七五	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	七五

三 本校生徒本籍府縣別

(四六)

五 入學志願者及入學者本籍府縣學歷別

一四九

卷之三

10

沖	區州九	區國四	區國中	區議近
繩	鹿宮大熊長佐福 兒島崎分本崎賀岡	高愛香德 知媛川島	山廣岡島鳥 口島山根取	和奈兵大京滋 歌山良庫阪都賀
生	一			
徒	二 二三三五八三六 一 一 三	三三三三	五八三四二 二	四 六一七一
	二 二三四六八三九	三三三三	七八三四二	四 六一八一
	一 一 一 一	一	二 五	一
	一 一 一 二	一	二 五	一
	一 一			
→	五一 二七三三六	一六三一	一六九四 一	四 二二四一 二
一	五一 三七三三六	一六三一	一六〇四	四 四二四一
	一 一 一	一	一五	一
	一 一 一	一	一五	一
→	一 一 一 三 四八	一 二	七五六一 一	一 五 三二
	一 一 一 三 四八	一 二	七五七二 五 一 二	一 五 三二
	一 一 一 二	一	一	一
	一 一 一 二	一	五 一 二	一
	一 一 二 二 三三	四 二	三一三三一 一	一 二
	一 一 二 二 三三	四 二	四一三三一	一 二
	一 三	一	一	
	一 三	一	一	
四	九六八八三三六	四四八六	九〇三九八	九 六五五四
〇	一〇一 一一一 二八	〇三一	八二三〇一	〇 四〇〇〇〇
〇	一〇一 一 一 一 〇	一	一	一
〇	一〇一 一 一 一 〇	一	一	一

東海區	東山區	北陸區	關東區	東北區
三愛靜	岐長山	福石新富	神千埼群柄茨奈	青岩宮秋山福
重知岡	阜野梨	井川山湯	川京葉玉馬木城	島形田城手森
		二一一	一三一五一	一一一
二二九	二三九	五四九九	三三三八四七三	七〇二六七九
	一	一二	四一一一	一
三二九	二三〇	七四二三	三六三九六三四	八三三六七〇
			七	一
二一	一一	一二		一一一
二一	一一	一一	二一	一一
三八四	三九三	二五二〇	九五七五四二九	八九三八三四
一一	一	一	三三一一	一
四九六	四〇五	三六二二	二〇九五五三九	〇九三八三四
一	四三	一	二三	一
一	四三	一	二五	一
一	一		一	一
一四八	四七七	四三四三	三六六二六二	七六一三六四
	一	一一	一	一
一四八	四八八	四四四三	四七六三一六三	七六一四六五
一一	三	四	六一一一	一三一
一一	三	四	一七	二三一
一三一	一三二	一五二	一五六一一三四	四五三四
一			一一一	一
一三二	一三二	一五二	一六六二一四四	四五三四
一一	一	二一	一五一一二	一
一一	一	二一	一五一一二	一
九元五	二三五	四五三六	三四四六三五三	四三七二三元
三四二	〇八一	〇二二七	四七〇〇二三三	一三一四一二
二一·三	八·〇	八·〇	二·〇	一·〇

七 本校生徒年齢別

卷之三

(昭和五年度)

一

第十 卒業者

一 本校卒業者氏名

(五十音順、氏名ノ上段ニ舊姓ヲ記載セルモノ又ハ(◎)符ヲ附セルモノハ死亡者ヲ示シ氏名ノ下段ハ本籍府縣名ヲ示ス)

明治十二年二月 小學師範科卒業(十五人)
 山青田一山諭山中曾岡訪長谷川村佐久間池田水野
 岩崎

山森藤福古林布西中相佐鈴菊佐木方池

口田村田市浦川村馬木池

ふちふらくたふまきあいせ

いせ顎くくみづ

鹿東東長兵滋島青廣滋東東東

兒島京京崎庫賀根森島賀京京京京

吉關平◎小柏中明鬼◎明治十二年七月 小學師範科卒業(十八人)
 川口塚野井村石頭吉田
 雨宮

鳥高小小日菊大尼小櫻石雨

海木宮沼下池森本具本川宮

わか殿ていふまでつまたに

ひ殿でみいちみついねをに

東東神東福東東京東和歌山千山

京京川京岡京京都京葉梨

東京

吉關平◎小柏中明鬼◎明治十三年二月 小學師範科卒業(十九人)
 脇金原姫神丹喜多見

屋澤川田谷有野宮野塚

木金大笠原四志古藤蔵地

村村田塚内山宮方屋村原

てちてまつちとぎつはさ

い貞はるもん谷るう鏡

山東福福新愛德崎山岩愛東

口京島岡阪湯媛島玉梨手知京

厚山宇吉清上木下美田川田 明治十三年七月 小學師範科卒業(十五人)

蘆箕寺柳早菊内木島

野輪田川池村木

渡馬服中豊多田竹千杉澤木

川原太子上野岡澤(十五人)

邊原部島湖村澤足本原下

たつせこかまざま

じはかるつう光るぎとえ愛かる

東神奈大岩新千長

岐山滋東東東千兵兵岡東

京川阪手湯葉崎

阜口賀京京京葉庫山京

大◎原三

津田須

保母練習科修了

山武水前福橋長田小勝相

田藤野原田本竹中林山原

千ハ布嘉

代ナ桂鐵久次國良利貞春

靜靜崎東東宮東東東宮

福東愛靜東千靜石

岡岡玉京京城京京京城

上丸加高

野橋藤峰

村松穗藤高巽武竹

島井積田橋田橋

ちてぎミキふ

代ナ桂鐵久次國良利貞春

静靜崎東東宮東東東宮

福東愛靜東千靜石

岡岡玉京京城京京京城

押川明治十四年七月 小學師範科卒業(十六人)

白鈴渡里白◎安杉南佐々木田金

戸木邊見石達野木中子

安町松寶平野闢進坂櫻小喜賀宇有相

岡田枝生塙間野藤口井林見來川賀賀木

いつええちつたゑふさつふ

くるよみつかるかういき谷みえ

佐崎高神東千東山長石東東大山茨神奈

賀玉知川京葉京梨崎川京京分口城

平劉長◎	田岡*	志長	川松多永本厚吉堤小猪長谷川
	小學師範科卒業(十一人)	賀嶺	名下寺木村池子*
明治十五年二月	*	*	*
兒大緒相島野方磯	つふねまみいき	宮伏林古本多見市	神沖宇中野川幕山根杉田
(十一人)	(十一人)	たたそたとくがきなふて ううううふふららよよつて	たたとくがきなふて ううううふふららよよつて
鹿京大靜都分岡	長野森	兵愛知庫	和兵庫馬群岡日
	東京	東京	東京
山渡邊寺	渡邊	藤木近田井	山平松崎
明治十六年二月	小學師範科卒業(十二人)	村田藤澤上	山崎
岡岩田永かてほい	茂木	鈴木里杉見	星前田里
(十二人)	木	澤熊崎	種竹尾花
山新形鴻	千葉	千葉	本里
	京	京	モミズカヒツカヒツ
明治十五年七月	小學師範科卒業(七人)	飯田見	竹尾花
渡木藤田	木田見	田崎	モミズカヒツカヒツ
渡邊	木田見	見	モミズカヒツカヒツ
寺	木田見	田	モミズカヒツカヒツ
明治十六年七月	小學師範科卒業(十二人)	坂塚確木井賀	石川池
川谷	分藤	西川村	菊
*	*	崎古澤	山
松土田たさかへん	佐植	田春安和	野松
松西山	岡々	島高橋	崎
松方	原	田倉香	志村
たさかま	林	田あらわ	坂井
へん	くくい	たけを	志野
東大福京	福茨城	たけを	井おさ
京分	京岡	あらわ	坂井
福	京	たけを	志野
茨	京	あらわ	井おさ
城	島	たけを	坂井
		あらわ	志野

西牧小西大宮◎竹野 里川山橋野澤村	明治二十三年三月 高等師範科卒業	木小村澤	明治二十二年四月 小學師範科卒業	西川*
* * *		*	*	湯川
野戸寺塚田櫻木河長内 口岐野日本所井村野田海		森諸近岡 永井藤部	(四人)	かくすし よますか
ゆやみ佐そひせきせなと かそゑ葉ますめんまん	(十三人)	きくすし よますか		
兵青京茨福高東青東山東 庫森都城岡知京森京梨京		鹿埼島鳥長 鹿兒島玉取崎		長崎
田高 申澤 小安 川達 くに鏡	◎明治二十四年三月 高等師範科卒業	矢波米鶴 津野山見	◎明治二十三年三月 小學師範科卒業	片岡
		*	*	
佐日遠瓜石今田 竹下藤田田部		松村藤西中鈴城 田松田垣島木池	(八人)	安星 井
さあいなりよ去く くかれのりねんめ		とたさてつ去みふ みきくうねほそさ		てつはね
山山 京 梨形		熊宮岡熊高千長英 本城山本知葉崎城		東東 京京
◎明治二十四年七月 小學師範科卒業	(一人)			
安原◎星志◎窪◎吉太三細池戸 藤名賀田田好野田澤		*	*	
* * *		*	*	
淡吉宮藤津田佐後 逃川澤村下中木長貫		小河梶小江 林池井原田澤		
みい喜うアスのみイ ち錦く政與マサミ琴ぶつ子鉢のす		のみイエ カチ		
東新長山岡東山靜秋群 京湯野口山京口岡田馬湯		新東東島千 京京取葉		

◎高崎
田邊藤田村田田藤沼島藤
明治十九年二月
小學師範科卒業

吉牧藤羽長鈴首澤澤齊小京龜岡大磯
田野田生澤木藤田藤山極井田塙見
かふくことか法はきたちを法て就あミ
ういりだうえぞよかよつけいふうつ
東京東東高高德兵東岐熊秋埼東東東
京都京京知知島庫京阜本田玉京京
新東福
湯京井

多伊岡三時多羅尾
田藤崎井岡明治二十年七月
小學師範科卒業

佐日遠瓜石今田
竹下藤田田部(十六人)

多伊岡三時多羅尾
林瀬木山山元田原
小甲田山山江入
松永角谷石田田輪
牧波多野谷石田田輪
よきさふけこまえ
しょしさい
高德桟山三山山
石新東千滋和宮東千東
知島木口重口形
川湯京葉賀山城京葉京

◎淺闊前◎細近福
岡野藤島明治二十一年七月
小學師範科卒業

野根名中武高仙里小
本木艸村澤橋頭村林松
と玄ぬきすきいなみち
らかきくゑよむほちが
長東廣山東高富島
崎京島梨京京知山取葉

吉山遠田内山野藤岡
山嶽望松高月田尾
波佐野谷月田尾
高橋月田尾
とふくこと美きき
みきにき知よくち
高東北海道神奈川
崎京島梨京京知山取葉

川島選科卒業(二人)
下村よし
兵庫高佐東長福千山熊東愛高鳥群千福和歌千兵
知賀京野岡葉梨本京媛知取馬葉岡山川葉庫

長門◎◎廣大 戸脇瀬塚 明治三十二年三月
小久保藤澤田野川 はともも節つ鶴敏きと
愛東東高大德宮 知京京知分島城

川島選科卒業(六人)
蟻川みし
福島新

岩天岸松齋 長谷川本 高村藤 羽達
依迎松東平平八野富土竹田坂小岸北甲川大
岡崎木山田原永取崎中本林高島斐瀬塚
ふこたひ つそ ふと くくてひな
愛照くうきさ敏孙の信安みみ裏はふさほ
高佐東長福千山熊東愛高鳥群千福和歌千兵
知賀京野岡葉梨本京媛知取馬葉岡山川葉庫

今小羽淡橋◎脇
井闘田中本 谷 保母練習科修了 明治三十一年七月
八星中北片折大石 阪野島野山井山井
さきせは富士惠千 留枝代
香新群大高岡大熊 新
川湯馬分知山分本 湧

山淺島棚吉◎坂幸奥紀長田大中藤太影里石
田田村橋富 井田村内谷澤村原村田山見井
渡横森濱宮武法藤平泥波西富遠田武高高佐
邊尾岡濱田藤貴村山谷野 井山中田野橋瀬
すま 駒みひきあてなたふみふ まみく
みづ長衛ねさゑやくきみれく綾つにきま
新京福高愛新京德佐長東佐兵岩東長宮富佐
湯都井知知溝都島賀崎京賀庫手京野城山賀

宮崎本高等師範科卒業(二十人)
石天足赤野立井みきか由山よよみ
香山西鹿兒島口和歌山

明治二十九年五月
長田高橋たづ

岩山中林片關口西山美濃部

足林寺田福平野野福
島邊地野日口田
吉吉矢森根根西塚
天作岸野川田重内
立井山惠あらわはみ
香山西鹿兒島口和歌山

倉田選科卒業(十三人)
明治三十年十月
保母練習科修了

菅南松朝藤高土◎新○橋小安
莊山日岡山肥橋本池谷
築松松戸弘秦波野原根辻土斯駒岡尾
崎平次田野波井谷波井本田
みの廣ひ金利ちだ八あきふやもか
よぶ野さ樹舞い十いくですて
長野秋愛靜東高東靜鳥宮千愛福富靜新
田媛岡京知京京岡取崎葉媛井山岡湧

岡富安金秋 田岡野岩月 高等師範科卒業(二十五人)
明治三十一年三月
岡遠稻伊相安田藤葉藤澤藝美
小井八稻林州上田石
和山前藤福野坪篠神押小市淺
田口田澤本崎内原田田倉川井
まり阜ひきと餘さ
藏きえ月雪でく直よ野幹だ泰
東德香長東福徳石山大東兵大
京島川野京岡島口阪京庵阪

大 ◎ 橋宮 ◎ 木 建田 武 立 池
 村 本川 部中井 野 高等師範科卒業(二人)
 * * * * * * * *
 木鎌萱蒲河大小小遠宇井泉礪安阿
 村田野生瀬江江田原藤野日星山藤部業
 よこ千さけスキうみちよたつさ雪
 れと賀ミサミの梅ぎねかなつ子人
 新熊熊香福東長茨秋神秋北三山鳥奈
 潤本本川島京崎城田川田道重梨取良

新松立根五十村鈴東吉 ◎ 阿隈茂空安達丸竹
 開木花原子島山木條川 部木開藤谷岡村
 * * * * *

眞堀深平平東演野丹中永照千立田高澤相黒木
 島内水岡生 本羽居尾地内田澤頭田木良岩村
 美まきのもい瀧あふさまつによあみきと
 枝つるちえみ冬く野んみよゑるのわよし代
 京長富福東長愛新愛徳愛佐山福山熊秋福鳥佐高
 都野山岡京崎媛湯知島知賀口島形本田島取賀知

佐大武 松中白太江竹 ◎ 福 ◎ 内加
 原城田 井村石田藤澤國語漢文專修科卒業
 * * * * * * * *
 佐黒風河河大小織礪淡相阿阿
 竹田間崎口野泉野田島間川部部業
 久とえコ龜しまツ美ツ となもつ松
 貞良のんト壽げツ徳ノ達保ル恒
 福靜石山神宮福高慶佐靜山千
 島岡川口川城島知島賀岡口葉

明治三十四年三月
 選科卒業(二人)

玉版

玉宇沼馬 橫和岡松 牧熊
 造野内詰 山田村下家事專修科卒業
 明治三十二年七月
 成須木内市
 田曾瀬關佐久草川太池石井伊雨
 原野下根藤田間井平上田上藤田業
 ヤ菊てもたなさひみ むらさなの
 へ江つつみけださち清ひメみり
 東和東東岩德長秋愛高宮福新鹿兒
 京山京京手島野田媛知城岡湯島
 山東新長山形京湯野形

石加赤伊馬茂宮土 ◎ 人鈴 ◎ 木岡石
 居藤穗藤場木地本 明治三十三年三月
 高等師範科卒業(二十九人)
 志保田佐河木草加兼大岩荊安
 佐々木木内川瀬子塚間木藝
 きみよじこ はみ左房
 ちばる成ま満ウ榮をつ代
 滋宮長長三新群高愛新北海道
 山香靜東福東東
 賀城野野重湯馬知知湯道
 形川岡京島島京京

丸加 ◎ 稲大三廣佐木吉 ◎ 小塙高伊
 山藤見羽池島藤内村寺本山藤
 * * * * * * * *
 島研究科修了(一人)
 吉山藤武宮宮馬藤萩波西長田戸杉鈴新
 川川寺藤脇川川上崎森野森岡阪田立木町
 よねて瀧しかうひ千ていたはりあるよし
 た野づめたさ幹るうのま元榮つやん
 東京新岡柄香兵東福福神奈高北海道
 湯山木川庫京岡島島城知湯川

森竹	中菊	甲下	中龍	◎	◎	川渡	志川佐	◎	◎	廣
澤研究科修了	井池	田瀬尾澤	井邊村	井野	瀬	理科卒業				
牧阿原部乙女恒	渡湯保山森三野中寺高篠桑黑菊奥生淺	瀬川井口川溝村條本鉄尾原崎池山田見	教コつ龍幾みひ美タ	登	せ	ス他				
東千京葉	茂世ノギ乃重ちる子マ鶴達直い春マ美	山宮大熊山和山福富秋福山秋茨大富石	日城阪木梨山梨島山田島梨田城阪山川							
	土清矢赤田	遠朴北赤須忍伊中三	◎	高						
	屋河崎木北	藤澤野木田	藤井宅							
	高澤佐佐小北木川小織岡江石糸伊伊相荒坂	伊知藤林澤崎日野田	頑田賀地藤藤羽木							
	橋田藤林澤崎日野田	頑田賀地藤藤羽木								
	てミソハテアマヨキキもほ夕かき靜らまつ	カミサマアルのスネヨヨげんネとほ子やす	キ	ミ	(三十三人)					
	岩廣長山長長香大神福宮石香靜北宮山新石東	手島野形崎野川分川島城川川岡道城口渴川	京							
高◎飯五十	伊山高波紀	高五◎	東加							
木山嵐	藤田橋谷志	橋嵐	條島							
*	*	*	*							
小大岩飯赤野岩尾沼江	若山山半村村宮峰野西中長千田	林中崎口瀬松武村田本倉田菜崎	たとミナハモセニコハモタ							
(二十六人)	なラムよ	まシミ枝チナルエイノ	カ							
みぶンづれ	まシミ枝チナルエイノ	カ								
千長東千富葉野京葉山	新廣茨長大山香長新東石東山福	湯島城崎阪梨川野渴京川京梨島								

森 廣島伊 錦石 廣安宮 ◎ 星
瀬海勢 表字 雷田崎 濱達村

森 牧松丸保廣久林島二中玉棚立瀬關鈴菅清
野原本山田瀬門山田宮澤井橋山川木原水
キ乙八モキ玄フヨシキナ美トイクけし
綠ウ女季トくん子くホ代リナマいん順
石新東和東岡群德愛兵廣長柄德鹿兒東新
川鴻京山京山馬島媛庫島野木島島京渴岡
庫京井島

鎌田	田林中伊	吉海	富	浅四杉
明治三十五年三月 文科卒業 (二十三人)	邊澤藤	田野岡	保母練習科修了 (十二人)	野方野
赤井	吉矢藤人野中辻高關澤佐大	矢百森		
キ	野野田見村川濱村藤島	野瀬下		
ク	フ富よぎ日まキ壽キム小	ムム奈良免		
北海道	春コ美しんネさノ賀エメ春	ツイ		
	千愛山大群香香新香福岡	德長大		
	葉媛梨阪馬川川渴川島山	島野阪		

大寺	◎小手	林池大	◎江楓	小	◎鈴岡山
石島	高塚	袋津	川尾	島	木田川
吉山森三武松服延永田館島篠莊桑國工加大江植					
川田岡原藤宮部原井島倉原司田田越藤藤野口田					
つトタ玄壽マツトミ静八タ八志ゆ折					
るクケ操つ寛節賀滿ス孫光の子重ツ重タ羅キ枝郁					
熊香鳥宮長京香前宮熊愛大長石岩福佐香					
本川取城野都川島城本知阪野川手取川手井島賀川					

小伊◎淺橋堀柳松高宮田
水溪庭野日田橋枝橋城村山選科卒業(五人)
清北貴笠川太大小江上生石淺橋横島小河宇今
末村田原上原根内川崎野田澤田田原野村
トさなマ鎮ちよや君八き壽アスゑ
メふほ米サ江ゑれ琴そ子栗ん信く衛イミけ
大和歌青東東山福群山長愛東秋山静高千和熊
分山森京京形島馬形野媛京田口岡知葉山本
鈴竹内香◎池法菊安室難長杉村◎
木下田川田田齋波川木上
山山守森松福平橋速野生直永多須薄瀧清柴佐佐小
日本屋本元田野本水村江江井賀藤谷水田藤藤堀
や茂よチ發千龜尾すあウ茂ナ貞百基美あえ
う登しエ晴た惠壽信子幹もメ子ホ世代憲代幾いま
三熊東廣鹿東東宮山東東宮京福新福千靜靜北海福
重本京島島京京城口京京城都島鴻島葉岡岡道島本
小内鈴吉村八辻高水瀬森松内岩志明治三十七年三月
笠原田木村田田橋野川岡宮藤成賀文科卒業(二十七人)
早二西内相篠佐佐齋金薙川大奥大石井池飯足
田間堂脇藤馬田間木藤子谷日闘田目川川内岡立
マトリまさモキ三マセとひ喜ユナズト
シタヨカよ榮ト点李枝ホイ得よろとキ力をミ長
福岡山山廣滋福宮新和青愛京京長鳥秋岡
島島山形形島賀井城鴻山森知都都崎取田山

小秋上橋田打桐◎高◎渡松町宮中宮
林葉總本上越榮橋邊澤田本山崎

吉油松本古福藤林中田高高須鈴清小小向國木小
田井村多谷永井川邊橋柳藤木水泉池野栖村切
ふちとひタふキ玉みきみマサシテキテハセモ
ちかみあヨジヨ子モ利マセ久げヨヨるエツセ
奈千大宮山兵福靜福滋東山長和東島新神奈山長
真葉阪城口庫島岡島賀京梨野山京根鴻川良形崎

◎杉高山平佐鈴小富◎平今◎村渡
村田田沼藤木柳田野澤越邊理科卒業

和山牧松堀牛萩長中築高田木最佐大石赤一
知本野岡田澤原川野山橋中村所木森瀬星
テケマ芳ハ美セタヤ子八茂ミフツ玄千
ルハツ女ル加ンメル日貞重枝コノ國ロう代
千千新島石北富兵山熊大富岡山福秋埼熊
葉葉湯取川道山庫形本阪山山梨井田玉本

増甲山赤芳西大森太田日飯長宮椎
田斐本堀賀里西山田中下田尾田川技藝科卒業

横吉山森南松西成富高武田篠岸加奥越浦阿刀
山村口脇下村田田橋内中原本藤寺智野
つはフなきヒタフミチサカズキマタ
ヤ茂ジに閉靜ぬサ要ツサツカ鉄キノヨだま
兵福佐熊奈愛和富東香福山香東富福山熊宮
庫井賀本良知山山京川岡形川京山日本城

藤上櫻北 熊山小猿丹 寺 高平山堀木高
田 野野井野 澤田桐田宗 田 橋野中合宮
* * * * *

村細戸田田須清小小黒久木梶神金織大大内池秋
尾野島中中磨水林山山保村浦谷井田里立海内山
セヨエ持壽ツモミイサト 初ス三菊トツアサワ千代吉
ツシキのタヤなにムトク清見マ枝子シネぶだか吉
愛三福石東大長東茨鹿京石島東北岩新東兵福靜
媛重島川京阪野京城島都川根京道手湯京庫島岡

佐小布杉清岩早神窟佐關中藤進石 ◎ 大根田
藤西木施田水井川田井藤 川井藤井 明治三十八年三月 文科卒業
塘樹辻高鈴佐後古久河金片岡落内井 鶯湯矢
野 橋木間藤賀田内子山見合池上 尾田部
ミモまる正耐ちきらツ ミアトヨイ 美エケ
ツツリめ尾干せうひノ宏ワヤロ江ツ 子イイ
佐東東岩靜岐宮山鹿山熊新熊山秋富鹿
賀京京手岡阜城梨島日本湯本口田山島木

富渡小牧富山平 ◎ 安寺古淺 岩原土
田邊田野理科卒業 本澤 藤島畠田 田屋
* * * * *

萱川尾小宇石阿(十七人) 渡吉山山三村松前前堀長橋能
島村形川美谷部 邊川邊中浦松本田田 川本勢
シレタケイリ フムシ芳ふカニ萬シゆや
シムケ淑イミツ 秀サ美ケ榮光恒ツキ枝マキス
大山山東柄新千 関秋東茨長山滋京靜鳥北海
分形形京木湯葉 山田京城野梨賀都岡取庫

相比金 渡河諸久德草中百水 河柏 柴木山
川山山 邊野岡保永野島澤島理科卒業
* * *

宮東田滝志保小君内大植池栗荒(十六人) 渡脇吉吉矢安皆
本原村谷田林塚田村松上屋木野山村本
ミマフモタササトサヒ なふメノ喜賓
ネヨザルミ高ツ秀ダイリタさ 戒サイブ代基政
長大富山兵靜佐大福福青福長 和兵富秋東大石
崎阪山形庫岡賀阪島森島野 和歌山庫山田京阪川

宮◎金惠厚石◎越赤根岩野◎◎山立 片馬藤
地野壽見津智間來瀬尻 本野技藝科卒業
* * *

山森星西永武高城佐澤大小井安安小會豆澤
田岡野野岡井木 藤田江野村藤東澤
萬寸いみマツヒキよ政嘉くテツタガエ 日登
穗カムシヨラコ種ヨんれ衛代に貞イルエ 環木幾
高福山宮石山山京愛宮大福靜岐大富奈 奈佐東
知岡形城川口梨都知城阪島岡阜分山良 真賀京

竹野九栗秋杉森安小船高
山崎山原月山本藤磯 家事專修科卒業
* * *

前福山長中高杉小清加河岡宇字磯芳吉
田原根野澤木原郷野藤野上川見烟村岡
ム玄春ヨマミマトコシトシセ(十五人) ヤスエ壽
ツも野シツツカ穎クノ民モヅい
新福島長石熊滋埼山徳福高福東茨 奈福
潟島取野川本賀玉形島岡知島京城 良井

中小 樋伊今 ◎ 河木池田鹽松佐古 ◎ 田
村山 日早西 口幡上口川本田戸 島

吉矢武平林早富鶴常竹竹田田杉鈴須須島作小來
田島藤川 川岡田光内野中中山木甲藤村間原見
イアミ キムキタ クセ美てもあ下 ちも サトエ
ワガネ淑チ児メネ葉にイ加つせう枝茂かる末
福和新熊秋山大熊岡青大滋長長京石熊富宮大徳
岡山湯木田形阪本山森阪賀野野都川本山城阪島

原布原小岩江山岩田宮牧伊鈴 本 ◎ 益渡高川
施島田澤本崎副内 藤木 多 田邊橋人 理科卒業

米山山見平西寺高田田關松佐黒清遠令石 小安
田崎田山山内田尾所中 扇木田原藤堀川澤藝
メヨウミ安駒こ花津トアヒギチトキ一ふツマ
クノミナ代路め子留ノチさんカクミ枝さタヨ

新千和音長高和千熊愛熊愛茨佐島佐和岐大徳
湯葉山川野知山葉本媛本知城賀根賀山阜阪島

横岩岩福齋布土 大 ◎ 大 ◎ 哉水津 江北 山
山村橋寺藤龍井 野 黒 森野田 志爪 田 技藝科卒業

村福野田千清櫻澤澤佐齋古草熊黒貴大大入間井
田島村村頭水井村伯藤賀光澤澤志保内川上
フ 高小 ムフ見ヒミキうまテて三タヌリエマ
サ晴子梅久をサニサネルメのルる枝マノをさ
富石京新高山富滋富山長宮島山北海石德宮山福
山川都湯知梨山賀山口野城根口道川島城形城島

酒常 池井内鈴土 田 川樽隅山檜 國淺松
井川 田村田木方 濑 技藝科卒業

田鈴齋佐國神神井伊荒 村平錦田鈴島佐佐來風
中木藤藤友崎戸上藤川 (二十人) 田尾織中木岡野藤見尾
タナトリシヘヨヒヒみ ト居タチマキユ茂る
子ヨメウヨホウサでれ ノノ鶴マノエヨキのつ
福東千愛宮福宮宮靜兵 福大高千山奈富徳和福
岡京葉媛崎岡崎城岡庫 岡阪知葉口良山島山井

菅鈴 關雲 濑 ◎ 柳 石 ◎ 尾佐々青波齊
原木 出 澤 澤 國語體操專修科卒業

錦中中戸關瀬須相河太 山毛森三滿尾原西竹高
織村根田 尼藤真田平 下利 輪田藤藤村下松
六ウイタヨハスチ正テルフジ フミイもあ三よノ龍巖
玄 ウケシつい喜イヘ サツシとい生アア婦代
宮福福廣京石東石新東 山富東愛大熊堀新熊石
城島島都川京川湯京 梨山京知阪本木湯本川

山須小 齋諸馬 三岡 櫻岡川 ◎ 今林坂古
本藤野 藤方場 文科卒業 明治三十九年三月

織岡小江上石飯蘆 吉吉山山山矢森皆宮的廣
田本川端田川川川 水根田本村山川崎場田
サセヨモ和ミセそ タコ鈴き奈 てタシルテ
ダハラフ歌ネツセ ツミ榮さ美章るイカ茂イ
石和宮福島福大山 石京鳥茨岡東群東香和長
川山歌城島取島分形 川都取城山京馬京川崎

鎮	秋内佐山石申松吉宇原藤小吉永神當才三
目	草田藤田川島本川田田谷林田岡田石田井
* * *	
服橋申鳥撫辻高滋佐桑北木金大稻今市今岩赤有	理科卒業(二十五人)
都本田越田本田賀藤門島谷田下木里川井井倉川	
き恒龜ト時ルテおさてなくキイヒチヨ安	外世喜
み子喜ク得イツモヨるゑにミワサエシ世勝喜	ヒサエ
愛東高群靜秋北千佐山富三番山柄長山岡高石香	
知京知馬岡田道葉賀梨山重川日本崎口山知川川	
* * *	
小	小久山松片金梅瀧末和
四	泉金田尾宗井澤口永田
* * *	
平野野長津高酒坂齋小小金加加石五十嵐	横松松堀
山溝上澤田橋見井藤榮林土藤來附	田村本口
もヤケロイサイ千才ニシムシヒセヒト	都キマキミコ
ツスエイシ福ネトセ賀くみんテハ	瑠ンサ
和香新富京福佐靜岐長群東宮富新宮	富新香長
山川鴻山都島賀岡阜野馬京城山鴻城	山鴻川野
* * *	
滌天菊手香早村槌後渡	小日木日近
谷野池島川川合永藤邊國語體操專修科卒業	木下高藤
* * *	
佐齋近小黒木小岡内岩井	保辻岸李山八十島浦
藤藤寺石村寺本田井上	井本家本島
フヒツ七イ須エマあき	コマキカまそ
ミ朝アロヤ枝ク恵ヒス	ノ川鉄タツさみ
佐兵岩愛山神廣岡長福東	大東東長宮京東
賀庫手知日川島山崎島京	阪京京野崎都京

高市青大北曾池中山梅	水申
野原砥竹原根田江本原	田田
* * *	
田菅島小北金川岡奥遠井泉伊浅	山山安
中沼守池佐村上田山藤黒藤野	崎下川
せよサ春都カ千菜ミすは淑セとも	ミクら
もしク生幾子鶴子キかる子みく	アヤツラハ
群靜神山東福長千福滋熊福京岐	秋熊香長
馬岡奈川形京島野葉島賀本島都阜	田本川野

十鈴山明治四十年三月文科卒業(二十三人)	中堀◎明治三十九年十一月保育實習科修了(四人)	猪樹片小板橋飼澤田
綏安部部あふつで	田志齋石田中村藤田(四人)	吉安山森日土原橋内中武田本名生本田村ヨトワあけふ日き太力
	イ志ユ利ソウキ	シクカエハキんかツ
靜三岡重	福神愛廣岡川知島	熊長京群宮新岡新本崎崎都馬城湯城山湯

河澤別右辰高内森内今西岡山八城南	
野所近巳田田山山泉村村本尋戸方	
* * *	
山山三輪馬松福橋原野野永長申鈴桑大大江打磯井田本田上井森本田津留尾野木原西里口田田上一フ(はミストシマミドウ)ウ菊ふシトカニ去トは惠サ秀めツエシノサリ美タ衛みヅシメカヅミる	
和秋東宮佐大新島福島長新高長山三福佐和熊東歌山田京城賀阪湯根岡根崎湯知野口重岡賀山本京	

南山天在佐中長福長野小中多大	練朝浦木川
内沼川藤田戸西尼上島野田石理科卒業	*
關杉須清新東櫻栗鐵鎌金加尾大甘	山山山八宮
本藤水庄山井林澤田井藤田山糟	下崎脇木崎
ヒカタカミふのミミ由セヒウメテ	くそ恭ウメチ
俊コロ柳カメキさ子リネル英ツ	にひ操子チ
富山新崎長宮奈愛奈徳新新岩山	富柄東靜山
山口湯玉崎崎良知良島湯湯湯手形	山木京岡日
井佐横河陣一上中	熊中兒田清萩池鹽三瀧
原木山村内色野野技藝科卒業	澤村玉淵野本田津島原
白進水坂柳草井石飯	山本平長原八野西中中戸
木藤野寄原間河田田	本城野谷口條間崎馬井崎
トギヤわカセヒモト	ト園マみきモトてきすた
ホンスカメ鏡ツ込	リ子セすのリヨイチゑけ
佐青福京長長青滋長	大山山兵宮福愛岡佐鳥群
賀森島都崎野森賀野	阪口日庫崎岡媛山賀取馬
八木明治四十一年五月	成田成吉小◎吉田代七
松本技藝科卒業(一人)	保育實習科修了
ヒサ富山	橋佐岡吉吉村平藤藤波友富津立高杉
青秋岡森田山	本藤見上松村岡野永岡田野山森
	ちははいりコち政セカキハ
	よそ政つちウ啓トヨ江鈴シイズミナ
	富宮廣長香靜福石兵柄奈宮東
	山城島野川岡島川庫木良城京

宮菊玉牧伊阿石栗菊高大鍋山高石
北田置藤部數學物理化學專修科卒業

倉北尾上礪井荒田村鍋田部上川
はきそマくたサトミキフナト菊ス宮
まみはスわいダ良キ壽リククミツヨ井ズ子滿
長兵愛大愛愛福千熊三神奈東新京福佐山東愛岡
野庫知分知知島葉本重川京鴻都岡賀形京媛山

鈴木中市大扇柿大伊半田依鈴山◎菊
島原保育實習科修了木田本沼田木崎池

明治四十年五月皆坂草久保田渡山牧野中高田曾清齋佐小菅菅
選科卒業(一人)マセま次(四人)邊内田口村山中我水藤野島野野
サツさ恵カナ登そみき千よサみシききみど
ズキ代のをよ嘉ふワちケかより

神東東神奈川京京川廣愛鳥山宮靜熊靜北長島靜三岩
島知取形城岡本岡道野根岡重手

高倉渡鍋中荻薩松稻天明治四十一年六月
橋田邊島山野塙河葉野文科卒業(十九人)

野新高橋志佐菊木鹿大織織上有田家梨
田保田藤田村野西田田野田ハミタとヤトミ
ハミタとヤトミサ和ヤフミミ
ハミタとヤトミサ和ヤフミミ
ハミタとヤトミサ和ヤフミミ
ハミタとヤトミサ和ヤフミミ

熊長東香兵佐福石大愛愛岐山長崎
本野京川庫賀島北海道川阪媛媛阜日長野

中	太谷白中寺村長南高堀徳◎永林
田	田口鳥村川田部田武井
研究科修了	横湯安柳松水平林成中鶴堤菅末佐
下田智三人	山澤江田本原塚田村野原永藤
クチキ	あみぎヨシキ喜ひひナ鑄文
ワカヨ	あつんコカミ貞代順で仲ア式雅
香佐山	岐崎靜兵大熊宮東京石岡長北京石
川賀口	阜玉岡庫分本城京都川山野道都川
志高見澤	金三澤坂緒三須佐◎西豊綿
水澤	子浦井賀瓶藤永屋家事專修科卒業
*	*
武水益福橋野新中寺武鈴鈴篠定菊菊龜川金上今	
藤井川地都中帶屋地井木木崎盛地池井元子野井	
トまかうよさあノもハキウツまそしヨゆケト	
セふるめもよえいアセルノタヤつのげシタイコ	
熊長三静青靜愛宮廣長崎愛福福山宮東鹿兒岡長	
本野重岡森岡知城島野玉媛岡島形城京島京山崎	
大花	加下山◎宗中橋千黒
園	園岡藤山本村本田
*	*
柘竹田高鈴篠米後笠井井伊安有青	
植越邊橋木木須藤井上上木藤川木	
モサセモチウボは喜まげ	
るク秀ツるヨシう梅る爲幹よ	
山新京新長新沖愛東靜山福東宮東	
形湯都渴野崎邊知京岡形岡京城京	
國語體操專修科卒業	(二十二人)
大	崎三熊群三玉重本馬重

根	松田有渥重岩古◎露
岸	岡代賀美松崎澤木
文科卒業	明治四十二年三月
齋近和桂太内魚五百岩岩秋阿	大勝倉須田村石
藤田山住木崎崎田部	野々村田田村石
美ふスタみ竹しげシカマスエ	(五人)
禾かミマリ恵の珠エヲ和	シスミハカルエ
埼富山新長岡兵福福大徳岡	廣滋新東静
玉山口渴野山庫岡阪島山	島賀渴京岡
理科卒業	明治四十一年七月
角須清小太岡江井磯安	澤松橋川田折◎兒
藤水名河田本合部	本川村申笠玉
サノツさテミコトシク	*
ダ尾フル子貢シキヅワ	*
大新新熊新長高富新大崎	山矢安門三松中島坂
阪渴渴本渴崎知山渴阪玉	崎島田野宅原川津梨
媛本形阪山道野口	勝タチトミラミウ
高山木◎河川出	愛熊山大和福北長山
平田谷村下田	愛渴渴本渴阪山道野口
技術科卒業	本佐遠河佐大鎮千德岡須
黑木岸大板石伊荒木	間藤州村木視目葉永部田
澤原高原倉井藤木	*
みミイリタナイト	山三三平花中中恒東田竹
チシキヨカチ	澤井田浦井木濱城藤鄉上中内
宮廣宮福山香大石	キセキシフマモアゲ
城島城島口川分川	シヨンシンササ駒シミ
湯渴渴城知京知島城	長官鹿兒島野城

地理歴史専修科卒業(二十一人)

保育實習科修了(七人)

保育實習科修了(一人)

明治四十三年九月

影天松小生牧森阿 望服村山田 桜川京
山沼岡山方村山部 月部上口村 葉島坂
* * * * *

森満町牧藤橋西土千關關進篠齋櫻佐越河海
山田田野村本澤屋葉井 藤崎藤木伯川野田
シム益ま壽ハミヌヒヤくみ奈フ ハ靜ふび
マヌ江す美キツミサスラを尾ジ嫩マ江みで
福岡東兵富福岐長新福山兵熊神山山福長茨
岡山京庫山島阜野鴻島梨庫本形形岡野城

◎清大 樺古 飯清水三 阿成大鹽 柳
水西 地川 田水谷宅 部瀬塚川 澤
* * *

矢眞日林寺土高宗鈴庄榮白島海加宇池石飯井
作山野 本屋木 木司田井田沼畑野田島上
し俊むきよみシなぶ須曾ヨヨミ 菊一てた
讓よ尾めく玉やケみう美乃トしな義枝勤いけ
東長石東千東宮青長東東茨新東福東兵京千群
京野川京葉京城森野京京城湯京井京庫都葉馬

橋 木 明治四十三年七月 保育實習科修了(六人)
保育實習科修了(一人)

平野澤崎澤田水多澤部原惠田
松木副エヨウツ子

石佐川賀

劉沼石山 ◎西石 清 本穴安中海星岡
野澤崎澤田水多澤部原惠田
松木副エヨウツ子

京東秋福千德岐茨群岡大島東崎東石新重
都京田島葉島阜城馬山阪根京玉京玉鴻

鈴木 保育實習科修了(二人)
明治四十二年七月 保育實習科修了(一人)
明治四十三年三月 文科卒業(十九人)

大山村 姫谷合田梅野

小出石岩穴川崎
みりん都文

長福靜福新野井岡鴻

内中横後長荻
田村田藤井野
渡安三松樺林戸
邊川浦尾口津
ケタハ加ふハふ
イ愛ル壽じルみ
神山愛岡三新京
神奈川神奈川
神奈川口媛山重鴻都

由安成尾林 雄井田村 理科卒業(二十三人)

岡九乾稻寺 田鬼垣山 井島藤川中畑邊
八尋深長直中竹田重後小小陰岡岡
木田尾澤江谷田川田藤山山本
トホのマムミヒチタキフモ
モヅブ桑ツ本菊モリミ鐵かキのミホ

石熊福大愛 廣岐崎長崎島東福京石山島三大靜
川本島阪知 島阜玉野玉根京井都川梨根重飯岡

平野澤崎澤田水多澤部原惠田
松木副エヨウツ子

石佐川賀

劉沼石山 ◎西石 清 本穴安中海星岡
野澤崎澤田水多澤部原惠田
松木副エヨウツ子

京東秋福千德岐茨群岡大島東崎東石新重
都京田島葉島阜城馬山阪根京玉京玉鴻

阿山關高土
部本口戰橋國語體操專修科卒業
高齋木川大遠蛭
橋藤下上野藤子垣
マキヤツかつツを
キウサナれれ延マリ
群香宮佐靜崎岐山靜
馬川城賀岡玉阜口岡

戸澤池鈴
田田木
**
安津常(三人)
和山森三古八反田
川田光(三人)
田根田輪屋田
あ
あ
きチまさふ
み福義
壽よヨの國で
長京岡岡三香岐愛石
野都山山重川阜知川

山田明治四十四年七月
保育實習科卒業(一人)
木今永井(八人)
小日幡(八人)
吉力山茂村三松林野鶴恒武
田石西木井上村
ヒハツや
枝のよン子みよコケネえよ
島石兵愛
根川庫知

谷三中喜石伊
村村西吉田藤
**
吉力山茂村三松林野鶴恒武
田石西木井上村
菊きちゲ正ゑもフシヨをりせ
アルなす
枝のよン子みよコケネえよ
京長三東香青宮廣富德三岐
都野重京川森城島山島重阜

吉筒加賀半堀千川竹
永井山田尾葉村尾
櫻川河岡奥上板有淺(二十八人)
井崎田村野倉竹野
藤ふたナタト安は恵
枝みうツ貞マヌ良な子
京靜岡奈福熊千東東
都岡山良井岡本葉京京

進藤
明治四十五年十二月
保育實習科卒業(一人)
猪苗代
吉深武白桑
田尾井崎原
コさて竹キヨノ
マだる尾ノ
徳岐山福愛
島阜梨井媛

齋岩服額神富白
村森鈴宮吉上師中
藤崎部田田坂川田か澤川川兼岡村
**

深原田長中東竹竹高田坂小小岡尾小小池石井伊知地
井瀧光條田下橋中井林林本崎田穴上井淵
彌松フとまさトヨいりいらアカリ
生代コきち雪りきキ粧章茂芳ヨと戎芦英
群長東大富山福山兵新山靜長鳥秋長長崎愛虎
馬野京阪山梨井形庫湯形岡野取田野野玉媛兒島

金神上宮松宮藤◎清坂上阿服牧秋鷗
子尼原坂本崎村水本田部部田山部理科卒業
**

藤長谷中名堂外近田砂相相佐々栗金河板吉山山三
吉川島川坂山藤中川良木林山内澤
ミ佐々なつヨなつ喜春と秋ら多
ヤモはかる素ネ茂や壽江く野く艶美
岩山岡長鳥大香山山熊兵宮德京靜兵
手形山野取阪川梨形本庫城島都岡庫

豊水吉島島田
吉山山三
井本内宅
ハルエク憲シ
愛靜島東媛岡取京

渡三林水野中吉團◎小林平笠中高青
邊浦岡村川田出内原井山
**

根南中近高島齋佐北龜大巖伊朝安山丸松場
岸部村郷野田藤藤村高岡谷本藤倉藤
アハ和登みく初すコシエ歌枝んでクキ
サナ榮代をよ節子の
福新石富東岐山東三廣岡兵岐岐秋新兵山靜岡
岡渴川山京阜梨京重島山庫阜田渴

明治四十四年三月

文科卒業(二十四人)

加爾宮 佐飯西矢大 大宮中	江 喬牛
世宮本 藤沼尼野竹 森 城村家	澤 研究科修了 島
* * *	*
佐崎佐小岸片 大大岡池井石飯	西三 吉山
治原智林田岡原野谷村田澤龍田	内上 田口
ミ美い志ト田敏様龜嘉ミきたあ	駒 久 キシ
子津う孫ミ代子代の子よよかい	路み ンヅ
長東長岡熊福大愛山鳥愛鳥宮茨	高青 岡熊
崎京野山本島阪媛梨取知取城城	知森 山本
 川◎金 明治四十五年七月 井 須 保育實習科修了	齋 藤 田藤上 藤石内庄 大 藤 原 島田見 吉龜藤司 野
 小木加市 松下藤瀬	横三川丸比羽羽荻濱濱長地杉須志 山上村山嘉生生森田田光主浦藤保 タアモヤナミシタチ シキフ と越リセリる カイムス人ツゲノも秀ケくジ連り龜ンツツ哉
秋神愛兵 田川知庫	福廣山長高長福愛福島高秋愛福富 岡島口野知崎井媛岡取知田知島山
 ◎ 菅大山 芳岩真 内 文科卒業 野竹川 賀田山 田 大正二年三月	杉 堀 平 山 越 岡
* * *	*
杉葉澤齋梶岡天浦井淺阿	山村廣林長梅高
山原口藤田 田瀧城上田部	縣田野 沼野橋
モヤケチハヒ フフニ房エ ホ榮スハハノサ晴ミの野ク	マアマフニ キイサの喜サよ
静山德兵東新東山東宮奈崎 岡形島庫京湯京形京城良玉	山 神宮長福新山 口川城崎島湯形

横 中關 ◎ 濱土稻白渡小上 中
川 島 野屋葉鳥邊林村 西 濱瀬池

理科卒業 (二十三人)
神宇野次 美喜惠を
和群山馬

谷目森村村松藤藤深長西申竹高田鹽始
中良松上下田崎枝見川尾川田橋中澤關
喜かミヒツミシ きしそヒ絹僕ス元富貴子
久谷みでれつロ梅のかがサ重子エ惠子
千千京埼京新新長鳥兵廣徳山島兵長長
葉葉都玉玉都湯湯野取庫島島梨根庫野野

八安進 勝松相飯松植 ◎ 平村平佐
石在 矢宮馬田岡田 野井岡藤見

吉横山山南増町細坂沼中桐高椎庄佐耕藏木木葛
成田本口 田野居内智谷榮木野川藤野田村下城
つり竹徳敏 シミキチロ亀きヒ つ もイ
ね竹ミ惠代子真ツくカシ榮よテ年や知子静
茨高烏山岡石三滋福茨福香石東新靜靜香岡福岡
城知取形山川重賀島城島川京湯岡岡川山岡山

渡松加岩 桑熊押 小若牛 和丹吉鈴
邊浦美崎 原仁本 戸林野 田澤岡木

技藝科卒業 (二十三人)
山山三三福檜中寺武鷹高鈴鈴杉樹細黒岡大大礪
崎村野浦田崎村師本島山澤木江下字田野塚橋野
初み八ハシイハフツハヒミササマトヒタツ
枝つ重ミなトチエミれルセネチ佛だサミでカれ

富長香廣滋福茨鹿兒東富宮長福滋千岡富富兵石三
山野川島賀岡城島京山崎野島賀葉山山庫川重

◎天羽生下
福大山宮野源樺水石宮増水
間島田原理科卒業中野川地賀民
倉加奥岡田渡毛松藤福平廣橋中富富堤谷多
知藤館野田邊利本不田野間中中島野澤原田
春志ひあけしミ鳥社ふサヒフセソハハイサ
野摩ろきんんイ羽至めトでエンテツ芳ナトイ
福愛岐石東静新山長青東愛廣柄佐福熊堺德島
岡知阜川京岡湯口日野森知木島賀本島玉根

内伊神山上谷松岡中熊坪廣◎今
山藤岡本田口岡宮山野内岡村

卒業者

白市國	飯沼	◎金森	山安宮	大小倉谷	藤浦
神瀬枝	文科第二部卒業	崎永	田	西	井
*	(十三人)	*	*	*	*
富鳥寺	高竹桜	小梶梅	越前田	福坂	平長谷川
岡澤田	木本井	本泉原	前田	邊谷田	井島
美じ子	ちひる	せ千	イ千ツ	勝ミ年	千惠初
げる	琴	タク	か(十三人)	枝	あ京初
岡岐愛	岐愛	福鳥	長石京	岡長佐	香岐熊
山阜知	阜知	島根野	川都	野賀知	知川本
豊島	坂出	小門田	坂加賀	神林西	田理科第一
*	島	田	谷	林	田第一部卒業
福家壽	矢高伊江栗尾岡	大梅井猪有	淺見岡	神喜代	平野
本田田	木木達	本和田原	見岡	加賀喜	田
ヒサナ	静ふ	秀川サ	辰りて	東ミ	ケイも
子梅ゆ	まき由	あさ子	るるよ	チ甫	イと
北廣島口	廣山茨城	岡宮東山	兵兵	秋長	香
北海道	山形京	崎東岡	兵	長	東
安藤	山石川	井下	野	三	藤
山崎	堺川	藤田	野	池	平
原川	岸河	本川	野	寺	西
子	喜カシ久	野河田	野	松田	池
技藝科第一部卒業	(二十一人)	千	高	常	豐
第一	イサエヤ	ちよ	知	寺	松
部卒業	キクエヤ	よ	石	井	木
第二	ナ	代	山	津	原
第三	シ	よ	形	齊	林
第四	久	よ	川	木	上
第五			河	勝	木
第六			野	橋	林
第七			野	下	上
第八			野	藤	木
第九			野	本	原
第十			野	下	平
第十一			野	藤	西
第十二			野	本	藤
第十三			野	本	原
第十四			野	本	平
第十五			野	本	西
第十六			野	本	藤
第十七			野	本	原
第十八			野	本	平
第十九			野	本	西
第二十			野	本	藤
第二十一			野	本	原
第二十二			野	本	平
第二十三			野	本	西
第二十四			野	本	藤
第二十五			野	本	原
第二十六			野	本	平
第二十七			野	本	西
第二十八			野	本	藤
第二十九			野	本	原
第三十			野	本	平
第三十一			野	本	西
第三十二			野	本	藤
第三十三			野	本	原
第三十四			野	本	平
第三十五			野	本	西
第三十六			野	本	藤
第三十七			野	本	原
第三十八			野	本	平
第三十九			野	本	西
第四十			野	本	藤
第四十一			野	本	原
第四十二			野	本	平
第四十三			野	本	西
第四十四			野	本	藤
第四十五			野	本	原
第四十六			野	本	平
第四十七			野	本	西
第四十八			野	本	藤
第四十九			野	本	原
第五十			野	本	平
第五十一			野	本	西
第五十二			野	本	藤
第五十三			野	本	原
第五十四			野	本	平
第五十五			野	本	西
第五十六			野	本	藤
第五十七			野	本	原
第五十八			野	本	平
第五十九			野	本	西
第六十			野	本	藤
第六十一			野	本	原
第六十二			野	本	平
第六十三			野	本	西
第六十四			野	本	藤
第六十五			野	本	原
第六十六			野	本	平
第六十七			野	本	西
第六十八			野	本	藤
第六十九			野	本	原
第七十			野	本	平
第七十一			野	本	西
第七十二			野	本	藤
第七十三			野	本	原
第七十四			野	本	平
第七十五			野	本	西
第七十六			野	本	藤
第七十七			野	本	原
第七十八			野	本	平
第七十九			野	本	西
第八十			野	本	藤
第八十一			野	本	原
第八十二			野	本	平
第八十三			野	本	西
第八十四			野	本	藤
第八十五			野	本	原
第八十六			野	本	平
第八十七			野	本	西
第八十八			野	本	藤
第八十九			野	本	原
第九十			野	本	平
第九十一			野	本	西
第九十二			野	本	藤
第九十三			野	本	原
第九十四			野	本	平
第九十五			野	本	西
第九十六			野	本	藤
第九十七			野	本	原
第九十八			野	本	平
第九十九			野	本	西
第一百			野	本	藤
第一百一			野	本	原
第一百二			野	本	平
第一百三			野	本	西
第一百四			野	本	藤
第一百五			野	本	原
第一百六			野	本	平
第一百七			野	本	西
第一百八			野	本	藤
第一百九			野	本	原
第一百二十			野	本	平
第一百二十一			野	本	西
第一百二十二			野	本	藤
第一百二十三			野	本	原
第一百二十四			野	本	平
第一百二十五			野	本	西
第一百二十六			野	本	藤
第一百二十七			野	本	原
第一百二十八			野	本	平
第一百二十九			野	本	西
第一百三十			野	本	藤
第一百三十一			野	本	原
第一百三十二			野	本	平
第一百三十三			野	本	西
第一百三十四			野	本	藤
第一百三十五			野	本	原
第一百三十六			野	本	平
第一百三十七			野	本	西
第一百三十八			野	本	藤
第一百三十九			野	本	原
第一百四十			野	本	平
第一百四十一			野	本	西
第一百四十二			野	本	藤
第一百四十三			野	本	原
第一百四十四			野	本	平
第一百四十五			野	本	西
第一百四十六			野	本	藤
第一百四十七			野	本	原
第一百四十八			野	本	平
第一百四十九			野	本	西
第一百五十			野	本	藤
第一百五十一			野	本	原
第一百五十二			野	本	平
第一百五十三			野	本	西
第一百五十四			野	本	藤
第一百五十五			野	本	原
第一百五十六			野	本	平
第一百五十七			野	本	西
第一百五十八			野	本	藤
第一百五十九			野	本	原
第一百六十			野	本	平
第一百六十一			野	本	西
第一百六十二			野	本	藤
第一百六十三			野	本	原
第一百六十四			野	本	平
第一百六十五			野	本	西
第一百六十六			野	本	藤
第一百六十七			野	本	原
第一百六十八			野	本	平
第一百六十九			野	本	西
第一百七十			野	本	藤
第一百七十一			野	本	原
第一百七十二			野	本	平
第一百七十三			野	本	西
第一百七十四			野	本	藤
第一百七十五			野	本	原
第一百七十六			野	本	平
第一百七十七			野	本	西
第一百七十八			野	本	藤
第一百七十九			野	本	原
第一百八十			野	本	平
第一百八十一			野	本	西
第一百八十二			野	本	藤
第一百八十三			野	本	原
第一百八十四			野	本	平
第一百八十五			野	本	西
第一百八十六			野	本	藤
第一百八十七			野	本	原
第一百八十八			野	本	平
第一百八十九			野	本	西
第一百九十			野	本	藤
第一百九十一			野	本	原
第一百九十二			野	本	平
第一百九十三			野	本	西
第一百九十四			野	本	藤
第一百九十五			野	本	原
第一百九十六			野	本	平
第一百九十七			野	本	西
第一百九十八			野	本	藤
第一百九十九			野	本	原
第二百			野	本	平

神鈴糟堀環 平尾田丸西加伊下 黒岸白
田木谷 田崎中野館茂藤田 田木高井
* * * *

添 盛	大 菊	椎 平	今 保	伊 山
田 田	澤 原	川 川	泉 実	藤 田
若吉	檜 中	川 岡	今 岩	伊 川
命	澤 山	村 澄	本 井	東 合
キギ	た	須シ	き安	よエ
ミン	京	よ磨	ヶく	千代
神奈	川	形	本	大
愛	東	山	重	愛
知	京	熊	京	千
奈	川	本	都	分
福	島	重	都	葉
島	島	都	都	形

蚊水新 安小須和 鈴佐田 太 水上倉
泉野田 吉戸田 木藤 中文科第二部卒業

和家水前前松藤古平常篠郡江磯
田城野田井庄井陸谷山見野業
靖シのまよし胤せ伊キセ好(十四人)
子ダ瀟ムシ代子つ與康シ江
石富青靜富宮山奈群茨福新岡岡
川山森岡山城梨良馬城島湯山山

北尾 鈴田木 足西奈新河小相長 村石
川越 木島津 立田良井上高馬岡 岡塚

渡横毛前松掘光中立後古倉國黒清河小市有
部闘利田井 佐川藤津持行瀬野崎倉川馬
ミツア 宅し雪トあヌ小玄ミツモモアハラ
タルキ信吉げ枝ヨイイ代はワヤきついルよ

滋山山山岐富北島兵大福茨山東山京石佐富
賀口梨口阜山道根庫阪井城口京形都川賀山

石 加古大矢 藤川朝高 宮
川 技藝科第一部卒業 藤市森吹地 川橋坂

山山百三本本野永長杉佐小小櫛窓木川井阿
田本瀬野堂間垣井岡村藤澤林山田村船上部
てふシ キサ喜八文ふキア リセ壽千
つじズ里めスツ登重子じヨイ静房んへ野代人
岐愛佐堺茨新熊熊京靜宮富岩熊大靜長岡愛
阜知賀玉城湯本本都岡城山手本阪岡野山媛

本平 田荒 吉西田中芹堀庄片黒古渡小林小
多田 渥川 技藝科第二部卒業

松手竹齊赤荒山源吉林西永德高竹竹妹齊坂
本塙田藤城木本谷田海永橋山原尾藤部
ヤ正マツ千輝いキはふと八え滿美幾ハツミ
尼ノ代子ミ

島福島宮島三山宮京崎靜和宮岐岡新大福三京
根岡根城根重梨城都玉岡山城阜山湯阪岡重都

大正四年九月	大正四年七月	研究科修了(一人)
保育實習科修了(一人)	保育實習科修了(六人)	吉田津ヤ
天野眞ち	上田タキ	竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野
		河本
		大正四年九月
		研究科修了(一人)
		吉田津ヤ
		竹田ミ
		石原ナチ
		萩白篠平
		野石田野

生 佐島西 中宇佐美 江堀野植 長 西
田 文 鮎 治井川 村美 藤尾多野田 田 手 田

村田 石遠三 岡佐 神東 比福登天杉
金村 川藤上 理 田藤 良井地野浦

廣千宮石岩熊
島葉城川手本
兵千山愛東青
庫葉口知京森
和滋石兵香靜
岡川賀川庫山

森大鈴藤森奥高 豊中富山
口森島木阪安村野理 口澤田下

神野 藤倉 安南 池 遠武 名春 横關 山濤 山白
保上 田田 在葉 内 藤藤 取木 山 井崎 口田

宇佐美田大須賀大笠小佐坂下四野武田丹中野箱福保松
田井林本藤本宮内智下口智間崎澤本々口
千壽はツキエスコスモヒサヨシコヨフヒコエイ
代子イヌイタツシカシカシカシカシカシカシカシ
新香宮福京長山千鳥桺愛新長山岡長新福岡
川形都梨葉取木媛湯鰐野島島島島島島島

橋三阿疊鹽大桑塚望西杉鷺籠堀
本漁部田川研村原原貝澤本島原甚
内

科第二部卒業(十一) 秋野 今西 小川 津井 謙武
由南富木石堀日野月村訪井みみふ松代
井部下川(五人) 民井タケシホル残えヤ文化
テハリヨ 年タケチ峯みみふ松代
イナツシ勤

奈良形川阪大青山廣石福熊山本岡川島梨森島都葉鴻奈川新千京神

廣田文大正 真齊大山 木藤岩崎保 大正 球

卒業(一人)	中山	ヤチヨ
實習科修了(八人)	歐陽雅琴	支支
年十月	鄭雷因	廣
*	小原照惠	
実習科修了(八人)	中原	
第一部卒業(二十一人)	末廣澤原	
井上阿部	加藤豊	
てよおふべ	末廣澤原	
三長	瀧坂原	
三長	安田秀	
三長	川原みのる	
三長	西幸	
三長	西幸	
三長	岡	
三長	岡	

小 笠 原 重 土 平 志 勝 志 篠 中 小 山
文科卒業(二十九人)

大正七年三月
歴史選修
渡吉山宮松松平平張龍田佐川長折太大鶴市
部田下崎生田野山谷美中藤島田茂田谷沼原
ヨ喜ナ豊徳と茂ひ壽登ヤ和治益綾テさす
キ代ウ子子よ登ミ滿代エ子子春枝女ルきみ

山東山香岡石熊東千三東長東山埼岡福長山
日京形川山川本京葉重京野京梨玉山島野形

本多田田◎宇岡
理科卒業(二十二人)
仁富小加大石淺秋
科澤島藤川川田山
初とミセヤイの二人
枝みチヂエと花ぶ
北茨神山神島東静
奈道城川形川取京岡
高申林垣島家事科第一
津方田原石明津方
トはウサ江秋
熊兵熊德田本庫本
葛山星小矢野
野内野山谷平
野中千高重梶池今赤秋
坂村良松原田中木野
た仁ム恒ミヒ嘉ふ
龍ま子樂ラ子チで子ゆ
兵靜島東佐長佐島岡長
庫岡取京賀野賀根山野

伊成池野佐近小石内
川藤田吹富田尻藤藤林山藤
長中岡大石池飯荒宮正藤平西
澤幡田平居田木本藤宗原野原部
ヒカ文惠美チ千カ千カ
銀ロク子美操晴エモ子ノ代エ
愛福香崎岡福長大長岡富福京
知岡川玉山岡野分野山山岡都

大正七年三月
文科卒業(二十九人)

地理選修
地
理化學選修
科
本
仁
枝
北
茨
神
山
神
島
東
静
奈
道
城
川
形
川
取
京
岡
高
申
林
垣
島
家
事
科
第
一
部
卒
業
(
二
十
九
人
)

守林鉄子
横松平林大鹽後片翁小榎生井朝
田岡川道見藤山尾野本田上尾
秀ツ成タ梅あ静利ナ
子テ操子るエ代み枝喜磯力勝鶴
高熊千静京岡和東冲岡岡香熊兵
知本葉岡都山山京繩山山川本
熊谷高橋いし
選科卒業(一人)
文科卒業(一人)

萩大柴藤深阿大日
原高田井井部方
神竹鶴磯河岡真瀧青
戸内見貝田鍋下野
佐々木柳

技藝科第一部卒業(二十二人)
藤福原西西千高竹清境佐小草黑木卯之木
森田尾原野橋内家田藤井間澤下木原
きますのすみ森リヒ松ヲアジ
んつド一ふ幸てつ國へヨシ徳子イるイウ
山群靜兵兵長福茨愛愛秋愛新岡山香熊新
梨馬岡庫野井城緩知田知湯山口川本鴻
渡山邊秀之枝
福嶋井玉

吉小神
田高林研究科修了
山黒河有向本野成高近栗
本瀬崎岡人若き淺みふたコ
キツナ
グヤツ甫
佐東奈長
賀京良野
金三佐杉原
子村藤船
井間崎田島藤原
若き淺みふたコ
枝重ね代をじま
佐東奈長
宮北崎岡群靜宮福岩
崎道玉山馬岡城岡手
阿部
渡山望松
大田黒
スルサ
ケ衣セト
秋新山柄
田鴻梨木

守林鉄子
横松平林大鹽後片翁小榎生井朝
田岡川道見藤山尾野本田上尾
秀ツ成タ梅あ静利ナ
子テ操子るエ代み枝喜磯力勝鶴
高熊千静京岡和東冲岡岡香熊兵
知本葉岡都山山京繩山山川本
熊谷高橋いし
選科卒業(一人)
文科卒業(一人)

大正六年十月
保育實習科修了
(十四人)

岩佐◎	小平	山田	小佐	森	石登利
田藤	林野	口村	邦藤	泉	田屋
地理選修	波鷺	八柳	松平	野名	出筒
杉村	邊山川	本尾	山村	取繩	井山橋
いテ	千さ	トセ	すた	コ八ツル	じゆ
よイ	代き	泰ノリヨ	へか	ウ重エン	ヤコア
群東	千靜	香德	熊北	靜長	山岡熊宮
馬京	葉岡	川島	本道	岡野	形山本城
都田	都田	都田	都田	都田	都田
大 小 玉 岩	植	小矢			
楓 川 木 木	野	曾戸 島			
物理化學選修	理科卒業	(二十三人)	谷 武高	島佐小上木	
山松廣中永谷高鈴下石井	谷田	岡野山竹下			
日井多村井山津木村山口	田	下よ戻シセラ			
しりゲつ輝ク代モルマダ	キアノフ	愛順ふさ			
茨東石山東佐香廣東新熊	兵山	新宮島新福			
城京川形京賀川島京湯本	庫口	島湯崎根湯井			
松堀鹽塙内宮服	柳及會	佐礪	井深		
尾井澤本田原部家事科第一部卒業(二十八人)	澤川澤間貝	田	谷		
川川金加安相	吉向	平中目對櫻片	秋		
崎井井木藤藤澤	岡井	岡川澤馬田	山田		
カノミトハシ	ミ琴ト	みきかフ	ハ敏		
ツ菜アハヨン	ミ柱	キツねつサノ	子		
佐新柄茨佐廣宮	香岡崎宮	茨千東香	新靜		
賀湯木城賀島城	川山玉城	城葉京川湯岡	山井		

良	岡佐長上栗山犬白	黒	五上渡	荒谷舊土
永	田木川井山本飼井	屋	味岡邊	井口藤谷
			*	
劉吉吉山山向三林西新戸竹瀬瀬鈴齋佐佐黑菊片越緒				
野岡根本井石	原沼澤谷賀尾木藤木藤田池井智方			
ミツエ操香ヨ英花だる郁春マト子枝浪くききよ	政			
静石崎島長香愛茨熊東香北岐愛山柄宮靜長崎柄島				
岡川玉根野川知城本京川道京阜知梨木城岡野玉木根				
安	竹	末松	小	岩馬南◎
元	崎研究科修了	木田	方	下淵澤
陶朱	理科卒業(二人)	寺大了	横矢中竹田齋	家事科第二部卒業(十一人)
慰瑞	具金(二人)	尼西(二人)	小大上伊天八	
	志德堅	寺大了	山崎村内村藤重野野藤木	
	孫禎	光成	ひうサヒ	
		くト	たカセミ秀登	
支支	沖朝	石熊	ひやすロ	
那那	繩鮮	川本	くふダエ道きヨン	
			豊野之	
津吉	横金	吉	松	熊淺
田岡	山丸	富	大	大大和
		谷	正八年三月	和今
嘉恩大小板石	文科卒業(三十五人)	松	松前二永瀧	大正七年十月
納藤橋川澤森	歴史選修	松	小小加槌岩岩新	保育實習科修了
ニ靜タたか		松	井川川村井澤山山谷原本城井	
キ江カを鶴子		スヨフ	よハ千チ	(十三人)
佐京北海道	福東宮	エネサキエシナ代エ梢ノ尾ヤ		
賀都道	井京崎	京阪良知田葉手野田川崎都島		

塗沼山田 二木伊木山石
間田室口木下藤下井

宮三野永佐嵯熊河阿修矢山向宮三藤原成中千
本浦口見藤峨代原部 部下山崎浦田田富山葉
國ヒ須雪セトセアミツシキイハタタテ美
子ロ磨江ツロ豊イえしネえミツルニメイ枝
和北新東熊柄岡北宮 静熊滋東山東鹿佐柄東
山道鴻京本木山道城 岡本賀京形京島賀木京

秋坪矢戸柿吹飯堀河
山井部田久原田野
植物動物物理化學選修
山百森三近江物和門幣堤田丹齋河川石青
根瀬川好内角修田馬田中下藤野上野山
とわヒサコ操んス里代子ロルミエノ
静長山香靜鳥千福廣佐山茨福山廣兵愛
岡野日川岡根葉島島賀口城井口島庫知

野吉山植北鈴小野匂東上鈴清
坂川中木郷木塚坂間條木水

和吉吉依見前平平服戸田田斯下下小飯池石津安
田田田戸岡田澤部田中里波村林林田田河野藤
き花しいまみテ峰美カ藤起キスミアミ美ミラ
タミゲさか子ヨ子江繁ノ江代ヨミキヤエ代
和高青長山兵秋滋新埼福靜新福熊東新長山宮岐
山知森野口庫田賀鴻玉岡鴻岡本京鴻野鶴城阜

松平稻雨木酒島廣横海白和松
崎原葉宮下井崎田幕老澤井田浦

**
和矢山山森皆松丸堀野西中友武田杉下齊道影川
田島下口川見井山口田塚村田田中浦田藤尾山上
ミハシヒキ瑞樂う俊千かヨミ我ひさサ士、リ富子
江ナミでく穂代た子野野るシれの悦トみん貴
茨岩山長愛長岡茨岐岡宮福愛東三柄山東鳥長佐
城手梨野知野山城阜山城島知京重木形京取野賀

加荒大藤加菊青
藤川塚卷藤池木
文科畢業(一人)研究科修了(一人)
藤杉内荒増唐龍坂佐近加小今相
岡本田木淵崎野井竹藤藤川井澤
わやシズいきハトヤ千和チ急静フ
始かへエソムソス哉子ヨカ子ミ
支東東長山三茨大新北岡福千愛新
那京京崎重城阪鴻崎山岡葉知鴻

金深井西太高中清齋
子澤上川田橋水藤
立篠齋金額植石伊朝阿
神森藤森井原村川藤倉部
タヨ寺シ芳マアいすア
ネ壽シ操ナ枝サヤくむイ
廣東靜東兵石北海岩奈石秋
島京岡京庫川道手良川田
那那

大正九年三月
文科畢業(三十人)
選科畢業(一人)
歴史選修
熊陳瑠

白田	伊鹽	中松	石	九柳	◎	石	岩
原	藤井	川原	橋	山澤	村	黒	田
地理選修科卒業(三人)							
村	武前	正中	筒高	田神	梅秋	修横	山南味福
瀬	木條	井木	中谷	森田	井田	村島	植木藤
久	ロト	トム	ユニ	勝く	タチキ	トヒ	シサ
子	ネキ	ラウ	マ子	にけ	エク	シえ	雪實秀善
愛	板北	宮福	崎山	千岐青	東香	長長	愛靜東山大
媛	木道	城島	玉口	葉阜	森京	川野	野知岡京形分
高宮 市 武益 松 猪							
橋	崎	動	原	田岡	本	熊	物理
前寺	小守	三益	法林	土筒	須榮	菅	江石
田中	濱修	邦浦	岡月	邦	井田	發間	磯飯井
か	か美	ミ三	ナミゼ	セ	き	キミ	郁シリ
う	榮秀	る	黒勝	リ子	ノツ	勝清	くう
山	熊千	吳山	岡靜	東德	福青	岡新石	靜秋山香岩
形	木葉	庫形	山岡	京島	島森	山渴川	岡田口川手
青	中	西	日山	横	鷹白	清奥	柳
島	島	本	向西	山	取居	水田	川
家事科第一部卒業(二十五人)							
畠	藤古	西成	内島	谷佐	小久	影鹿	川大小魚井一石
井	江川	坂田	藤越	本藤	池米	山島	村岩野返上條川原
ハ	リトキ	い下	安ミ	ナジテ	カの	ナミヨシ	
ヨ	ゼコ	榮く	枝代	ヨカ	光イエ	ぶ金剛シ	うノ厚文
廣	靜長	熊青	岡岡	廣崎	長崎	新石福	岡柄大東北
島	岡野	木森	山山	島玉	渴川	島山木	分京道渴京

九	馬今	桐瀬	關把針	大	山形竹
野	研究科修了	橋場	井村	藤谷	田生
*	(三人)	*	*	*	*
芳鈴	土佐林	渡古肥	西中	中小今石	赤伊
尾木	里トテ	部川	田本	松根西野	崎藤塚
能ミル	能ミル	キキシカ	芳ゆ	壽きミ	ちサツ
東富	東富熊	東岩	靜香	京兵	兵宮山宮三
京山	本	京手	岡川	都庫	城口城重
家事科第二部卒業(十一人)					

野中太	板長	野	橋高	水	城
口島	田東野	口	樹森	野	間
保育	實習	科修了	村梨	丹田	桑
美中	川原	藤田	川田	川坂	杉成
千エ	喜代	久保	田谷	井吳	義代
代イ	子寅	北鎌	上伊	丹	本田
大東	東岡	小上	村	成	桑
分京	京山島	北	梨藤	田	本
選科卒業(八人)					
千エ	喜代	厚外	外し絲外	登茂	勝
代イ	子寅	クメテ	登茂枝	枝	美子
大東	東岡	北	千代瀬	ヒサノ敏	ナ敬
分京	京山島	北	美ん野譽	ヤマニ	ヘ子
大正十年三月					

松	高	日			
本	橋	野			
*	*	*			
河近木	木川	大江	池今	岩	赤
野藤	藤村	島友	崎田	井瀬	木
ヒ壽	さ	イ	三保	春	志津
サ美	さ	ハ	マ	ハル	植
長福	兵奈	秋東	和	滋廣	支
野岡	庫	農田	歌	廣	埼
島	重京	京山	賀	京	愛秋
王媛	田那	那	島	媛田	熊本
大正十年三月					
文科卒業(三十人)					
歴史選修					

理科卒業(二十二人)	山仙竹鈴東白中藤山大 岡波田木原畑川崎内竹
	*
龜安藤原恒子(三人)	浦芳山山宿森百宮三前細樋肥西永中高 井澤本本谷瀬崎宅川川口田井友山木 ス登美子 カセは松キユミ小シキ文フリ天ミ メ峰イ江野ノキム淑松ツく子ミツ矣ツよ
神愛奈川媛	新愛秋兵北香山宮東京香北海桟宮鹿兒福 鴻知田庫道川形城京都川道取木城島鴻
	前我山白西平佐山横深玉河小中 田妻浦坂浦賀藤田田井眞崎林島
	*
	湯山三松本平林野中富富鳥鳥土高始佐小久甲 田好本田川瀬島田櫻居海田山關木塚我妻 ツは近芳ナ友セふさ美はツ美智代八マノキ喜 ルコつ江子カ惠ノ子するタ基け重セエ久俊麻
	和神兵北福岡山滋和山秋岐靜廣東京福神岐熊 奈川庫道島山日賀山形田阜岡島京都岡阜本
飯塚田	西増宮二森土菫大片小佐田南 川田武方岡井野野尾宮藤邊波家事科第一 部卒業(二十六人)
	新西中坪仙檀岸新志岸木木小岡岡石飯荒青 崎原山野田原澤保村田村對田田本黑沼木木 ヨミ千トモチフカサ貞キク萬壽愛トト美喜ハ シナ代タカカノうチ靖代エ美キ子キ愛シ子代ル 福崎福崎長廣香靜鹿兒福山大兵宮岡青高東新 島玉島玉崎島川岡形阪庫城山京山森知京湯

小山研究科修了(三人)	吉澤中池星原白鈴 山田山村田白石木
	*
梶原恒子	守正松本長谷屋木浦多千夫みえ子花代佐 本谷部田橋山合千夫清エタミエだ子イキ 尼川河神田橋山合千夫清エタミエだ子イキ 岸上岸上岸上岸上
	かつみ静あき子ん
長野	新福東北崎山長鹿富宮岡岩大 鴻島京道玉形崎島山城山手分
	群廣靜崎馬島岡玉

崎德宮桑山永武名	十文字選科卒業(四人)
	*
三堀福早津助白黒大小梅足 木内原塚谷川石田藤川田立	保育實習科修了(十二人)
まヒサ茂コ文英ヶさ子サ松シ	湯松小野田浅兼
山東熊東香福岩靜千東新京	岡美あらはじめ
梨京本京川島手岡葉京鴻都	ハルノ雪ら
	支那

西五山竹松曾笠味田田原我松	大正十一年三月文科卒業(三十人)
	*
芝佐神貴金尾小石石入猪安阿 木島子崎澤田井山狩藤部	研究科修了(一人)
マは菊ハ千代フトカトシ ス孙代豊豊ツ子サ朝キキ	陶處
徳山福千岐新宮山北海山桟茨福 島梨岡葉阜鴻城口道口木城島	支那

大屋	菊西 鈴西	中 村	中 村
池村木川	文科卒業	理科卒業(一人)	吉三 藤早
黒菊川大小一伊温青	大正十二年三月	研究科修了(一人)	岡上 原川
澤池畠木澤瀬東美本	英はるのトシウ政千ふ子	馬仲	千ノクニ子
英はるのトシウ敦江徳龍さ統	石茨鹿児島城	容	アダ子
岩長山熊靜廣	岩長山熊靜廣	支那	長青新京
児島手野梨本岡島	川城	那	野森鴻都
足栗高橋達田橋	佐久間	田中	中辻
楓岡小池天原原村川川野志慶千わり松	吉横龍安山松藤成中奈鳥高坂佐藤田宮極原原田山良居瀬	中島	島
志慶千わり松	文ヒ雪敦鹽ら静	藤	西原
野子鶴か工榮	子ア子子子子子	喜	原選科卒業(十人)
福和大靜福香井山分岡島川	岡岩千山長和愛山福秋愛茨三廣	大	石山
	山手菜日野山媛形島田知城重島	杉	山
新冰 石矢	古玉竹西	雨小山	◎
納上 元島	莊眞川村	宮林内	研究科修了(六人)
沖大小岡稻岩猪伊地野島原村毛田田知	力山森堀別野稱高田清河川	後藤	藤
エ清光登ふいタイイ于楓江子	丸田所村津木井水瀬合	黒	杉
鹿兒島高島愛千鹿兒島山取知根知葉島	文クハテヤフ花久く翠枝ニ郁ルいミ孝子枝に	渡山宮宮孫楠黑喜加大	沼
	熊靜東東宮福東京東岐三	邊崎川澤貞雅松ふよ	千木良
	本岡京京城井京都京阜重	春々綾子野ゆ	瑞

伊申築建森池市深眞海林
田島尾部田田川熊保

* * *
本三平坪齋古小北喜片大小天
橋浦田内藤賀林郷田岡谷野野
敏ふ小みゑ道ミふチ光きニ
子さ枝へま子ンち枝よキ綠
鳥兵長滋岐東新靜大北海千大石
取庫野賀阜京湯岡分川

目都敷西中石山雨小山
藤圖畫專修科卒業(十一人)
石井渡山宮宮孫楠黑喜加大
みたま邊崎川澤貞雅松ふよ
宮岡岡東靜朝三東大東山支長富東鳥宮
城山山京岡鮮重京阪京梨那野山京取城

瀬高瀬入城田
口橋川木澤所
壬巽小加右牛市池板阿修保育習科修了
生森田藤近島川口橋部

藤光カ領エフ於ヨシ子
枝枝ヨ子イエサ敏シ子す

佐和熊崎佐熊山兵福愛長德富千石崎靜
賀山本玉賀本口庫島媛野島山葉川玉岡

◎ 高桑蘿松蔽市海五
野原谷尼內川瀨島

小森田　フミ　杉山　キク　木澤　冬子
 和田　カツヨ　高橋　みち　星野　ふさ
 八木澤　日比野　内田　久子　星野　富美榮
 田中　尼田　武德　永久　中田　鈴木
 総合　節子　高橋　徳永　田中　小冬
 項子　代子　高橋　武徳　本多　和田
 木澤　星野　星野　久子　木澤　星野
 和田　星野　星野　久子　和田　星野
 田中　尼田　内田　久子　田中　尼田
 総合　節子　内田　久子　総合　節子
 項子　代子　内田　久子　項子　代子

小舟細柳風大岡中大正川橋田木當谷崎林文家

田 櫻 八 龜 高 星 荻 柳 佐 日 伊

中洋	中洋	中洋	中洋	中洋
渡瀬	瀬原	原廣	廣瀬	瀬原
邊谷	谷瀬	瀬村	村秀	秀村
ちみさ	セツ子	子乃	新枝	枝乃
よ	セツ子	子	岡英	英岡
静山	山香	新川	鴻濱	濱賀
岡口	川口	岡山	浜岡	岡城

本野井南山木水上松水
田田上家木塚田木上

福堀平馬長中中友竹高太鉛柴榎小山小楠黑楓風河河
島口賀場沼庭村近内橋川木原多田林田間來合内
靜明葉姫ぬ須シフよむヒ能コナ初トトミシヅ
女子月恵き磨エサえめヲ鍊子乙ウル子ラヨシ綽ヨ
熊岐廣和長崎熊愛鳥千福愛福佐福東福山熊東廣
木阜島野玉本媛取華島知井非賀島京島形本京島

河内山猪白眇中岩
山西山猪白眇中岩
山西山猪白眇中岩

卒業	赤岡まさ	長	科修了	梶原千代	大橋ミサチ	小島シマ	吉崎	渡邊	和田	安田	米澤	原上	原仲	松原	三橋	萬木	松尾	松本	藤田
(六人)	ま	さ	(三人)	マサチ	ミサチ	シマ	ヨシザキ	ハタケダ	マサヒロ	ミツヨシ	タケシ	ミツヨシ	タケシ	マサヒロ	ミツヨシ	マサヒロ	マキナ	マキナ	マキナ

植 構 植 物 學 ② 野 生 植

育實習科修了	(十六人)	新井子	大分島	東京良	奈良	本治枝	本口田	新井子	本治枝	新井子	新井子
石原松枝	熊本	静岡	熊本	廣島	沖繩	山梨	東京	岐阜	東京	東京	東京
		本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
		み	セ	ト	チ	ト	ミ	キ	コ	モ	ト
		み	セ	ト	チ	ト	ミ	カ	エ	モ	ト
		代	英	慶	だ	江	ふ	芳	子	力	子
		日	ル	タ	ミ	リ	リ	井	田	田	田
		ヨ	子	子	キ	キ	キ	子	田	山	鹽
		ト	ル	タ	ト	ト	ト	ス	キ	山	兒
		ト	セ	ト	セ	セ	セ	タ	カ	口	玉
		ト	セ	ト	セ	セ	セ	モ	モ	モ	井
		ト	セ	ト	セ	セ	セ	ト	ト	ト	井
		ト	セ	ト	セ	セ	セ	ト	ト	ト	井

津	篠	村	笠	森	申	佐	德
田	川	上	井	藤	丸	藤	差
*							
新	吉	吉	森	虫	升	平	早
井	岡	岡	岡	田	重	明	武
乃	綾	綾	綾	エ	静	智	升
ぶ	子	ウ	枝	キ	ノ	マ	平
京	廣	福	山	岡	柄	廣	香
都	島	島	島	木	木	三	東
	口	島	島	島	川	東	富
	山	木	木	島	川	朝	廣
	島	島	島	川	重	岐	大
	島	木	木	京	京	東	岐
	島	島	島	島	島	宮	宮
	島	島	島	島	島	青	城
	島	島	島	島	島	島	森
*							
吉	市	今	小	岡	征	北	佐
弘	川	村	田	原	本	沼	木
			田	本	沼	澤	村
				村			上
						阿	光
						久	津
*							
和	安	山	藤	藤	日	三	馬
田	武	中	原	原	原	原	根
富	綾	テ	田	野	木	木	土
起	操	テ	野	木	淵	木	塚
茨	熊	東	神	高	兵	鹿	日
城	奈	京	奈	兵	鹿	京	三
本	知	都	知	鹿	長	新	和
京	庫	木	島	兒	愛	福	美
都	都	野	都	兒	福	廣	シ
都	分	渴	木	島	廣	東	ネ
都	都	知	島	島	東	京	美
*							
熊	平	末	柴	夏	角	土	川
倉	島	田	田	目	谷	屋	西
*							
杉	鈴	白	清	坂	佐	五	小
浦	木	鳥	水	下	久	小	栗
千	み	光	間	味	間	小	黑
代	さ	子	ア	沼	ア	大	熊
子	を	照	フ	島	ア	江	櫛
			ジ	田	イ	尼	木
			エ	田	イ	原	小
				代	ト	原	大
				引	リ	原	江
				下	原	原	尾
					原	原	稻
						原	富
						原	岸
						原	家
						原	事
						原	科
						原	學
						原	業
						原	（三十六人）

篠國富善野原河 川田澤谷村		太田久田澤蓮太 田安村田沼	
卒業者		文科卒業(二十九人)	
丸藤野谷竹高田水鈴鈴作小曾高黒國楠神置小大 野村田水口村橋中主木木田戸良川友木原鹽田泉竹 トは幸シ田千爾孝ハヤヒトヨ和タカチキ斐かつ シ枝ズ鶴萬道壽子クよ瀟ク代子ゑク壽子み 兵廣新奈佐靜千大新靜石宮鹿兒島廣東香富茨宮英 島庫島湯良賀岡葉分湯岡川崎島重川山城城		中津高田芹鈴城清郡小熊黒大石石今 川川下柳中田木山水山林川河川平井井福 タい睦好喜代美鈴うき光文壽う千 マニ子恵美コ元子たく子子順々昌た恵 青桜岡岡山廣桜桜愛宮東福廣東東山 森木山山口島木木知城京井島島京京口	
吉大 田島		横中高 七條西島	
保育實習科修了(一人) *朴貞珍		篠内久保田杉田 理科卒業(二十一人)	
白齋工曾陰太大魚根藤部山田内川春喜久代 子ツカシミ子シ海久代子ツカシミ子シ 廣山東福東東岩石朝京知鮮		横庄白靈木上生 煙野石澤田野田田 は千文ち八芳千代 惠子う代枝子勝	
大島吉田澤山田 島根田田		増松星福平長 山高森浦田本野良島野 長も奈キ八千代 子ミ美ク口	
大島吉田澤山田 島根田田		星福平長 山高森浦田本野良島野 長も奈キ八千代 子ミ美ク口	
大島吉田澤山田 島根田田		横山長京 和山長京 堺香大宮福 岡庫馬野城形井知野	
下山井阿上 文科卒業(三十人) 昭和二年三月		牛吉上尾 越田田崎	
梁周温桂 端好英 支支支那 北海道		増田家事科卒業(三十六人) 池伊荒安藤藤 花のテトたまを 新山静愛廣福福 鴻梨岡知島島井	
遠岡高 藤野橋		牛吉上尾 越田田崎	
文科卒業(一人) 梁周温桂 端好英 支支支那 北海道		大植宇賀神井田 松一豊藤木 ヒ勢都子花のテ 新山静愛廣福福 鴻梨岡知島島井	
家事科卒業(三十六人) 池伊荒安藤藤 花のテトたまを 新山静愛廣福福 鴻梨岡知島島井		渡米山本濱野仁中高 邊村城口鄉島田科澤藤橋 千ユキエ政子はるよ子の 文政代子の子の 滋琴	
大植宇賀神井田 松一豊藤木 ヒ勢都子花のテ 新山静愛廣福福 鴻梨岡知島島井		牛吉上尾 越田田崎	

須 前 池 松 松 上 佐 間 森 鹽
田 川 内 尾 山 原 藤 田 澤 田

*
谷高平弘日野中内富士關鈴杉黃齋佐兒小葛川大大
橋野田比上島藤田屋木山田藤木島島目村谷坂
み幸三千タケノ象千駒春む信喜ナ充ハコヒ政サ
つ子代ノ敬子子野重俊輝頼つ子子カ子ヨルさ子キ
東東千山大東岡滋東静東岩静福山岩岡廣高千島熊
京京葉口阪京山賀京岡京手岡井梨手山島知葉根本

◎ ◎ ◎ 坂

保育實科修了(二人)選科卒業(二十四人)
方嶺武王了吉山山山葉村松堀帆藤
順義澤田愛(四人)村岡本田瀬田本田山原
順順オ巷た達恭ナキ久貞芳滿壽子
朝朝東福東支東三島高柄愛愛愛福岡
鮮鮮京岡京那京重根知木知媛知井山

瀧川 渡和田

森藻蘿平成豊立杉坂四佐櫻小立久木門菅乙荒淺
本井島田田口野井口田原井關保下山黒川井
千清南愛和みミ加ナ民滋政ム君さく郁相美フ
鶴子江春子子るニ子子美十順子立代子雄サ壽
兵東靜佐三富秋岩千群北東岡千朝石兵東東山秋千
庫京岡賀重山田手葉馬道京山葉鮮川庫京京梨田葉

小川 今村 小島 福本

松松保藤芳梨中成堤高鈴杉清佐金川川太小小岩
本寄坂澤賀谷村田畑木田水野成上井井田野川井
す茂あ千みしカシキス須春三千キミロホ、キ富靜ヒ
み子さ鶴とりづエモクテ賀香惠ロえシづよ代サ菊
福福東長宮富愛青大福神廣東秋茨新靜岩山大新大
岡岡京野城山媛森分島川島京田城鴻岡手梨阪鴻阪

森藤 鈴山 伸保 ◎ 橋本

田副杉白沙椎柳佐古越石飯荒安
宮島本井崎名原野部智井山井部
ふ哲き千千比君浅たア世意治
み子英く代代佐代子子節イ操治
山福高東愛靜東大三愛新柄福高
梨岡知京知岡京京阪重媛鴻木島知

理科卒業(二十五人)

木村

岡海内石池市猪浅阿吉守松九平濱西新高田
崎野田川田原間野部村村屋村尾田野田橋中
良ノ驚け初富光た清フ菊シ千芳美ゆあ
子ア江い音美子か子シ孝悦代文ズ子枝代キヤ
高鹿岡愛宮北京宮兵北海道都城庫
知島山知城庫北海道京山岡岡知川根岡本

和安安山山村田原原口田尾巳美代子ヤ
喜幸子一エ

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">矢 澤</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">白 石</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">卒業者</td><td style="padding: 5px;">案事科卒業 (三十七人)</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">*</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">大大大越上上伊井井秋林長谷 澤村野智原澤藤上筒田長谷 てキタ晴よ志房セキ晴 るココ子子嘉野イッ子 板廣高愛山板千島岩靜 木島知媛梨木葉根手岡</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">三松政楨本範林長谷 隅村池間川羽 キノひ明ミふ淑フシ ミアろ子チ子子エの宇 山鹿愛山新愛愛三兵愛 口島知梨渴知知重庫知</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">山 縣</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">眼野丹長傳寺谷立竹高田田島司坂齊小公木上金加 部村羽根田田日石内瀬村中田馬本藤山文村鶴山藤 リ草順さ史ミ文政キ美ミ芳英イ嘉壽 操ツ子子繁子シ子子清エ子教コ子子チ貞子 大福愛崎長山岡東長岡石福香岡福長高靜大高宮 阪井知玉野梨山京野山川川山島野知岡阪知城</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">篠 原 川</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">圖書修科卒業 (十一人)</td><td style="padding: 5px;">研究科修了 (二人)</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">吉福廣平土瀬榮佐大荒安 澤島澤田崎崎木沼井西 シケノ千千ヨムカカサチ ノ子重シツツ操よちリ 福徳東福大崎三宮茨大 岡島京島分玉重城城分</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">周前田守山守村経 慧のヨヨ梅成 好ゑシエ鞍子子 支靜千千石埼群 那岡葉葉川玉馬</td></tr> </tbody> </table>	矢 澤	白 石	卒業者	案事科卒業 (三十七人)	*		大大大越上上伊井井秋林長谷 澤村野智原澤藤上筒田長谷 てキタ晴よ志房セキ晴 るココ子子嘉野イッ子 板廣高愛山板千島岩靜 木島知媛梨木葉根手岡		三松政楨本範林長谷 隅村池間川羽 キノひ明ミふ淑フシ ミアろ子チ子子エの宇 山鹿愛山新愛愛三兵愛 口島知梨渴知知重庫知		山 縣		眼野丹長傳寺谷立竹高田田島司坂齊小公木上金加 部村羽根田田日石内瀬村中田馬本藤山文村鶴山藤 リ草順さ史ミ文政キ美ミ芳英イ嘉壽 操ツ子子繁子シ子子清エ子教コ子子チ貞子 大福愛崎長山岡東長岡石福香岡福長高靜大高宮 阪井知玉野梨山京野山川川山島野知岡阪知城		篠 原 川		圖書修科卒業 (十一人)	研究科修了 (二人)	吉福廣平土瀬榮佐大荒安 澤島澤田崎崎木沼井西 シケノ千千ヨムカカサチ ノ子重シツツ操よちリ 福徳東福大崎三宮茨大 岡島京島分玉重城城分		周前田守山守村経 慧のヨヨ梅成 好ゑシエ鞍子子 支靜千千石埼群 那岡葉葉川玉馬		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">昭和三年三月</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">理科卒業 (二十八人)</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">文科卒業 (三十二人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">國木河川石今犬位浅</td><td style="padding: 5px;">劉王王渡吉邊岡少</td><td style="padding: 5px;">芳村西岸井田井飼田野映淑久</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">君千ミ千辰シ雅婚美子</td><td style="padding: 5px;">子代み千鶴子生ヶ子ヨミ</td><td style="padding: 5px;">荷姫英香子</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">東岡愛大神奈川島山島川</td><td style="padding: 5px;">支支支支那那</td><td style="padding: 5px;">支支支支那那</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">依毛村宮万松洞林濱西中友堤辻田杉清島芝篠栗隈 田利上下波井上水田田日本水田野島原元 新千文ハ一千正多松ク八富ト嘉貞文信澄ユ淑玉 穗子子ル子操子子津代ヲ子ク子子子子キ子枝 長高長新岡神奈川島山長石東岡佐佐廣新岡愛北東虎 野知野湯山玉口野川京山賀賀島湯山山知道京島</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">佐 藤 新 田</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">成永名富露田田鈴鈴佐小木木木木木木木 田井木橋永木千代田澤中代木木藤坪村村井藤上木 みどり喜代子ミサカ富美江アコ澄靜リ美は正利延文和濱 青長東兵神奈川東山長岡新神奈川東大廣京大東靜愛愛福 森野京庫京口野山湯川京阪島都阪京岡如知井</td></tr> </tbody> </table>	昭和三年三月	理科卒業 (二十八人)	文科卒業 (三十二人)	國木河川石今犬位浅	劉王王渡吉邊岡少	芳村西岸井田井飼田野映淑久	君千ミ千辰シ雅婚美子	子代み千鶴子生ヶ子ヨミ	荷姫英香子	東岡愛大神奈川島山島川	支支支支那那	支支支支那那	依毛村宮万松洞林濱西中友堤辻田杉清島芝篠栗隈 田利上下波井上水田田日本水田野島原元 新千文ハ一千正多松ク八富ト嘉貞文信澄ユ淑玉 穗子子ル子操子子津代ヲ子ク子子子子キ子枝 長高長新岡神奈川島山長石東岡佐佐廣新岡愛北東虎 野知野湯山玉口野川京山賀賀島湯山山知道京島			佐 藤 新 田			成永名富露田田鈴鈴佐小木木木木木木木 田井木橋永木千代田澤中代木木藤坪村村井藤上木 みどり喜代子ミサカ富美江アコ澄靜リ美は正利延文和濱 青長東兵神奈川東山長岡新神奈川東大廣京大東靜愛愛福 森野京庫京口野山湯川京阪島都阪京岡如知井		
矢 澤	白 石																																											
卒業者	案事科卒業 (三十七人)																																											
*																																												
大大大越上上伊井井秋林長谷 澤村野智原澤藤上筒田長谷 てキタ晴よ志房セキ晴 るココ子子嘉野イッ子 板廣高愛山板千島岩靜 木島知媛梨木葉根手岡																																												
三松政楨本範林長谷 隅村池間川羽 キノひ明ミふ淑フシ ミアろ子チ子子エの宇 山鹿愛山新愛愛三兵愛 口島知梨渴知知重庫知																																												
山 縣																																												
眼野丹長傳寺谷立竹高田田島司坂齊小公木上金加 部村羽根田田日石内瀬村中田馬本藤山文村鶴山藤 リ草順さ史ミ文政キ美ミ芳英イ嘉壽 操ツ子子繁子シ子子清エ子教コ子子チ貞子 大福愛崎長山岡東長岡石福香岡福長高靜大高宮 阪井知玉野梨山京野山川川山島野知岡阪知城																																												
篠 原 川																																												
圖書修科卒業 (十一人)	研究科修了 (二人)																																											
吉福廣平土瀬榮佐大荒安 澤島澤田崎崎木沼井西 シケノ千千ヨムカカサチ ノ子重シツツ操よちリ 福徳東福大崎三宮茨大 岡島京島分玉重城城分																																												
周前田守山守村経 慧のヨヨ梅成 好ゑシエ鞍子子 支靜千千石埼群 那岡葉葉川玉馬																																												
昭和三年三月	理科卒業 (二十八人)	文科卒業 (三十二人)																																										
國木河川石今犬位浅	劉王王渡吉邊岡少	芳村西岸井田井飼田野映淑久																																										
君千ミ千辰シ雅婚美子	子代み千鶴子生ヶ子ヨミ	荷姫英香子																																										
東岡愛大神奈川島山島川	支支支支那那	支支支支那那																																										
依毛村宮万松洞林濱西中友堤辻田杉清島芝篠栗隈 田利上下波井上水田田日本水田野島原元 新千文ハ一千正多松ク八富ト嘉貞文信澄ユ淑玉 穗子子ル子操子子津代ヲ子ク子子子子キ子枝 長高長新岡神奈川島山長石東岡佐佐廣新岡愛北東虎 野知野湯山玉口野川京山賀賀島湯山山知道京島																																												
佐 藤 新 田																																												
成永名富露田田鈴鈴佐小木木木木木木木 田井木橋永木千代田澤中代木木藤坪村村井藤上木 みどり喜代子ミサカ富美江アコ澄靜リ美は正利延文和濱 青長東兵神奈川東山長岡新神奈川東大廣京大東靜愛愛福 森野京庫京口野山湯川京阪島都阪京岡如知井																																												

北村

船藤夏築塚高闊鈴澁周佐近栗九木木河河陸加折岡
橋津目山田木口木谷藤木 田鬼山元野合山藤原田
郁壽文秀松は 幸千アア志君美 初幸千郁さ幸
子卓野代子る歌子代ヤイま代知園子子代枝だ子
愛山愛熊岡石柄山東島香新靜和岡大愛長兵福群新
知口知本山川木形京根川鴻岡山山分媛野庫井馬鴻

佐近近小小小桑川柿大江梅内上植宇赤業渡吉山町
野藤藤松林島木又村山口島田田村野松(三邊田田
澤淑靜 愛貞 サ八春幸君房節た人 線フ富貴子
さだ子恒子子江久子子節エ重江子子江子か 高子ユ
山福新福千柄岡茨新福千静東島東兵兵 岡岡新群
梨岡鴻岡葉木山城鴻岡葉岡京根京庫庫 山山鴻馬

渡八古藤林初萩野月塚種武竹高田鈴杉清眞齊
邊田市井 見原上野木田 林田本木木水田藤
き道とし千鈔て學登テ や秋清サチ玉文み
よ子子代子い子和秀イ夙保子子于エよ壽子つ
茨愛三北海愛茨東大鹿佐北海神奈川石三北愛東神宮
城知重道知城京分島賀道知京川重

湯辺寺 清水

丸松野中龍白白篠澤胡熊木北大岡小内池稻伊赤
野山本島腰根根 桃井金島原村川山田並藤澤
サ英きナ綾ニ美サ登ト嘉文千 千壽小文宣春サ
キ子のヲ子キ子ダ子シ鶴子東節子美枝子子イ
鹿福崎東大大廣東鹿高千愛三千千神石東東千柄
兒島玉京分分島京島知葉知重葉葉川京京葉木

昭和四年三月 圖畫專修科畢業(一人)
文科卒業(三十四人)

信清黒菊川頬片笠皆大織小安足楊
耕水田池柳井田藤倉立和
千ス智た敏恒齊フ靜貞 靜雪
代子節エ子き梅子子ユ子子武子子
石長東岩山臺茨廣長岐東愛千岡鳥
川野京手梨灣城島崎阜京知葉山取
東東支那京京

和吉横八向松本藤福原永鳥宮東戸高高田鈴
田村山木山尾多森田田松居澤條部舛橋村木
て紀美登ち 敏千輝 キ春一
る子な子つ子子よ淑秋子春子峰ミ子英徳
愛奈茨東柄東長崎新熊東福山岡廣愛東柄
知眞城京木京京野玉鴻本京島日山島知京木

三枝 國友

昭和四年三月 圖畫專修科畢業(一人)
文科卒業(三十四人)

信清黒菊川頬片笠皆大織小安足楊
耕水田池柳井田藤倉立和
千ス智た敏恒齊フ靜貞 靜雪
代子節エ子き梅子子ユ子子武子子
石長東岩山臺茨廣長岐東愛千岡鳥
川野京手梨灣城島崎阜京知葉山取
東東支那京京

和吉横八向松本藤福原永鳥宮東戸高高田鈴
田村山木山尾多森田田松居澤條部舛橋村木
て紀美登ち 敏千輝 キ春一
る子な子つ子子よ淑秋子春子峰ミ子英徳
愛奈茨東柄東長崎新熊東福山岡廣愛東柄
知眞城京木京京野玉鴻本京島日山島知京木

川西日置

研究科修了(六人)

木下高鈴富原王

木澤澤井少

美秀英子

徳渕英子

福富支岡

兵山那

知庫井山那

選科卒業(一人)

折喜久子

代千賀

京子

子喜

子

朝鮮

鮮

保育實習科卒業(二十二人)

荒井澤小野

智谷大

京大

京喜

代千賀

京子

子

英茨

北海道

京城

坂口

久島

大圓

智谷

京大

京喜

代千賀

京子

子

英茨

北海道

京城

京京

京京</p

卒業者

一本校卒業者數

卷之三

尹	研究科卒業 (四人)	高井 鹰美智子 高村 美和 高辻 千葉 高邊 北海道
京	渡邊喜美子 小林繁久 高村喜久 高上繁久	渡邊喜美子 小林繁久 高村喜久 高上繁久
勸	高岡廣知 高島知山	高岡廣知 高島知山
朝	高神奈川	高神奈川
鮮	高本葉城 高本葉城	高本葉城 高本葉城

朝鮮 朝鮮 朝鮮 朝鮮 朝鮮 朝鮮
曾 玉 同 己 福 粉 金 崔 崔 保育實習科卒業(二十二人)

昭和五年七月
文科卒業

二木村山渡邊芳枝俊美子
井上田露子子
福島浩靜岡千葉新潟長野
村業（一人）道子
五年七月
福澤

明治二十七年	明治二十八年	明治二十九年	明治三十年	明治三十一年	明治三十二年	明治三十三年	明治三十四年	明治三十五年	明治三十六年	明治三十七年	明治三十八年	明治三十九年	明治四十一年	明治四十二年	明治四十三年	明治四十四年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	云	毛	元	量	元	三	元	量	元	元	毛	云	量	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	云	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
西	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	云	云	量	云	量	云	云	云	云	毛	云	云	一	一	一	一	一	一	一	一	一
元	云	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
元	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	二	云	三	三	量	量	云	福	云	元	元	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
西	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	一	二	二	二	三	一	三	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	一	一	二	六	二	一	一	一	一	一	一
一	一	一	元	一	云	一	一	西	一	五	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	云	一	量	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	三	一	一	一	一	云	一	量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	三	一	三	一	一	西	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	三	三	一	二	九	三	三	八	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	云	一	全	老	三	一	八	大	三	袁	三	全	一	豆	袁	盈	三	盈	福	云	云	元

第十一 敷地及建物

(昭和五年十月調)

一 敷地

本郷區湯島三丁目二十三、四番地ニ於テ敷地一萬六千二百三十三坪六合四匁二才
小石川區大塚町三十五番地ノ十四號同區東青柳町二十八番地ノ一號ニ於テ新敷地二万七千二百六十四坪

二 建物

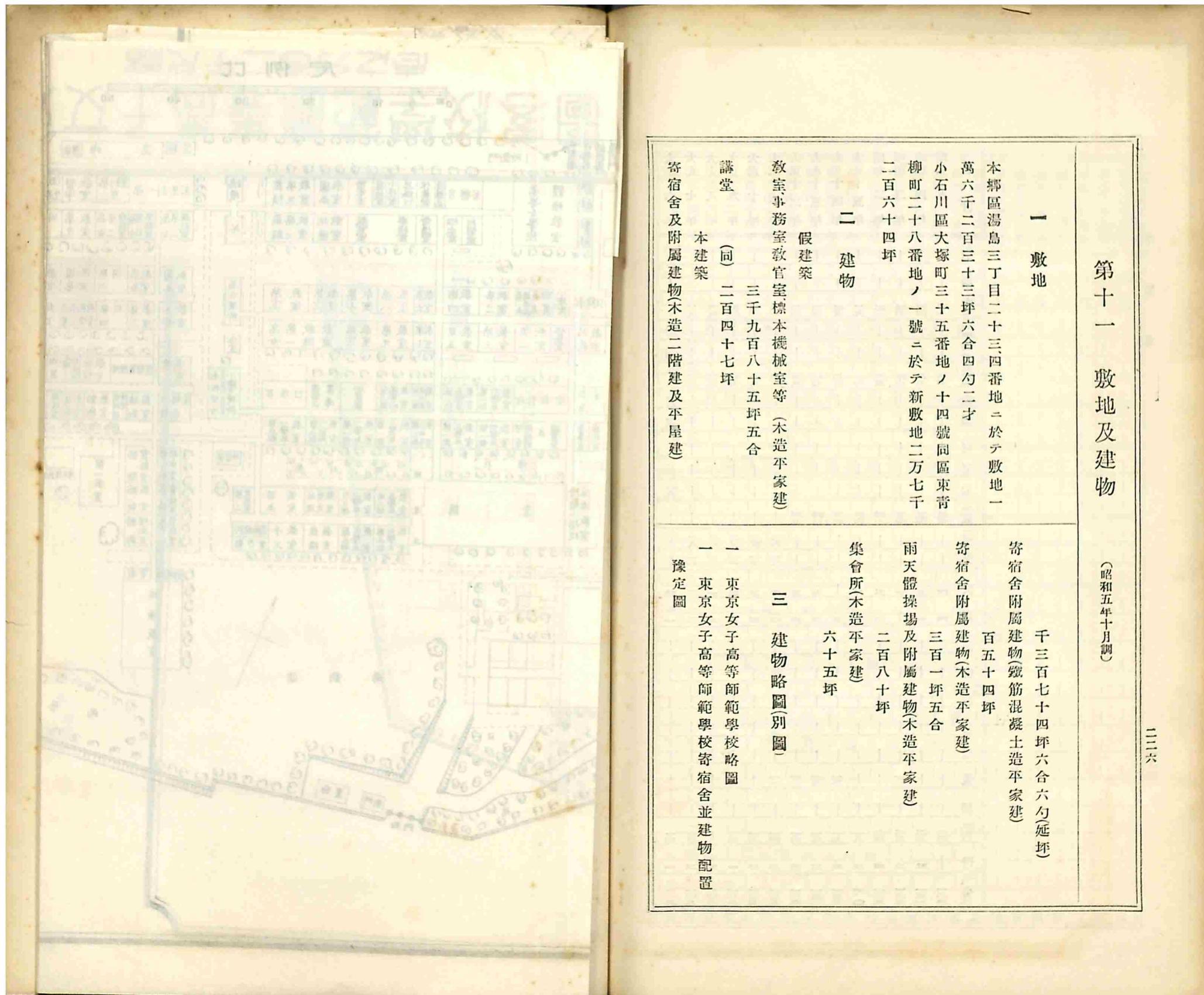
假建築

教室事務室教官室標本機械室等(木造平家建)
三千九百八十五坪五合
講堂 (同) 二百四十七坪
本建築
寄宿舍及附屬建物(木造二階建及平屋建)

三 建物略圖(別圖)

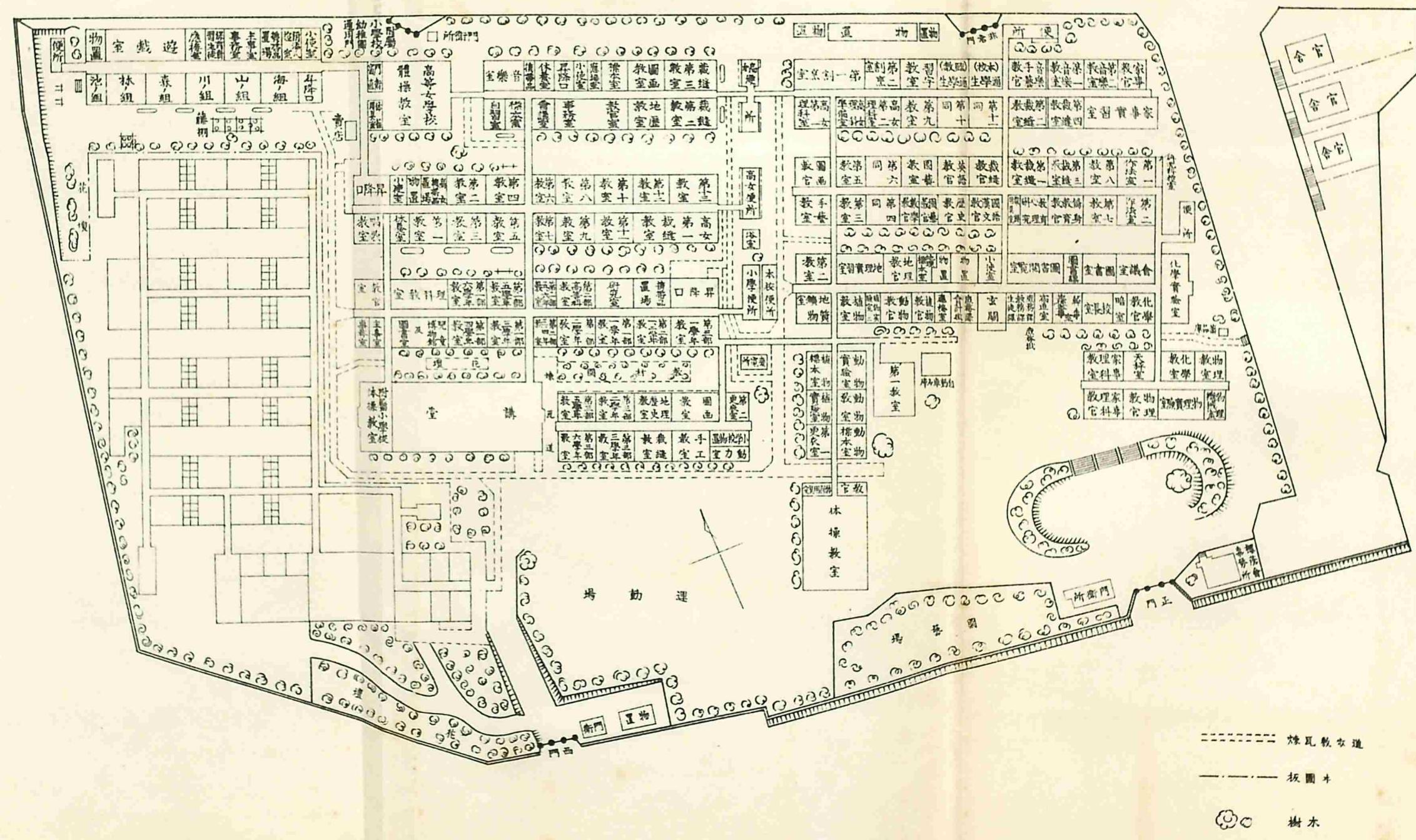
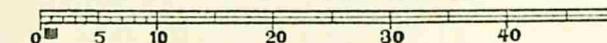
一 東京女子高等師範學校略圖
二 東京女子高等師範學校寄宿舍並建物配置
豫定圖

千三百七十四坪六合六匁(延坪)
寄宿舍附屬建物(鐵筋混凝土造平家建)
百五十四坪
寄宿舍附屬建物(木造平家建)
三百一坪五合
雨天體操場及附屬建物(木造平家建)
二百八十坪
集會所(木造平家建)
六十五坪

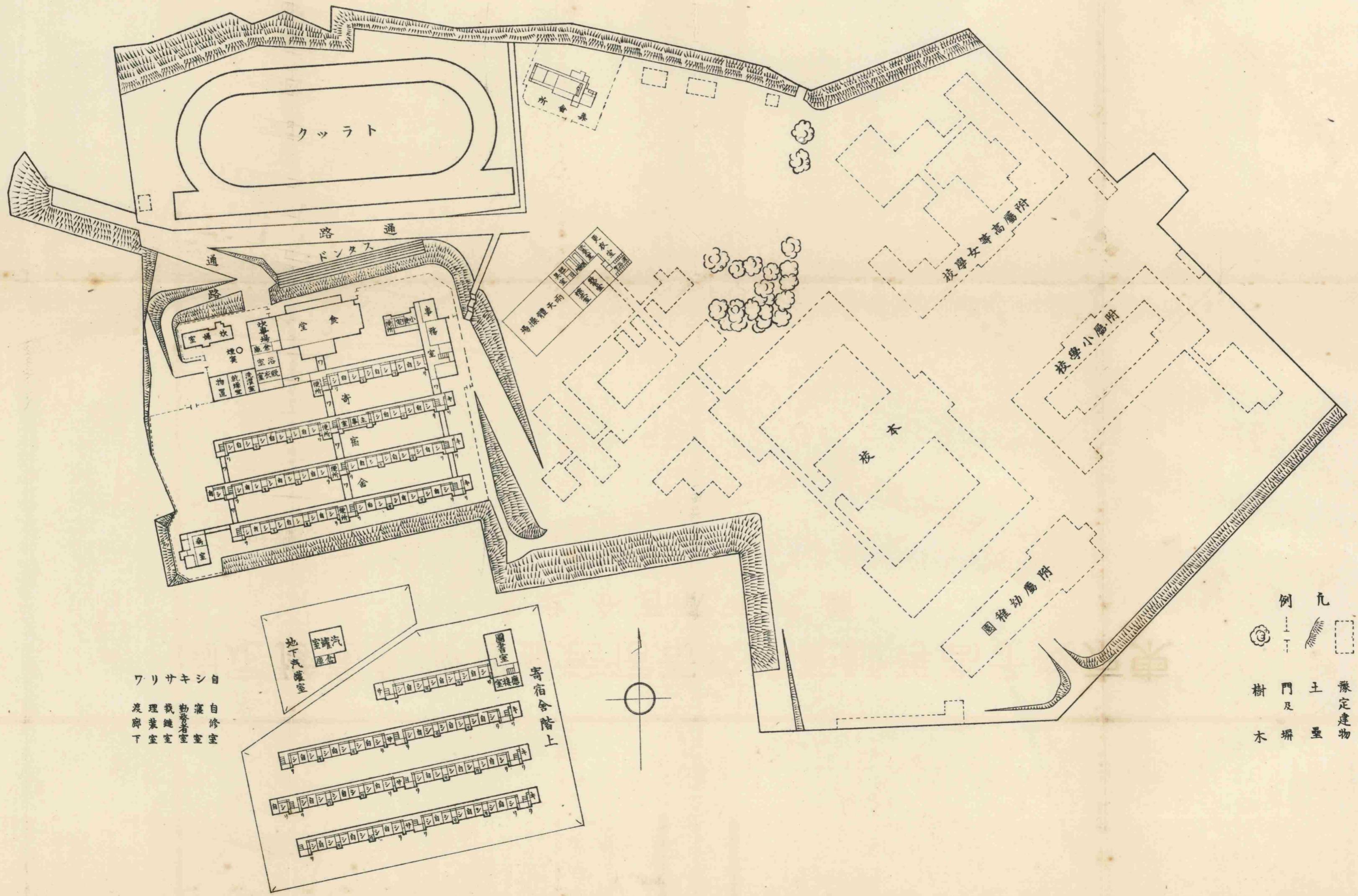


圖畧校學範師等高子女京東
壺之分百二千尺縮

尺 例



圖定豫置配物建並舍宿寄校學範師等高子女京東
壹之分百貳千尺縮



附 錄

一 如蘭會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ東京女子高等師範學校如蘭會ト稱ス
第二條 本會ハ東京女子高等師範學校ノ職員生徒及同附屬校園ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス
第六臨時教員養成所ノ職員生徒ハ之ヲ東京女子高等師範學校ノ職員生徒ト看做ス
第三條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ圖リ心身ヲ練磨シ趣味ヲ涵養シ兼テ善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス
第四條 本會ノ員ヲ分チテ左ノ二種トス
一 特別會員 職員

一 通常會員 生徒

第五條 本會ニ左ノ十五部ヲ置ク

學術部弓道部柔道部庭球部卓球部籃球部排球部陸上競技部旅行部水泳部謡曲部茶道部花道部音樂部琴曲部
前項ノ十五部中謡曲部茶道部及花道部ト音樂部及琴曲部トハ當分之ヲ各一ノ部ト看做ス
第六條 會員ハ各部ノ部員タルコトヲ得
第七條 第二章 役員
一 會長 一名
一 理事 一名
一 部長 各部ニ付一名宛

一 事務委員 五名

一 委員 各部ニ付各學年各學級生徒一名宛

第八條 會長ハ學校長ヲ推戴ス

會長ハ會務ヲ總轄ス

第九條 理事、部長及事務委員ハ特別會員中ニ

就キ會長之ヲ委嘱ス

理事ハ本會ノ常務ヲ管理シ會長事故アルト

キハ之ヲ代理ス

部長ハ各其ノ部ノ常務ヲ管理ス

事務委員ハ本會ノ庶務及會計ニ關スル常務

ヲ掌理ス

第十條 委員ハ各學級生徒ノ互選ニ基キ會長

之ヲ命ス

委員ハ其ノ部ノ常務ヲ取扱フ

第十一條 委員ノ任期ハ毎年四月ヨリ翌年三

月迄トシ毎年四月中ニ於テ之ヲ改選ス但第

一學年ニ在リテハ毎年九月中ニ於テ之ヲ選

舉スルモノトス

第三章 會計

第十二條 特別會員ハ手當月額三十圓以下ノ

囑託員及月俸三十圓以下ノ雇員ヲ除キ會費

トシテ每學年一學期毎ニ月俸百分ノ一半ニ

相當スル金額ヲ寄附ス

通常會員ハ會費トシテ每學年金五圓ヲ四月

(第六臨時教員養成所第一學年ハ五月)六月、九月、十一月及一月ノ五

回ニ分納ス

既納ノ會費ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付

セス

第十三條 本會ニ金品ノ寄附ヲ申出ツル者アルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス

第十四條 収入金ハ信用アル銀行ノ預金トシ

テ之ヲ保管ス

第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ

始リ翌年三月三十一日ニ終ル

當者ニ差出スモノトス
事務委員ハ前項ノ請求簿ヲ接受スルトキハ
直ニ購入又ハ營繕ノ手續ヲナシ請求簿ニ價
格豫算殘額等ヲ記入シタル上之ヲ物件ト共
ニ請求者ニ交付又ハ引渡スモノトス

第二十條 豫備費ヲ以テ補充スヘキ費途及豫

備費ヲ以テ支辨スヘキ費途ノ金額ハ理事ノ

意見ヲ聞キ會長之ヲ決定ス

第二十一條 理事及事務委員ハ毎年度ノ始ニ

於テ前年度ノ總決算報告ヲ調製ス

第二十二條 各年度ノ收入ニ剩餘ヲ生シタル

トキハ之ヲ翌年度ノ收入ニ繙入ル

第二十三條 會長ハ各年度末ニ於テ事務委員

中特ニ勤勞アル者ニ對シ若干金額ノ報酬ヲ

ナスコトヲ得

第四章 役員會及總會

第二十四條 會長ハ會務ニ關シ隨時役員會又

ハ總會ヲ召集ス

第二十五條 役員會ニ於テハ左ノ各號ノ事項ヲ決議ス

一 収入支出豫算

二 通常會員二十名以上ノ賛成ヲ得テ提出セル事項

三 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二十六條 總會ニ於テハ左ノ第一號ノ事項ヲ議決シ第二號以下ノ事項ノ報告ヲ受ク

一 規則ノ改正其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項

二 庶務決算報告

三 各部長ノ各部事業報告

四 第五章 附則

第二十七條 第五條第一項ノ十五部中弓道部柔道部及琴曲部ハ當分之ヲ缺キ本會諸般ノ事情ヲ顧慮シテ漸次其ノ設備ヲ完了スルモノ

ノトス

二 東京女子高等師範學校

寄宿舍生徒規約

第一章 總規

第一條 ハ私達寄宿舍生徒ハ自治ノ精神ニ基キ

ノ源泉ト致シマセウ

第二條 私達寄宿舍生徒ハ寮内ノ秩序ヲ整へ

風儀ヲ正シ且ツ衛生ニ留意シテ寄宿舍ヲ清

イ氣持ノ好イ領域ト致シマセウ

第三條 私達寄宿舍生徒ハ寮ヲ一ツノ自治體

トシテ相結ヒ互ニ融和輯睦シテ寄宿舍ヲ安

ラカナ潤ヒノアル生活境ト致シマセウ

第四條 寄宿舍ニ左ノ役員ヲ置ク

一 寄宿舍全體ニ關スルモノ

(二) 寮總代

(二) 炊事部委員

(三) 文庫部委員

(四) 購買部委員

(五) 室總代

(六) 會計部委員

(七) 運動部委員

(八) 娛樂部委員

(九) 圖藝部委員

(十) 整理部委員

第五條 寮總代ノ任務ハ左ノ通之ヲ定メル

一 生徒主事ノ指揮ニ從ツテ其ノ寮ノ常務

二 各寮ニ於ケル責任ヲ負フコト

三 其ノ寮ニ於テ隨時修養會ヲ催ス事ヲ得ル

四 取扱ヒ規約第一章ノ趣旨ヲ達成スル上

五 各寮ニ於テ隨時修養會ヲ招ク場合ニハ生徒

十一月初ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ寮總

代費ヲ受取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ

寮總代費ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

士三 諸室洗濯場ニ關スル一切ノ事務ニ當ルメルコト

第六條 烹事部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メルコト

一 食事及食堂ニ關スル一切ノ事務ニ當ルメルコト

二 各寮ノ會計部委員カラ差出シタ食費ヲ逕メテ銀行預金トスルコト但預金通帳ノ名義及保管ハ生徒主事ニ委嘱スルコト

三 月末ニ於テ炊事諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生ニ報告スルコト

四 所屬傭人ノ指導監督ニ當ルコト

五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名

第七條 文庫部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メルコト

一 文庫ノ整理、圖書ハ整理保存ニ當ルコト

二 舍生ノ意見ヲ徵シテ生徒主事指導ノ下ニ圖書ヲ購入スルコト

三 月初ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ文庫部費ヲ受取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ文庫ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

四 第二學期ノ終ニ各科三年生カラ一名ツヲ互選スルコト

第八條 購買部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メルコト

一 舍生ノ要求ニ應シ生徒主事ノ承認ヲ經テ物品ヲ購入シ之ヲ舍生ニ販賣スルコト

第十條 會計部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メルコト

一 各寮ノ室總代カラ差出シタ食費及舍費ヲ逕メ食費ハ之ヲ炊事部委員ニ差出シ舍

二 室ノ火ノ元戸締ニ就イテ責任ヲ負フコト

三 購買部ノ純益ハ役員會議ニ依リ生徒主事ノ承認ヲ得テ費用ヲ決メルコト

四 所屬傭人ノ指導監督ニ當ルコト

五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名ツヲ互選スルコト

第六條 室總代ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

一 寮總代ノ指示ニ從ツテ其ノ室ノ當務ヲ取扱ヒ寮總代ヲ助ケテ規約第一章ノ趣旨ヲ達成スル上ニ其ノ室ニ於ケル責任ヲ負フコト

二 室内ノ備品ヲ保管スルコト

三 其ノ室友ヲ代表スルコト

四 每月始室友ノ食費及舍費ヲ集メテ會計セス

一 審生ノ健康ノ向上ニ努メルコト
二 審生ノ希望ヲ微シ寮總代ト協議ノ上生
徒主事ノ承認ヲ受ケテ各寮適宜ニ次ノヤ
ウナ會ヲ催スコトヲ得ルコト
3 娛樂部費
4 國藝部費
5 炊事以外ノ石炭及木炭費
6 審總代費、傭人給料
四 舍費ニ就イテハ毎學期ノ始ニ收支ノ豫
算ヲ編成スルコト但圖書部費、娛樂部費、國
藝部費ニ就イテハ先ツ當該部ノ委員ニ於
テ其ノ原案ヲ作製スルコト
收支豫算ハ役員會テ之ヲ決議シテ生徒主
事ノ承認ヲ受ケルコト
五 每月末ニ於テ舍費ノ決算表ヲ作ツテ生
徒主事ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生
ニ報告スルコト
六 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名
ツツヲ互選スルコト
第十一條 運動部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
定メル

一 審生ノ希望ヲ微シ生徒主事ノ承認ヲ經
テ運動器具ヲ購入スルコト
2 遠足會
右ハ寄宿舍全體又ハ幾寮ガ聯合シテ開ク
コトヲ得ルコト
3 其ノ寮ノ運動器具ノ整理保管ニ當ルコ
ト
4 審生ノ希望ヲ微シ生徒主事ノ承認ヲ經
テ運動器具ヲ購入スルコト
5 月初ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ運動
部費ヲ受取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ
運動部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ
決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査
閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

六 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一
名ツツヲ互選スルコト
第十二條 娛樂部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
定メル
一 特ニ本規約第一章第三條ノ趣旨ヲ達成
スルコトニ努メルコト
二 審總代ト協議ノ上生徒主事ノ承認ヲ受
ケテ各寮適宜ニ次ノヤウナ會ヲ催スコト
ヲ得ルコト
1 茶話會
2 音樂會
3 茶ノ湯生花其ノ他ノ會
4 右ハ寄宿舍全體テ又ハ幾寮カ連合シテ開
クコトヲ得ルコト
三 其ノ寮ノ娛樂器具ノ整理保管ニ當ルコ
ト
四 審生ノ希望ヲ微シ生徒主事ノ承認ヲ經

一 娛樂器具ヲ購入スルコト
5 月初ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ娛樂
部費ヲ受取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ
娛樂部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ
決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査
閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
6 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一
名ツツヲ互選スルコト
第十三條 國藝部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
定メル
一 各寮所屬ノ庭園ヲ常ニ美シク清ク保ツ
コトニ就イテ責任ヲ負フコト
二 各寮ノ庭園ニ附屬スル器具及國藝材料
ヲ保管スルコト
三 季節ニ應シテ適當ノ國藝材料ヲ購入シ
之ヲ始末スルコト
四 月初ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ國藝

部費ヲ受取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ
園藝部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ
決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査
閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

五 第二期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名
ツツニ年生カラ二名ツツヲ互選スルコト

第十四條 整理部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
定メル

一 各寮及其ノ寮ノ掃除分擔箇所ノ整理整
頓ニ就イテ責任ヲ負フコト但其ノ場合ニ
於テ其ノ日ニ差支カアルトキニハ次ノ土
曜日朝トスル

二 各寮ヲ清潔ニスル爲左ノ通掃除ヲ行フ
オ 每朝

ロ 每週土曜日朝 大掃除

ハ 每月一回第二土曜日朝 特別大掃除

三 各寮ノ掃除器具ノ請求及保管ノ任ニ當

ルコト

四 第二期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ二名
ツツヲ互選スルコト

第三章 制裁

第十五條 寮生中規約ヲ犯シ風儀ヲ棄リ其ノ
他寮生ノ本分ニ背ク者カアルトキニハ事情
ヲ知ツテキル室友又ハ寮友カ之ニ忠告ヲ與
ヘ尙改メストキニハ室長會議ヲ開イテ穩當
ナ制裁ヲ加ヘ極力其ノ矯正ヲ圖ルコト

附 規

第十六條 本規約ノ訂正、削除、追加等ノ必要ヲ
生シタ場合ニハ役員會ノ決議ニ依リ生徒主
事ヲ經テ學校長ノ承認ヲ受ケルコト

第六臨時教員養成所一覽

第六臨時教員養成所一覽

至昭和六年

目次

第一 沿革略	一
第二 學年曆	九
第三 關係法令	一〇
一 臨時教員養成所官制	一〇
二 臨時教員養成所規程	一〇
三 臨時教員養成所卒業者服務規則	一一
四 臨時教員養成所學科名稱等	一一
五 臨時教員養成所管理者職務規程	一二
第四 規則	一二
一 第六臨時教員養成所規則	一二
二 第六臨時教員養成所生徒學資支給規程	一二
第六 職員	一六
第七 生徒	二二
一 生徒氏名	二二

第六臨時教員養成所一覽

第一 沿革略

明治三十五年三月二十七日勅令第百號ヲ以テ臨時教員養成所官制ヲ公布セラレ同月二十九日省令第八號ヲ以テ臨時教員養成所規定ヲ定メ同時ニ告示第五十八號ヲ以テ東京帝國大學外四校ニ第一ヨリ第五ニ至ル臨時教員養成所ヲ設置セラル後明治三十九年三月三十日告示第六十八號ヲ以テ同年三月三十一日限り第一第四第五ノ三臨時教員養成所ヲ廢止シ四月二日告示第八十三號ヲ以テ女子高等師範學校内ニ第六臨時教員養成所ヲ設ケ英語科ヲ置キ同月ヨリ開始セラル官制第三條ニ基キ女子高等師範學校長高嶺秀夫之ヲ管理ス是レ本所ノ起

明治三十九年 四月二十日認可ヲ得テ本所規定ヲ定ム○六月十一日板野久野外二十五名ニ對シ入學許可式ヲ舉行シ即日授業ヲ開始ス入學生徒ハ之ヲ女子高等師範學校寄宿舎ニ收容ス

明治四十年 二月補缺募集ヲ行ヒ高橋のぶ外四名ニ入學ヲ許可ス

明治四十一年 六月五日皇后陛下東京女子高等師範學校ニ行啓アラセラレタルヲ以テ本所生徒モ同時ニ課業臺覽ノ榮ヲ荷フ

明治四十二年 二月二十四日認可ヲ得テ家事

二	生徒數	三	生徒本籍府縣別
四	生徒本籍府縣學歷別	五	入學志願者及入學者本籍府縣學歷別
五	入學志願者及入學者本籍府縣學歷別	六	入學志願者及入學者學歷及卒業年次別
六	入學志願者及入學者學歷及卒業年次別	七	生徒年齡別
七	生徒年齡別	八	卒業者
第八	卒業者	九	卒業者氏名
一	卒業者氏名	十	卒業者數
二	卒業者數	十一	敷地及建物
第九	敷地及建物	十二	附錄
第六	臨時教員養成所寄宿舍生徒規約	三	第六

科規定ヲ定ム○同月二十五日文部省告示第四十號ヲ以テ明治四十二年三月三十一日限り第六臨時教員養成所英語科ヲ廢止シ別ニ家事科ヲ置キ同年四月ヨリ開始セラル○三月三十日英語科卒業證書授與式ヲ舉行ス○五月四日新帶かく外二十六名ニ入學ヲ許可シ即日授業ヲ開始ス

明治四十三年 二月二十二日管理者高嶋秀夫薨去ス○三月四日仙臺高等工業學校長中川謙二郎東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

明治四十五年 三月九日文部省令第八號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘラレタルニ依リ同三十日家事科規則ヲ改正シ生徒委託規程細則ヲ定ム○三月三十日家事科生徒新帶かく外二十五人ニ卒業證書ヲ授與ス○四月十三日生徒心得寄宿舍規則寄宿舍生徒心得ヲ

定ム○四月十五日早瀬一外十二人ニ入學ヲ許可シ之ヲ京都府立第一高等女學校ニ委託ス○同月二十日飯野千萬外八十六人ニ入學ヲ許可シ内市河ぬい外十人ヲ共立女子職業學校ニ細貝きん外十人ヲ東京裁縫女學校ニ橋本みさほ外四人ヲ和洋裁縫女學校ニ委託ス○四月當所寄宿舍ヲ牛込區揚場町二十番地ニ設ケ生徒ヲ收容ス○六月三日皇后陛下東京女子高等師範學校ニ行啓アラセラレタルニ依リ當所在京生徒一同亦講堂ニ於テ拜謁ヲ賜フ

大正二年 三月委託規程細則中ニ改正ヲ加ヘ更ニ京都府立第一高等女學校ニ十五人、東京裁縫女學校ニ十五人、共立女子職業學校ニ十五人和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス

大正三年 四月委託規程細則中ニ改正ヲ加ヘ更ニ京都府立第一高等女學校ニ十五人、東京裁縫女學校ニ十五人、共立女子職業學校ニ十五人

和洋裁縫女學校二十人ヲ委託ス○七月規則ヲ改正シ家事科ヲ分チテ第一部第二部トス

大正四年 二月委託規程細則中ニ改正ヲ加フ○三月二十七日本所生徒飯野千萬外五十四人委託生早瀬一外三十一人ニ卒業證書ヲ授與ス○四月十二日本所第一部生徒二十一人、第二部生徒二十九人及京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十一人、和洋裁縫女學校ニ生徒七人ノ入學ヲ許可ス○五月各部主任ヲ置ク○五月三十一日東京裁縫女學校委託生須賀原靜子ニ卒業證書ヲ授與ス

大正五年 二月委託規程細則ニ改正ヲ加フ○三月二十七日委託生神田操外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス○四月十一日京都府立第一部女子職業學校ニ十五人、東京裁縫女學校ニ十五人共立女子職業學校ニ十五人、和洋裁縫女學校ニ十人ノ生徒ヲ委託ス

大正六年 三月委託規程細則中ニ改正ヲ加フ○三月廿七日委託生大塚かほる外四十四人ニ卒業證書ヲ授與ス○四月二十八日京都府立第一高等女學校ニ十五人、五月七日東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ七人ノ生徒ヲ委託ス○六月十一日管理者中川謙二郎退官ニ付東京音樂學校長湯原元一東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

大正七年 二月二十日文部省令第二號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘ同日告示第二百七十八號ヲ以テ第六臨時教員養成所ニ於ケル家事科ヲ家事裁縫科體操家事科トセラレタルニ依リ當所ニ於ケル家事科第一部第二部ヲ改メテ家事裁縫科修業年限三箇年體操家事科(修業年限二箇年)トシ同時ニ生徒ノ入學シ得ル年齢最低滿十七年ヲ滿十六年ニ改ム○二

月二十七日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇三月二十七日本所生徒石川ミサホ外四十九人委託生長谷波幾美子外三十二人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二十三日家事裁縫科生徒トシテ伊藤静枝外三十人、體操家事科生徒トシテ石井キクノ外二十九人ノ入學ヲ許シ同時ニ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校、共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ三十人ノ生徒ヲ委託ス

大正八年 三月十三日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇三月廿七日委託生石川セツ外四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二十五日家事裁縫科生徒トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校、共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ十八人ヲ委託ス

大正九年 三月二十七日體操家事科生徒石井キクノ外二十八人、委託生稻田サダヲ外四十一

人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇五月十一日體操家事科生徒トシテ伊藤マサイ外二十九人家事裁縫科委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ十人ノ入學ヲ許ス

大正十年 三月十六日許可ヲ得テ規則ニ改正ヲ加ヘ從來本所ニ於テ養成セシ家事裁縫科ハ一時之ヲ中止シ代フルニ理科家事科ヲ以テシ同ニ生徒ヲ募集ス〇三月二十七日家事裁縫科生徒伊藤静枝外二十七人委託生伊藤静子外四十四人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月四日委託生徒トシテ飯川鐵外二十九人家事裁縫科委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス〇十一月九日管理者湯原

元一東京高等學校長ニ轉任セラル松本高等學校長茨木清次郎東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

大正十一年 三月二十七日體操家事科生徒伊藤マサイ外二十八人家事裁縫科委託生飯田美枝外四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十日臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘ告示第三百四十五號ヲ以テ當所ニ國語漢文科及理科ヲ增置シ同年四月ヨリ開始セラル〇同月十一日委託生細則中ニ改正ヲ加ヘ告示第三百四十五號ヲ以テ當所ニ國語漢文科及理科ヲ増置シ同年四月ヨリ開始セラル〇五月四日家事裁縫科ノ委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇同月三十日規則中改正ノ件認可セラル同時ニ學資支給規程制定ノ件認可セラル〇五月四日家事裁縫科ノ委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校及共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス〇五月十日本所體操家事科生徒トシテ蒲木フミ外三十人ニ入學ヲ許可ス〇五月十八日國語漢文科生徒トシテ石

子師範學校、東京高等師範學校、帝國女子專門學校等ノ一部ニ假教場ヲ設ケ授業ヲ開始ス
大正十三年 三月二十日舊校舍跡ニ新築中ノ東京女子高等師範學校假校舍落成セシニ付同校ト共ニ移轉復歸ス ○ 三月二十七日理科家科飯川鐵外二十四人、體操家事科蒲木フミ外二十九人、國語漢文科石井徳外四十人理科石田ゆり外二十五人及家事裁縫科委託生太田定子外四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 三月二十九日生徒委託規程細則中改正ノ件認可セラル ○ 四月二十八日國語漢文科石川登美代外四十人、體操家事科池田富外三十人理科家事科今澤きくよ外二十四人ニ入學ヲ許ス ○ 五月三日家事裁縫科委託生トシテ石川千代子外一人ヲ京都府立第一高等女學校ニ、伊崎タニ外一人ヲ東京女子専門學校ニ、橋本くに外一人ヲ共立女子職業學校ニ、大石富貴外七人ヲ和洋裁縫女學

校ニ、加藤睦子外四人ヲ女子美術學校ニ、濱岡雪外二人ヲ戸板裁縫女學校ニ委託ス ○ 十月二十七日皇后陛下東京女子高等師範學校へ行啓アラセラレ當所ヲモ御巡覽アラセラル
大正十四年 三月十一日文部省告示第百十四號ヲ以テ本所ニ歴史地理科ヲ増置シ大正十四年四月ヨリ開始セラル ○ 三月十八日歴史地理科設置ノ爲規則中改正ノ件認可セラル ○ 三月二十七日家事裁縫科委託生冲森美香外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 四月十一日歴史地理科生徒トシテ伊藤富美子外三十四人ニ入學ヲ許可ス ○ 十一月二十九日東京女子高等師範學校開校五十年祝賀記念式舉行ニ付皇后陛下行啓アラセラル 本所生徒亦其ノ式ニ列ス
大正十五年 三月十五日家事裁縫科委託生細則中ニ改正ヲ加フ ○ 同日體操家事科生徒池田富外三十人、國語漢文科生徒石川登美代外四十人

一人、家事裁縫科委託生原田恒子外五十人ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 三月三十日浦上チエコ外九人ヲ大正十四年度東京女子専門學校外四校委託生トシテ選抜ス ○ 四月二十日規則中改正ノ件認可セラル本改正ニ依リ體操家事科、國語漢文科共ニ修業年限二箇年ナリシヲ延ヘテ三箇年トシ入學者ノ選抜ハ試験ニ據ルコトナル ○ 四月十四日生徒學資支給規程中ニ改正ヲ加フ ○ 四月二十八日國語漢文科生徒トシテ今村フミ外三十四人體操家事科生徒トシテ蒲木ウタ外二十九人ニ入學ヲ許可シ五月三日授業ヲ開始ス ○ 七月二十六日ヨリ二十日間二箇年程度ノ卒業者學力補充ニ關スル講習會ヲ開ク
昭和二年 二月二十八日管理者茨木清次郎浦和高等學校長ニ任セラル浦和高等學校長吉岡郷甫東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス ○ 三月二十五日理科家事科生徒井口

アイ外二十二人歴史地理科生徒伊藤富美子外三十四人家事裁縫科委託生石川千代子外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 三月三十日規則中ニ改正ヲ加ヘ歴史地理科ノ修業年限ヲ延ヘテ三箇年トシテ理科家事科ノ選抜試験科目ヲ定ム ○ 四月二十七日理科家事科生徒トシテ板橋美代外二十人、歴史地理科生徒トシテ阿部とし外二十四人ニ入學ヲ許可ス ○ 五月十日歴史地理科生徒小木曾八千代ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 七月二十六日ヨリ十日間卒業生ノタメ學力補充講習會ヲ開ク ○ 十一月一日本所規則ヲ改正シ同時ニ本所規則施行細則ヲ制定ス
昭和三年 三月二十五日家事裁縫科委託生加藤やちよ外七人ニ卒業證書ヲ授與ス家事裁縫科委託生ハ本年ヲ以テ全部卒業セリ ○ 七月二十六日ヨリ十日間中等教員ノ爲歴史地理及家事ノ講習會ヲ開ク

昭和四年 三月二十五日國語漢文科小豆澤哲
子外三十四人體操家事科秋田トク外二十六人
ニ卒業證書ヲ授與ス ○ 四月三十日體操家事科
生徒トシテ赤倉光外二十八人ニ入學ヲ許可ス
○ 七月二十二日ヨリ十日間中等教員ノ爲理科
及體操ノ講習會ヲ開ク

昭和五年 三月二十七日皇后陛下東京女子高
等師範學校へ行啓アラセラレ當所ヲモ御巡覽
アラセラル ○ 三月二十八日理科家事科板橋美
代外十九人歴史地理科阿部とし外二十四人ニ
卒業證書ヲ授與ス ○ 四月三十日理科家事科生
徒トシテ雨宮止女子外十九人歴史地理科生徒
トシテ明石さき外十九人ニ入學ヲ許可ス ○ 七
月二十二日ヨリ十日間中等教員ノ爲體操及家
事ノ講習會ヲ開ク

第二 學年曆

東京女子高等師範學校學年曆ヲ適用又ハ準用
ス

第三 關係法令

一 臨時教員養成所官制

(明治三十五年三月二十七日勅令第百
リ昭和四年第六十号マテ屢次改正)

第一條 臨時教員養成所ハ師範學校、中學校及
高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所
トス
第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定ス
ル帝國大學高等師範學校及直轄諸學校内ニ
之ヲ置ク

第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長
高等師範學校長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ
管理セシム

第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク
教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ

定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル
書記ハ制任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ
定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ嘱託シ授業
ヲ擔任セシムルコトヲ得
第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之
ヲ定ム

附 則

本令ハ明治三十五午四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 臨時教員養成所規程

(明治三十五年三月二十九日文部省令
正十一年第三號ヨリ大
正十一年第六號マテ屢次改正)

第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語
科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、體操

家事、裁縫、國語、應用理科、手藝、圖畫、體操トス
第七條ノ三 體操家事科ノ學科目ハ修身、教育
家事、體操理科、國語、音樂トス

第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身、教育
理科、家事、數學、體操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ五 歷史地理科ノ學科目ハ修身、教育
學動物植物生理及衛生、礦物及地質、體操英語
歷史、地理法制及經濟、英語、體操隨意科目トス

第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌
(隨意科目)トス

第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身、教育、體操
柔道又ハ劍道、生理及衛生、英語隨意科目トス

第八條 各學科ノ修業年限及各學科目ノ每週
教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ認可

ヲ受クヘシ

第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ得

第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十

一日ニ終ル學年ハ分チテ三學期トシ第一學

期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第

二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

トシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十

一日マテトス

休業日ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四箇年ノ高等

女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ但シ中

學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限り

時宜ニヨリ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十一條ノ二 管理者ニ於テ特別ノ必要アリ

ト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當

分ノ内家事裁縫科ニ限り其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試験検定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ得

前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ

第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

本令ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際第十一條ノ二ノ規定ニ依リ現ニ其ノ教育ヲ委託セラレタル家事科生徒ハ之ヲ家事裁縫科ノ生徒ト看做ス

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

一 第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者
二 第十五條但書ニ依リ退學シタル者
附 則

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十條 刪除

第二十一條 左ノ各號ニ該當スル者ハ在學中

補給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣

ハ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ其ノ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

四 臨時教員養成所學科名稱等

女子高等師範學校卒業者服務規則(大正十年四月十九號)參照

第五條 名稱

第六 臨時教員養成所

(東京女子高等師範學校內)

學科

家事裁縫科 體操家事科 理科家事科
國語漢文科 理科 歷史地理科

五 臨時教員養成所管理者職務規程

(明治三十五年四月一日
寅人申第二百五十三號)

臨時教員養成所管理者職務規程ハ當該學校長ノ職務規程ヲ準用ス

第四規則

一 第六臨時教員養成所規則

第一條 本所ニ家事裁縫科、體操家事科、理科家事科、國語漢文科、理科及歴史地理科ヲ置ク
第二條 家事裁縫科、體操家事科、理科家事科、國語漢文科、歴史地理科ノ修業年限ハ三箇年、理科ノ修業年限ハ二箇年トス
第三條 各學科生徒ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム
第四條 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、國體操、家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、國語、音樂、英語隨意科目トス
第五條 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、國語、理科圖畫、體操手藝トス
第六條 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、國語隨意科目トス
第七條 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事數學、體操、英語隨意科目トス

教育	修業	學科		
		第一學年	第二學年	第三學年
二教育ノ原理	二實踐倫理	時數 教授度	時數 教授度	時數 教授度
二教育ノ原理	二實踐倫理	二同上	一實踐倫理	一本邦法則
二教育法今實習	二教育法今實習			

規則

第十條 歷史地理科ノ各學年ニ於ケル各學科

週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

目人每遇發授時數及程度八左表二依此

上

目ノ毎週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

學科 年	第一學年			第二學年			第三學年		
	時數 教授時數	程度	時數 教授時數	程度	時數 教授時數	程度	時數 教授時數	程度	時數 教授時數
修身	一實踐倫理	二同上	一實踐倫理	二同上	一實踐倫理	二同上	一實踐倫理	二同上	一實踐倫理
教育	二教育ノ原理	二同上、教授法	二教育ノ原理	二同上、教授法	二教育ノ原理	二同上、教授法	二教育ノ原理	二同上、教授法	二教育ノ原理
歴史	八本邦史、東洋史	八同上	八本邦史、東洋史	八同上	八本邦史、東洋史	八同上	八本邦史、東洋史	八同上	八本邦史、東洋史
地理	八通論、地誌	八同上	八通論、地誌	八同上	八通論、地誌	八同上	八通論、地誌	八同上	八通論、地誌
英語	三講讀	三同上	三講讀	三同上	三講讀	三同上	三講讀	三同上	三講讀
經濟及 法律	一	一大意及經濟	一	一大意及經濟	一	一大意及經濟	一	一大意及經濟	一
體操	三體操、教練	三同上	三體操、教練	三同上	三體操、教練	三同上	三體操、教練	三同上	三體操、教練
國語及 漢文	三國語講讀	三同上	三國語講讀	三同上	三國語講讀	三同上	三國語講讀	三同上	三國語講讀
合計	二八	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九

第十一條 學年、學期及休業日ハ東京女子高等師範學校規則第一章第三節ノ各條ニ依ル

第十二條 本所ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ

一八

一 身體健全品行方正ニシテ教員タルニ適

當ナリト認ムル者

二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但、二又ハ(二)ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於テ本所ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得

(一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同

者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者

(二) 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗

檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

(四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験

ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第十三條又ハ第十四條ニ掲記セル書類ノ外本屬長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

第十六條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一一ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス

一 身體虛弱ナル者

二 精神機能ニ障碍アル者

三 急治ノ見込ナキ重症トラホームヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得サル視力障碍ヲ有スル者

四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者

五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル碍ヲ有スル者

六 高度ノ脊柱彎曲、著シキ畸形又ハ運動障

七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者

検定ニ合格シタル者

三年齢十六年以上二十五年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者

第十三條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス

第十四條 出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者ノ入學志願票履歷書、學業成績調査人物考定書、身體檢查書、戶籍謄本及寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘル様式ニ依ル入學志願票履歷書、身體檢查書、戶籍謄本及寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第十五條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務

シ

九 重症心臓疾患ヲ患フル者
 二 悪性腫瘍腎臓疾患糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者

第十七條 入學志願者ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ入學候補者ヲ選抜ス
 選拔試験ノ科目及其ノ程度期日場所募集人員其ノ他必要ナル事項ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス
 第十八條 入學候補者ニ對シ身體検査及口頭試問ヲ行ヒ入學者ヲ選抜ス
 第十九條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓書ヲ差出スヘシ
 第二十條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ

保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ
 第二十一條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ
 代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ本所ノ要求スル場合ニ於テ保證人ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
 代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
 第二十二條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
 第二十三條 生徒ニハ人員ヲ限り學資トシテ一箇年金參百圓ヲ給與ス

二十四條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但管理者ニ於テ特別ノ事由アリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 第二十五條 左ノ各號ノ一二該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス
 一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
 二 學業進マシテ成業ノ目途立タサル者
 三 品行修ラサル者
 四 本所教育ノ趣旨ニ適セサル者

第二十六條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給セラレタル學資ヲ償還スヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第二十七條 生徒ハ管理者ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス

第二十八條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス
 第二十九條 各學科目ハ之ヲ一ノ評點科目トス但毎週教授時數ヲ顧慮シ之ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツコトアルヘシ
 各評點科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高トス
 第三十條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ平素ノ學業ノ成績又ハ試験及平素ノ學業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム
 第三十一條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ各學期成績評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム
 第三十二條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成績評點ノ和ヲ三除卒業年限二箇年ノ者ニ在リテハ二除シテ之ヲ定ム
 第三十三條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成績評點全課程ノ卒業ハ卒業成績評點ニ依リ之ヲ認定ス

第三十四條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテ

ハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ樣式ハ左ノ通之ヲ定ム

所印	卒業證書	族籍	何	年月日生
右者本所何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ 之ヲ證ス				
年月日	第六臨時教員養成所管理者	東京女子高等師範學校長位勤學位爵何某		
番號				

樣式ハ左ノ通之ヲ定ム

所印	卒業證書	族籍	何	年月日生
右者本所何科何又ハ何々ヲ缺クノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ 因テ茲ニ之ヲ證ス				
年月日	第六臨時教員養成所管理者	東京女子高等師範學校長位勤學位爵何某		
番號				

第三十六條 本規則ハ昭和二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 第六臨時教員養成所生徒學資支給規程

第一條 本所生徒中若干人ニ對シ給費生ヲ命シ之ニ學資トシテ一箇年金參百圓ヲ支給ス

第三十五條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生徒ニハ其ノ學業成績ヲ顧慮シ規定ノ學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ

前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ

第二條 學資ハ給費生ヲ命シタル月ヨリ毎月

分割支給ス但月ノ十六日以後ニ於テ給費命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限り給費ハ半額トス特別ノ事由アル場合ニハ經伺ノ上給費命令ノ時日ニ係ラス其ノ年額ノ全部又ハ一部ヲ支給スルコトアルヘシ

第三條 學資ハ其ノ月二十三日(休業日ナレハ繰下ク)ニ之ヲ支給ス但七月ニ在リテハ五日ニ之ヲ支給ス

第四條 學資ノ支給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル者ニハ其ノ期間學資ノ支給ヲ中止ス但其ノ月ニ於ケル學資ノ支給ハ日割計算トス

中途退學者ノ學資支給ニ就テハ前項但書ニ依ル

得

一本所生徒ハ卒業ノ後國家教育ノ重任ニ當ルヘキ者ナリ故ニ特ニ教育ニ關スル勅語ノ大旨ヲ奉體シ德ヲ修メ業ヲ勵ミ以テ其ノ本分ヲ盡サンコトヲ期スヘシ
一常ニ貞淑勤儉ヲ旨トシ聊カモ虛偽浮薄ノ言行ヲナス可カラス言ハ衷心ヨリ發シ行ハ誠意ヨリ出テ女子ノ師表タルヘキ德操ヲ備ヘシコトヲ務ムヘシ

三 第六臨時教員養成所生徒心

第五 細則

二四

一 第六臨時教員養成所規則施行細則

行細則

第一條 東京女子高等師範學校規則施行細則
第四條乃至第十一條ハ之ヲ本所ニ適用ス

第二條 家事裁縫科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年	修	
					裁縫	身育
理	科	一	一	一	四	二
國	語	一	一	一	四	二
體	操	一	一	一	四	三
英	計	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
數		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
家	學	一	二	二	一	一
生	事	一	二	二	一	一
理	育	一	二	二	一	一
及	修	一	二	二	一	一
化	身	一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
動		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛		一	二	二	一	一
生		一	二	二	一	一
理		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
物		一	二	二	一	一
及		一	二	二	一	一
衛</td						

		第七條 歷史地理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル					
		英語	體操	生理及衛生	地質及礦物	植物	動物
計		(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
地	理	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
歷	史	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
教	育	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
修	身	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
第一學年		第二學年		第三學年			

		第八條 東京女子高等師範學校規則施行細則					
		第十五條乃至第二十五條ハ本所ニ適用又ハ	準用ス	東京女子高等師範學校寄宿舍規程ハ之ヲ本所	寄宿舍ニ適用又ハ準用ス	東京女子高等師範學校生徒心得細則ハ之ヲ本所	東京女子高等師範學校文書處理規程ハ之ヲ本所
二	寄宿舍規程	二	二	二	二	二	二
三	生徒心得細則	三	三	三	三	三	三
四	職員服務規程	四	四	四	四	四	四

細則	東京女子高等師範學校職員服務規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス	五 事務分掌規程	東京女子高等師範學校校務分掌規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス	六 文書處理規程	東京女子高等師範學校文書處理規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス	七 物品會計規程細則	東京女子高等師範學校物品會計規程細則ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス	八 非常心得	東京女子高等師範學校非常心得ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス
----	-------------------------------	----------	-------------------------------	----------	-------------------------------	------------	---------------------------------	--------	-----------------------------

第六 職員

(昭和五年十月調)

第七生徒

(時和五年五月未訛)

(氏名ハ五十音順トス氏名ノ下段ハ本籍府縣名及出身學校名略稱ヲ示スイ
略稱ハ師範學校ヲ「師」、女子師範學校ヲ「女師」トシ高等女學校ヲ省ク)

植物	東京文理科大學教授	矢部吉禎	東京
法制經濟	東京工業大學助教授	金子彥二郎	新潟
家事	東京女子高等師範學校助教論	黑岩矩	東京
動物	第一高等學校教授	菱山衡	東京
歷史	陸軍教授	平東京	金子
體操	教務囑託	誠	高橋堅青森
主 任		弘田晴江	高知
學科主任	教授	竹島茂郎	三重
理科家事科第一學年	教授	平島權藏	東京
歷史地理科第一學年	講師	富士德治郎	奈良
體操家事科第二學年	講師	由井泰一	東京
事務分擔			
庶務課			
庶務掛			
生徒課			
勤務課			
書記(兼)			
富岡龜門			
東京			

庶務課會計掛勤務	書記(兼)	西川	真澄	高知
生徒課勤務	書記	蒲田	新太郎	京都
圖書課勤務	書記(兼)	細井	專山	形
庶務課庶務掛、教務課	囑託	岩崎	辰治	富山
庶務課庶務掛、教務課	囑託	朽木	鉄吉	東京
生徒課勤務	囑託	金井	真八郎	群馬
庶務課會計掛勤務	囑託	吉田	義治	東京
生徒課勤務	囑託	西堂	信一	埼玉
庶務課會計掛勤務	囑託	野村	正實	山口
庶務課會計掛勤務	囑託	岡崎	松之助	北海道
庶務課會計掛勤務	囑託	寺田	熊助	鹿兒島
寄宿舍勤務	囑託	鶴尾	幾子	富山
	囑託	履山	よし	長野
醫務囑託	囑託	本間	辰藏	新潟

二 生徒數									
東 關 千 埼 群 棣 茨 菓 玉 馬 木 城				北 東 區 福 山 秋 宮 岩 青 島 形 田 城 手 森				學 科	
				府 道 県				體操	家事
生 徒	三	二	一	一	一	家理 事科	第一 學年	理 科	家 事 科
	一一一	一一一	一			地歷 理科	第二 學年	二〇	
二二			四一	一一一	一	家體 事科	第二學年	二八	
三六一	一一三	四一	一一二	二		計		二〇	計
三 生徒本籍府縣別									
區海東	區山東	區陸北	區	府 縣				學 科	
三愛靜	岐長山	福石富新		神東	奈	京		歷史	
重知岡	阜野梨	井川山渴		奈	川	京		地理	
二	一二	一	二二	家理 事科	第一 學年			科	
一二	一	一	一二	地歷 理科	第二 學年			第一 學年	
一	一	一二	四	家體 事科	第二學年			第二 學年	
一一四	一四	一二	三四	計					計
			三七					六八	

明	荒	井	大	大	明	本	矢
石	木	木	橋	橋	石	島	崎
さき	よ	よ	ミツ	ミツ	さき	惠	邊
福	ね	ね	エ	エ	福	代	い
和	和	和	桃	枝	和	埼	し
み	み	み	シ	チ	み	榮	し
重	江	江	光	子	重	山	靜
子	河	河	ナ	ナ	子	岡	岡
富	順	順	シヅ	シヅ	富	梨	玉
城	千	三	エ	エ	城	岡	下
葉	群	見	芳	芳	叶	岡	山
馬	諍	見	子	子	馬	知	久
岡	兵	木	福	福	岡	岡	喜
庫	宮	木	岡	岡	庫	梨	利
城	木	岡	山	山	城	岡	喜
櫻	安	藤	柳	山	市	嘉	
滑	富	赤	柳	真	立	立	
安	女	女	河	市	古	古	
藤	青	青	梨	立	第	屋	
富	木	木	河	第三	屋	穗	
女	女	女	梨	第三	屋	穗	
學	學	學	岡	第八	屋	穗	
同	同	同	山	東京	屋	穗	
東京	第八	第八	師	第八	屋	穗	
東京	河	河	士	河	屋	穗	
第八	梨	梨	穩	梨	屋	穗	
河	岡	岡	院	岡	屋	穗	
梨	士	士	山	士	屋	穗	
岡	穩	穩	師	穩	屋	穗	
屋	院	院	師	院	屋	穗	
田	穗	穗	穗	穗	屋	穗	

永松春子熊本
古谷ミサカ山口
村木キミ神奈川
横濱第一

區	北	東	北	府		四	區	國	中	區	近
山	秋	宮	岩	青		德	山	廣	岡	鳥	和
形	田	城	手	森	道	島	口	島	山	根	奈
					範師	家理					兵
一		一	女	高	事	科科					京
			他	其							滋
			範師		地歷						歌
			女	高	理						
			他	其	科史						
一			範師		家體						
一		一	女	高	事						
			他	其	科操						
一一一	二				計						
東	關			府			二	二	一	一	一
千	埼	群	栢	茨	福		沖	區	州	九	區
葉	玉	馬	木	城	島		繩	宮	大	熊	國
						合		鹿	長	佐	高
						計		兒	福	愛	愛
								島	崎	分	香
								本	崎	賀	川
											知媛
三	二					範師	家理				
						女	事				
						他	科科				
						範師	地歷				
						女	理				
						他	科史				
						範師	家體				
						女	事				
						他	科操				
二	二	四				計					
三	六	一	三	四			六八				

入學志願者 ノ百分比ス	計		科地歴		科家理		學科種		州九	
	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	事科	入學者	入學志願者	別業次	卒業校	宮崎大熊長佐賀
	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者				年	校	
○一〇〇	一	一	一	一				五和昭	第一師範	一一
西	一	二	一	二				四和昭	第二學校	一一
五	一	二	一	二				三和昭	前以二和昭計	一一
元	五	七	八	九	二	兜		五和昭	高修業年限	一一二二
三	七	九	二	六	五	二		四和昭	高修業年限	一〇〇
○	八	一	七	七	一	一		三和昭	高修業年限	一〇〇
○	四	一	三	一	一	一		前以二和昭計	高修業年限	一〇〇
元	云	表	二	古	六	空		五和昭	高等女學校	計
三	七	元	五	玉	七	二		四和昭	高等女學校	冲繩
毛	四	七	二	三	二	四		三和昭	高等女學校	鹿児島
○	一	一	一	一	一	一		前以二和昭計	高等女學校	計
三	三	三	八	三	四	四		五和昭	合計	小
三	六	七	八	五	三	六		四和昭	合計	二
二	六	三	三	空	三	空		三和昭	合計	一
三	二	三	四	二	七	五		前以二和昭計	合計	一
二	二	二	二	九	一	一		他ノ其	合計	二
六	九	七	五	空	二	空		計	總	〇〇〇
三	一	八	二	六	二	二				〇〇〇
三	四	八	二	三	二	六				〇〇〇

六 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別

(昭和五年度)

山東	區陸北		區東關		區北東		府縣	
	長野	福井石川富山新潟	神奈川東京千葉埼玉群馬栃木茨城	福島秋田岩手青森	北海道	範師女高其他計	入學志願者	理科家
	山梨	一	三四七四二三六	一	一	一	一	一
四四	二一二七	一	一	一	一	一	一	一
四五	二二二七	四四七四二三六	一	一	一	一	一	一
一二	一	二二三	一	一	一	一	一	一
一二	一	二二三	一	一	一	一	一	一
六二	一	一三七四二一五	二二一	二二一	一	一	一	一
六二	一	三四七四三二六	二二二	二二二	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一
二六	三三三九	七八四八五五三	三五一三五二	三五一三五二	二	二	二	二
一三	〇〇二〇	三四一四一	〇〇〇	〇〇〇	一	一	一	一
一〇〇	〇〇七〇	三四七五二〇	三〇三〇	三〇三〇	三	三	三	三
福岡	區國四	區國中	區畿近	區海東	府縣	範師女高其他計	入學志願者	理科家
	高愛知媛川島	山廣岡島鳥取	和奈良兵庫大阪都寶	三愛靜岡	岐阜			
二	二一	一	一	一	二五	一	一	一
二	二一	一	一	一	二五	一	一	一
三	一	一	一	一	二	一	一	一
七	二二二	二四一	三一	一六	一六	一	一	一
七	二二一	二四一	三一	一六	一六	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一
七	二二二	二四一	三一	一六	一六	一	一	一
九	四二一	二五	四一	一三	二	二	二	二
二	〇〇〇	二二〇	一〇〇	一〇〇	一四	一四	一四	一四
三	〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三	三	三	三

三六

七 生徒年齢別

歴史地理科	第一學年	學科		學年
		第一學年	最高年	
	二〇・七	一九・一月	最高年	
	一六・三	一六・二月	低	
	一七・九	一七・三月	平均	

體操家事科	第二學年	學科		學年
		第二學年	最高年	
	二〇・四月	二〇・高年		
	一七・一月	一七・低		
	一八・六月	一八・平均		

第八 卒業者

一 卒業者氏名

(五十音順、氏名ノ上段ニ舊姓ヲ記載セルモノ又ハ下段ハ本籍府縣名ヲ示ス)
* 符付セルモノハ死亡者ヲ示シ氏名ノ下段ハ本籍セルモノハ結婚

野 大 高 石 里 茜 牧 栗	見 田 野 原
* 明治四十二年三月 英語科卒業(二十六人)	
田 菅 佐 小 児 櫛 金 大 大 井 池 稲 板	中 原 藤 泉 山 山 田 森 場 熊 谷 上 過 田 見 野
ヒ セ の ヤ ま ち よ そ ひ 男 く し み き 久	ア ク フ ヨ う 子 も つ と し 勇 ら づ さ 孝 よ 野
新 宮 宮 愛 荘 岐 宮 宮 千 群 福 荘 荘 荘 岡	鴻 城 城 煙 城 阜 城 城 葉 馬 井 城 城 山
黒 舟 坂 村 大 永 早 清 大 田 志	住 山 井 松 大 和 田 田 川 水 島 島 田
明治四十五年三月 家事科卒業(二十六人)	* * *
加 上 遠 藤 大 塚 波 三 村 真 藤 早 成 成 富 富 都	大 塚 波 三 村 真 藤 早 成 成 富 富 都
賤 賤 野 大 塚 過 宅 上 山 田 田 田 永 田 留	大 塚 波 三 村 真 藤 早 成 成 富 富 都
子 田 田 す た ツ ル ノ 多 け ン ナ よ	大 塚 波 三 村 真 藤 早 成 成 富 富 都
三 英 新 静 兵 東 宮 廣 廣 東 北 大 神 奈 川	重 城 鴻 関 庫 京 城 島 島 京 分
澤 高 熊 前 麻 松 檀 新 上 廣 栗 権	橋 田 田 生 村 带 野 本 川 本 名
原 橋 野 繁 伸 中 長 戸 積 逢 杉 白 小 小 小 小	兒 藤 田 本 口 澤 野 村 富 田 田 藤 中 田 林 林 島 又
ふ や 千 テ は カ さ き ふ か ス カ 韶 イ あ づ	み い 枝 イ 鶴 ま ょ め う よ く マ ツ 江 ク 子 文
三 宮 高 福 山 静 愛 兵 千 石 愛 国 檀 新 新 群 東	重 城 知 島 形 国 煙 庫 葉 川 知 山 木 鴻 馬 京

京都府立第一高等女学校委託生	細土曾陶澤柿尾尼 貝井根山村本中 キ雪カズン野エ子榮 静香新東東山千 岡川湯京京形葉	山八三松林早長中寺坂小 木上原瀬町村尾巻山内 隆靜ハロたスシ玄富ナ春 枝枝セネカ一エエン子ス枝 和京富愛岡香香三愛新岡 和歌山都山知山川重知湯山
京都府立第一高等女学校委託生	和洋裁縫女学校委託生 頬賀原静子 新潟	和山道増松前丹菖茨市 田崎又田永原羽蒲原家 レ靜ツ春ヨツ富ハキハ ツ枝ネ子ノネ貴エミヒ 茨長新富宮大柳山東佐新樹 城野湯山城分木口京賀湯木
京都府立第一高等女学校委託生	大正四年五月 東京裁縫女学校委託生 頬賀原静子 新潟	共立女子職業學校委託生 和山道増松前丹菖茨市 田崎又田永原羽蒲原家 レ靜ツ春ヨツ富ハキハ ツ枝ネ子ノネ貴エミヒ 茨長新富宮大柳山東佐新樹 城野湯山城分木口京賀湯木
京都府立第一高等女学校委託生	大正五年三月 東京裁縫女学校委託生 アスゼハツはんナ生 岩波東宮手草京峰	吉吉的前松藤藏木神上植井浅 田見場田浦網内田坂木上尾 けマサノシ多計代文ウ操子子代 岩波東宮手草京峰 京德德香兵岡青京島高兵富 都島島川庫山森都取知庫山

近田中
肥藤瀧野渡結保山宮松
邊城田口原本
のサ富シマイト
ぶク子ヅスエ山富岡新佐奈
形山山鴻賀良久藤木渡武大成西
恒卷谷邊部門田村

太岡秦船山加渡鬼馬石眞

田田本本藤部塚場原藤

* * *

大中田河龜御岩細中菅三
山田中野井館淵川山原輪
家事科卒業(八十七人)内石入井井一聲有淺青阿阿
田川澤上上色井坂見柳部蘇カ富かノ千保た貞シイト
ネ惠リア鶴子す子メツ福高群宮和愛愛北柄新岩岐
島知馬崎山媛知道木鴻手草山富岡新佐奈
形山山鴻賀良

* * *

竹田鈴重坂粉小小桑工北喜河河笠岡大
川中木原友口川鹽山木藤島多野井井登山橋
月いちゆさヤ賀クなきミキみ熊げカトミ
興れをうわヨ壽ニのさ政ツ順クつ尾いツエ子
大宮山崎茨長奈青長鳥岡宮福愛京高福福熊佐
兵青分城形玉城崎良森野取山崎岡媛都知井島本賀庫森中原林飯上竹和石大植由石井廣小上井
西田野原内田川櫛野村坂上田谷尾土

* * *

吉戸八矢村水三宮宮松巻細本堀藤藤瀧服新
江木橋島田沼木崎田井田田江本森原崎岡部田リユ千フ徳多丘キキヤハルエ
照シナラ萬ク子可いミヨイミ
代代代代代代代代代代代代代代代代代代代代代北福東埼鹿兒島三千和歌山岩兵山山山山山
北海道岡京玉重葉山庫手木島口口口口口口

内玉後犬我香石
藤橋藤童部川橋
よ須妙ツキて
う磨馨安ルンふ
愛新東東沖香青
知湯京京繩川森

吉安山森宮堀
野江縣崎田田村
や菊靜々千ルたノ
す江子カ代リよア
崎島山廣香大山北
玉根口島川分製
海廣千福千葉

佐河石藤海老沼
藤野井井田
古瀬平樋濱原西戸
谷川口田川倉内毛
美サキミリセハハ
代キヨホノサマルツ
東宮鹿兒新福長香
京崎島道湯闇野川
井加高尾藤
畔藤橋崎原
鈴城佐佐小北菊河
木川藤松澤地島藤
きイエカサはるキ
ぬクイウト志コ子
宮鹿兒新宮長岩
城島湯崎野手島
大正七年三月
家事科第一部卒業
(二十一人)

成鎌松
田田山
秋凌漆
居山
邦ひ綾
美さ子
高靜大愛
北海道
北海南道
成田チヤウ
上甲斐
元村田木
西田豐
みどり喜
さ子ネ
青群香宮
鹿兒福
森馬川城
森城岡

大正七年三月
家事科第一部卒業

(四十五人)

京都府立第一高等女學校委託生

大正六年三月
家事科第一部卒業
(六十一人)

東京裁縫女學校委託生

共立女子職業學校委託生
由櫛花野城大
本口岡村間和
静綾ウ千菊
于豊夫メ代
新宮山大香東奈
湯城梨分川京良
北海道京岡

山山村美藤竹杉佐黒鴨伊
崎本松野田内油藤坂下藤
ウはつこメ子女文覺ヨ
宮城新宮山大香東奈千
城湯城梨分川京良葉
北海道京岡

大正六年三月
家事科卒業
京都府立第一高等女學校委託生
瀬鈴岸北大漆
戸木田川塗畑山
邦ひ綾
美さ子
高靜大愛
秋凌漆
居山
邦ひ綾
美さ子
高靜大愛
北海道
北海南道
成田チヤウ
上甲斐
元村田木
西田豐
みどり喜
さ子ネ
青群香宮
鹿兒福
森馬川城
森城岡

大正六年三月
家事科第一部卒業
京都府立第一高等女學校委託生
吉三堀演林田開岡大太
野田中中根崎中
やた喜田鶴榮
ちづ久
静岡
千古
野川
高田
幸アヨシ
枝キエサ
和歌山
東群東
高山
神奈川
千福
京馬
知京
手葉井
諸川
龍尾
よしの
ま川
和歌山
滋賀
兵庫
和歌山
京都
都

吉浦	辻中西藤松山
東京裁縫女學校委託生	田井川林
鷺谷山中本口富藤藤藤原	重喜操
澤徳サ梅千シ富浦ヨ梅たキヨミ代	代代イ代巻ナ尾野ネ子き
愛岩柄和長香山青岩東京富神奈	石石徳東京滋
媛手木山野川形森手京都山川	川川島京都賀
和洋裁縫女學校委託生	共立女子職業學校委託生
藤長田下黒大市巻川口田澤西原	吉山山松原千鈴佐木大奥市
やあ慧キノ玉喜代美	田本口田田金木藤村橋村河
ふい子ヨウ枝美	ト静文ハ春トフ八壽重
山青愛熊柄岐北海道	みノ子春貞乃江シ浅ミ
形森媛木阜	福富長富岡島宮長東神靜
媛本木阜	島山野山山根城崎京川岡
眼田部村	田村岡石青葦
谷山崎井木原	體操家事科卒業(二十九人)
太田田園鈴信櫻齊小久保大江出石伊足	大正九年三月
城中村木開井藤島池島内浦川藤利	久谷津原浦川藤利
ヨセキ定ハれキフ清ミタ糸照キモテキクノ	(二十九人)
ジキン子ヨロミ子サマ子ヨジ子	千慶
柄山茨愛宮大香東岡新茨高長山長北海	木形城知城阪川京山鴻城知野口野
木奈川	神奈川

藤山守	田千杉山黒
井岡屋	所倉澤本田
* 渡邊吉宮宮増西中永富對高瀬	
辻高杉兒角	邊田城岡本田田村野田馬橋戸
長谷波垣浦玉田	ハスオ玉登岩八ノ
幾美子マ樂コ玄	えちキ利
兵三奈愛和歌山都	愛ヨガト代美惠代ア文るか×子
庫重良知葉森川重	石福熊沖廣茨兵青奈高千青香三
共立女子職業學校委託生	川岡本繩島城庫森良知葉森川重
森林庄小川石司池侯森	廣牧野瀨
タマ子ヨナカナヘシヨ愛貞	柴はつよ
兵福山靜柄岩	兵福山新福長山愛福宮
庫岡形岡木手	德岡京島山都
大正八年三月	和洋裁縫女學校委託生
京都府立第一高等女學校委託生	家事科第二部卒業(四十七人)
高杉駒岡岡石川	三別竹關佐神楓
田山木瀬田	宅府内根藤岡
八重子根きよシエ	キヤリト初テキ
京三岐廣新鴻岡	よスツミ音イン
都重重阜	石鹿児島田木崎鴻鴻

上伊吉三味鹿杉稻古久大平永石
利藤野山村次部原石野見原
*
長堀蓮時塚末柴島新佐木河川加小山楓伊荒安
谷本田瀬永田崎谷木野村崎藤寄田本藤井東
テまつ静滿フトフさコ小せさしハ静セ俊彌壽子
イ枝壽ミキコよウ花いく滿んナ江直イ子
山和福神千長新福奈宮山千兵兵廣佐徳柄島岡
日山井川葉崎鴻井良城形葉庫庫島賀島木根山

大正十年三月 家事裁縫科卒業(七十二人)

四北佐甲
方岡木妻
山矢松松二橋仁中德大伊
田野本宮見本子村弘島藤
チタ夏ミハキ民サ美潔靜
ヨロ江エミ興ガ代子子
京福奈福宮香岡鹿高岡鳥
都岡良井崎川山島知山取
共立女子職業學校委託生

湯山村村水松櫛
浅岡井山野木本
君千しつ靜
キクエ初子早げチ江
京鹿鳥宮岐大香
都知島取崎阜分川

京都府立第一高等女學校委託生

申武炭影歌青
西川山崎山田柳
満きく富イツ雪
の士キ操蕙ね
愛山富奈福香群
知梨山真島川馬
共立女子職業學校委託生

安森宮壇藤土竹反重佐获有
田永崎井原淵内田村野原藤
み清ゆはタ千美シアシブサ
つ子繁ゑ代ツ代ズナノサ生
山岡香靜山柄崎神長富福島
形山川岡梨木玉川崎山岡根
東京裁縫女學校委託生

鷺谷 富荒林 萱島
田木 島

山八根宮堀藤日原中南得
下木木尾巻高村葉丸
竹田佐々木後河古稻田
本邊藤賀上島田
ます政シサダハルヘ
公清枝ヤナ
兵京岡島佐宮和歌福井
都山取賀崎山

京都府立第二部卒業(四十四人)
第一高等女學校委託生

松藤野辻
尾原田
島山志津
リ繁ム美
コマアル
ツ野い知
福岡京長
岡山都崎
松藤野辻
片秋
島山志津
リ繁ム美
コマアル
ツ野い知
福岡京長
岡山都崎
森福藤西清
救仁鄉本
島山志津
アヤコ子
片秋
島山志津
リ繁ム美
コマアル
ツ野い知
福岡京長
岡山都崎
共立女子職業學校委託生

渡山山三原仁西御品城
近佐々木藤
前檜根田鈴佐
田垣岸中木藤
ミサナ保世
シゲヨヒサノ
東愛崎佐福
山長靜千佐
京奈福山
北海道
梨崎岡葉賀
山良都岡
日岡

東京裁縫女學校委託生

和洋裁縫女學校委託生

共立女子職業學校 委託生	稻井	高瀬 鈴	小栗	中力	西宮	中
	澤井	中須	木西	原野	安川	村
今朝美子 生	久千	君ち	三千	ト信久	シ美	静
	代子	代子	千穂	代サ	ミ子	シエ
長廣	廣愛	三富	新長	三三	長秋	新岡
	島知	重山	鴻野	重野	田鴻	賀知
野島	島知	重山	鴻野	重野	田鴻	根知
	島	島	島	島	島	島

和洋裁縫科 委託生	藏八	富高	北春	打日	和吉	山守	松澤	坂倉
	井木	井木	木松	根井	田谷	井田	田口	田
良き	和文	實榮	セ	八子	ミサ	初あ	小鶴	繁
	江子	雄喜	シ	正重	サク	枝き	柳	ち
京都	京廣	群東	高千	東茨	秋新	京愛	廣神	兵宮
	山都	島馬	京知	葉京城	田鴻	都知	島庫	城玉野

東京女子專門學校 委託生	加井	安藤	山村	深藤	彦長	高住	新佐	小桂	川
	上達	永	頭井	野澤	根野	崎田	開藤	林田	原
綾子	トチ	郁子	ナタ	ヨミ	チマ	あ松	幾	靜	ト
	アキ	子	カカシ	英子	マエ	や喜	蕙	靜	ク
静福	大福	岡分	長岩	山東	愛滋	長兵	高岡	新北	佐
	岡	岡	崎手	口京	知賀	崎庫	知山	鴻道	賀

大正十二年三月
家事裁縫科卒業(四十人)

和洋裁縫女學校委託生
家事裁縫科畢業(一人)
孫貞圭

文千鈴須小龜金河奥遠
本秋木賀林尾崎野田藤原原澤野
信ヲツフ壽はる由ナ知
猪イるヤ子の靜富基ス孝シ子
朝高長東廣兒鳥東愛青新山福神奈
餅知崎京取取京媛森湯形岡手日

是枝木上宮小野伊島村藤大林串
大正十一年三月
體操家事科卒業(二十九人)

谷竹館田園鈴杉柏酒押岡岡江上荒
内邊谷木崎山原原井南司島村口野原羽川
あさま敏シズ茂留節ツルエ子カト美ミ代
榮きぬち子エ枝千枝子子子子子
鹿富愛崎島大靜岡高山兵宮群大佐福長佐
兒島山知玉取分岡山知知形庫崎馬阪賀島野賀

淺折横重田原見久
大正十一年三月
家事裁縫科卒業(四十六人)
京都府立第一高等女學校委託生
清坂猿小古江上岩飯水米森村向宮演中恒
水元野山立藤野泉田尾井原野村川
壽千松フ貞イ美臺美子春花
枝妙鶴枝サ子ヨ枝ミサチサエ
島山宮熊和歌山長廣大秋東岡兵福奈
根口崎本京田島良山知崎口都

石 橫辛黒 ◎ 阿 ◎ 本天柳 ◎ ◎ 岩丸 ◎
橋 山島木 部 城野生 井尾

吉吉山森毛村村水美正橋根新中傳辻高田鈴佐酒
澤井根 利松野上木濃木日本里野田 橋村木久井
マ常滿綏ス壽ナ 百き卷トヨユ久忍イヤ千タ勝久
エ代留子ナ子ツ繁代し子ミコキ子んチヨ枝ケ子尾
長岡茨大宮福滋高青北福長廣沖愛長福秋香千石兵
崎山城分崎井賀知森道島崎島繩知野岡田川葉川庫

工 森藤近大飯 佐 内 石松 浅伊栗
藤 川井藤境田 濱 山 間下 見形原 國語漢文科卒業

高高瀧庄下清齋後柳河鬼鬼大大大入一石淺赤安
山橋 野屋水藤生野塚塚井橋谷江方井野星藤業
きクミヤけ久か好キモ敬光チ英 師 喜 み
のリテエイ呼芳ギ子エ子子ヨ子玉代徳子和ち
長岩大山兵愛山愛石大熊長高新京橋大北埼熊三
野手阪口蘆媛形知川分本崎知湯都木阪道玉本重

藤 今新高田 須 増 大青 駒三赤福長塙
原 井里木潤 康 井 津柳 田上父 田島本

若吉横與山南福東演原原張檜鍋富外土照土津
楓田井嶺田 原山日田 間橋島田崎居沼屋田
雪密轡ト千サ延テ歳ニウ ムはトキ松節
枝子子ミ龍子子ル子清エメ英榮メシヨ枝子
島福千沖山德福秋高香佐青福高三青富茨堺福
根島葉繩梨島島田知川賀森岡知重森山城玉岡

横松西小吉柿
山郷村林川山
つ登保房清千
子枝生

矢村星深迺高祖齊倉石今合
吹田野川島田來藤科田田谷
智さ純貞タ福マツミツノ
子だ子子ツ子エ好ム代ノ子

岡滋長富新徳奈山長崎廣福
山富京岡島島
山賀野山湯島良形野玉島島
形山都山根取

大正十三年三月
理科家事科卒業(二十五人)

和洋裁縫女學校委託生

小横鈴 木水
澤山木 下科
鹽佐兒笠金蚊河川 小小荻岡石
野木島原田野上野寺川田田井
ヤフヤ次貞モノ静きキ
孝政いミス枝子んア江子香ミ
三長愛福柄神山岐和新宮千大
重野知島木川梨卓山湯城葉分
山福千福宮
形岡葉島城

高◎◎◎ 山淺飯馬普吉坂五百
橋 口川川場喜田口木 藤

體操家事科卒業(三十人)
城太植上今井荊
殿田植村原村上木
喜かマな鐵カシフ
代よヨ江子ツンミ
長宮岩靜福鹿神新
野城手岡岡川湯

横森島新中中土露玉橋高妹
瀬本山原島尾手口置橋尾
スミキ謹照シ譽
マキ鐵ミ子代ツ子光新うふ
徳福石鹿山秋奈愛島茨山岡
島岡川湯口田良媛根城形山

卒業者

卒業者

對塚田田竹曾根須坂小高久保狩尼川大江石泉荊熱
馬越原波中澤岡藤本林良谷原崎野坂木田
靜ヒふア勢なミサヲキ清綾カ信美好豊ト敏ウ
枝テじサ喜かク操江節子子代子子シタ綠
青群茨柄岡群廣茨大群鹿兒島長崎富山新潟
森馬城城木木山島城分馬島園知葉賀

前科阿有稻池河太紀氣桑柔七鹽白鈴鈴內直
家島原原業部妻田木葉田野田木原種石木木木
通淑子子文之英香る子継ん子イリ代いみみ
し文之英香る子継ん子イリ代いみみ
川口野長岡山城島見鹿福岡大分岡崎都城岡
川野長岡山城島見鹿福岡大分岡崎都城岡
樹長愛媛媛長野岡山城島見鹿福岡大分岡
覺茨宮京長靜靜岡都知城岡野知城岡都
木野知城岡都知城岡野知城岡都

五九

矢野房子	大分	昭和二年五月
歴史地理科卒業		
小木曾 八千代		長野
昭和三年三月		
家事裁縫科卒業(八人)		
東京女子専門学校委託生		
加藤やちよ 宮城		
共立女子職業學校委託生		
小幡英廣島		
和洋裁縫女學校委託生		
船垣ハル 愛知		
中田房子 福井		
女子美術學校委託生		
木幡千代 福島		
西澤多計代 北海道		
長野		

白信新高高高高高
井耕芳庄須橋綾熙
中中中中中中
谷川島川野川藤川
早島時子子ヨ斐ル
廣瀬佐良田川登喜世
細川月川貴代子ヨ
渡瀬川野川園子サヨ
逸本川月川子ヨ
邊川月川貴代子ヨ
キクエトミ子ヨ
キクエトミ子ヨ
滿津治みよ
雪子ヨ
キクエトミ子ヨ
石富長靜兵東島富山
三富山兵庫根京山山
福岡長野山山山山
大山兵庫根京山山
三山兵庫根京山山
分重口梨山山山山
岐阜島

五八

卒業者

六一

合	昭	昭	昭	大	大	大	大	大	大	大	大	大
和	和	和	和	正	正	正	正	正	正	正	正	正
五	四	三	二	五	四	三	二	十	九	八	七	六
計	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

二	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	七	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
四	六	二	七	一	三	三	二	一	〇	九	一	九
六	六	二	〇	一	三	一	二	五	一	一	一	一
二	一	三	五	一	四	四	四	一	一	一	一	一
二	一	五	一	一	三	二	一	一	一	一	一	一
二	六	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
六	〇	二	五	一	三	一	二	六	一	六	一	一
二	五	六	一	一	〇	一	一	一	一	一	一	一
一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	五	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	四	六	一	一	九	一	一	一	〇	三	二	二
九	八	一	一	二	七	六	九	七	五	九	〇	八
一	三	一	一	三	四	六	一	一	一	一	一	一
八	一	一	一	一	一	二	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	五	五	四	六	二	八	一	〇	二	四	四	一

二

卒業者數

三星古
浦野

須磨子

石東山
川京日

山山山

本室日

武ヒム
子サミ神奈川
静岡岡

横關

貞子

長野

計

年次	學科	卒業者ハ總計千百七十五人ニシテ其ノ年次學科別左ノ如シ												
明治四十二年	科語英	二	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十三年	科事家	五	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十四年	部第一 家事科	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十五年	部第二 家事科	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十六年	科裁縫 家事	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十七年	科家事 體操	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四十八年	科家事 理科	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治四九年	科漢文 國語	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五十一年	科理 地理	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五十二年	科地理 歷史	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五十三年	學高立京校等第都女一府家事裁縫科	九	二	三	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五四年	學子專門東京女校家事裁縫科	九	三	〇	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五五年	學子職業立女校裁縫科	七	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五六年	學校美術女子校縫女學	七	八	〇	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五七年	學校戶板縫女學	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五八年	生誘聽	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明治五九年	計	八	四	四	八	一	一	六	一	一	六	一	一	一

六〇

第九 敷地及建物

敷地及建物ハ東京女子高等師範學校敷地及建
物ノ一部ヲ使用ス但寄宿舎ハ之ヲ牛込區揚
町二十番地ニ設ク

六二

附錄

第六 臨時教員養成所寄宿舎生徒 規約

第一章 約領

第一條 私共寄宿舎生徒ハ寄宿舎規程第一條
ノ精神ヲ體シ規則命令ヲ遵守シテ本所教養
ノ趣旨ニ添フヤウニ努メマセウ

第二條 私共寄宿舎生徒ハ自治ノ精神ニ基キ
舍内ノ秩序ヲ整ヘ風儀ヲ正シ衛生ニ留意シ
且趣味ノ向上ヲ圖ツテ寄宿舎ヲ清新和平ノ
場所トスルヤウニ努メマセウ

第三條 私共寄宿舎生徒ハ秩序整頓及風儀ニ
關シ日常左ノ各號ニ注意致シマセウ

- 一 日課時限ヲ嚴守スルコト
- 二 室内ノ整頓ニ注意スルコト
- 三 許可ナシニ備付ノ物品ヲ他ニ移動シナ
イコト
- 四 無断テ他人ノ室ニ立入ラナイコト
- 五 默學時間及就寢時限後ニ於テ放歌、雜談
其ノ他總テ喧嘩ニ渉ル舉動ヲシナイコト
- 六 金品ノ貸借ヲシナイコト
- 七 金品ヲ紛失シタ時ハ其ノ多寡值打ニ拘
ラス即時寄宿舎主任ニ届出ルコト
- 八 亂髪テ室外ニ出ナイコト
- 九 衣ヲ着ケヌ場合ハ必ず廣帶ヲ結フコト
- 十 言語ヲ明瞭ニ且丁寧ニスルコト
- 十一 方言ノ矯正ニ努メルコト

其ノ他女子トシテノ品位ヲ失ハナイヤ
ウニ注意スルコト
第四條 私共寄宿舍生徒ハ清潔及衛生ニ關シ
左ノ各號ニ注意致シマセウ
一 當番ヲ定メテ毎朝各室其ノ他所定區域
ヲ丁寧ニ掃除スルコト
二 每月一回各室一齊ニ大掃除ヲ行フコト
三 每週一回以上所定區域ノ庭掃除ヲ行フ
コト
四 着衣ハ時々之ヲ洗濯シ肌衣ハ殊ニ度々
之ヲ着換ヘルコト
五 洗濯ハ休日其ノ他適當ノ時ヲ選ンテ之
ヲ行ヒ乾キ次第速ニ取入レルコト
六 洗濯物ヲ鹽ニ浸ケタ儘長ク放置シナイ
コト
七 頭髪ヲ清潔ニスルコト
八 朝手水ノ用水ハ疾病其ノ他特別ノ事情

アル者ノ外總テ冷水ヲ用セルコト
九 寢具類ハ適宜日光ニ曝シ能ク塵埃ヲ拂
フコト
十 濕氣ノアル被服等ハ物干場洗濯場又ハ
廊下テ乾カシ室内押入内等ニ之ヲ納置シ
ナイコト
第五條 私共寄宿舍生徒ハ炊事、食事ニ關シ左
ノ各號ニ注意致シマセウ
一 炊事委員及週番ノ外直接賄方ニ交渉シ
ナイトコト
二 病氣ノ爲特別ノ食事ヲ要スルトキハ豫
メ炊事委員ニ申出ルコト
三 食器ヲ大切ニスルコト
四 食費ハ必ス毎月一日ニ週番ノ手許迄差
出スコト
五 食事ニ關スル作法ヲ守リ亂雜喧噪ニ流
レナイヤウニ注意スルコト

六 食卓ニ供ヘタ物ノ外妄ニ他ノ食品ヲ用
ヒナイコト但病氣等ノ場合ハ適當ノ物ヲ
用ヒテモ差支無イコト
七 朝ノ食事ニハ必ス全員打揃ツテ朝禮ヲ
スルコト
第六條 私共寄宿舍生徒ハ外出ニ關シ左ノ各
號ニ注意致シマセウ
一 外出ニハ必ス袴ヲ着ケルコト但神樂坂
及牛込驛迄ハ帶テモ差支ナイコト此ノ場
合ハ足袋ヲ穿クコト
二 路上及車室内テ高聲ニ談笑シ其ノ他人
目ニツクヤウナ舉動ヲシナイトコト
三 服装ハ質素ヲ旨トシ人目ニ立タナイヤ
ウニスルコト
四 外出簿ノ記入ハ成ルヘク之ヲ精細ニス
ルコト
五 必ス名札ヲ反スコト

六 正シク門限ヲ守ルコト
七 チ團體ノ臨時外出ハ一兩日前ニ代表者ヲ
立テ寄宿舍主任ノ許可ヲ受ケルコト
第七條 前各條ノ外尙左ノ各號ニ注意致シマ
セウ
一 肩籠ト芥箱トノ使用ヲ嚴重ニ區別スル
コト
二 電氣及水道ヲ成ルヘク經濟的ニ使用ス
ルコト
三 電話電氣アイロン使用上ノ注意事項ヲ
嚴守スルコト
四 面會人ニハ所定ノ要項ヲ面會簿ニ記入
シ寄宿舍主任ノ承認ヲ經テ應接間テ面會
スルコト
五 信書其ノ他ノ郵便物ハ寄宿舍主任ノ檢
閲ヲ經タ後ニ受領スルコト

第八條 寄宿舎ニ左ノ六部ヲ設ケ各部ニ委員ヲ置キマス但寮務部委員ハ寮總代及室總代カ之ニ當リマス

各部ニ委員ノ外週番ヲ置キマス

一 寮務部

二 烹事部

三 衛生部

四 圖書部

五 娛樂部

六 會計部

一 寮務部

二 烹事部

三 衛生部

四 圖書部

五 娛樂部

六 會計部

第九條 寮總代ハ左ノ事務ヲ掌リマス

一 寄宿舎主任ノ指揮ニ從ヒ其ノ寮ノ常務

二 本規約第六章第三十六條ノ施行ノ任ニ當ルコト

三 寮共有ノ備品ヲ保管スルコト

第十條 室總代ハ左ノ事務ヲ掌リマス

一 寮總代ヲ助ケテ其ノ室ノ常務ヲ取扱ヒ

二 室内ノ備品ヲ保管スルコト

三 室友中ニ病者又ハ事故ノアル者カ出來タトキハ直ニ之ヲ寄宿舎主任ニ報告スルコト

四 室内ノ戸締及火ノ元ニ注意シ其ノ責任ヲ負フコト

第十一條 烹事ハ寄宿舎テ直營シマス

第十二條 烹事部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中)カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

四 就寝前各室ヲ巡視シテ戸締火ノ元等ニ注意スルコト

第五條 室總代ハ左ノ事務ヲ掌リマス

一 寮總代ヲ助ケテ其ノ室ノ常務ヲ取扱ヒ

二 室内ノ備品ヲ保管スルコト

三 室友中ニ病者又ハ事故ノアル者カ出來タトキハ直ニ之ヲ寄宿舎主任ニ報告スルコト

四 室内ノ戸締及火ノ元ニ注意シ其ノ責任ヲ負フコト

第五條 烹事ハ寄宿舎テ直營シマス

第六條 烹事部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中)カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

第七條 烹事ハ寄宿舎テ直營シマス

第八條 烹事部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

第九條 烹事ハ寄宿舎テ直營シマス

第十條 烹事部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

第十一條 烹事ハ寄宿舎テ直營シマス

第十二條 烹事部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

第十三條 烹事部委員及週番ハ左ノ事務ニ當リマス

一 每週木曜日迄ニ次週ノ献立ヲ調製シ寄宿舎主任ノ検閲ヲ受ケルコト

二 烹事部所屬ノ下婢ノ勤惰、食堂ノ整理割烹器具ノ清潔保存等ニ注意スルコト

三 日々炊事ニ關スル金錢ノ出納ヲ掌リ四週ノ末ニ決算ヲシ寄宿舎主任ノ検閲ヲ經テ舍生全部ニ報告スルコト

第十四條 衛生部委員ハ二名トシ第二學期末ニ第二學年生徒中(第二學年ノ生徒カ無イ場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマス但聽講生テハ第三學年生徒中カラ之ヲ互選シ

第十五條 衛生部委員及週番ハ左ノ事務ニ當

第十六條 圖書部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十七條 圖書部委員ハ左ノ事務ニ當リマス

一 圖書ノ整理及保管ニ關スルコト

二 寮友ノ意見ニ依リ寄宿舎主任ノ指導ノ下ニ圖書ヲ購入スルコト

三 圖書部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

四 圖書部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

五 娛樂部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六條 圖書部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七條 娛樂部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第八條 娛樂部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第九條 娛樂部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十條 娛樂部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第二十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第三十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第四十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第五十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十八條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第六十九條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十一條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十二條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十三條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十四條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十五條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十六條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十七條 衛生部委員ハ各科一名宛トシ第二學期末ニ生徒中カラ之ヲ互選シマス

第七十八條 衛生部委員ハ各科一名宛ト

學期末ニ第二學年生徒中第二學年生徒カラ無
イ場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマ
ス但聽講生テハ第三學年生徒カラ之ヲ互選シマ
ス

第十九條 娛樂部委員ハ左ノ事務ニ當リマス
一 寮總代ト協議ノ上寄宿舍主任ノ承認ヲ
經テ茶話會、遠足會、音樂會其ノ他趣味アル
會合ヲ催スコト
二 各寮ノ娛樂器具ヲ整理保管スルコト
三 寮友ノ希望ヲ參照シ寄宿舍主任ノ承認
ヲ經テ娛樂器具ヲ購入スルコト
四 寄宿舍生活ニ於ケル趣味ノ向上ト慰安
トニ留意スルコト

第二十條 會計部委員ハ二名トシ第二學期末
ニ於テ第二學年生徒中第二學年生徒カラ無イ
場合ハ第一學年生徒中カラ之ヲ互選シマス

六 會計部

第二十一條 會計部委員及週番ハ左ノ事務ニ
當リマス

但聽講生テハ第三學年生徒カラ之ヲ互選シ
マス
一 寮生カラ差出シタ食費及舍費ヲ取經メ
食費ハ之ヲ炊事部委員ニ渡シ舍費ハ之ヲ
銀行ノ預金トスルコト但預金通帳ノ名義
及保管ハ寄宿舍主任ニ委嘱スルコト
二 舍費ハ每學期始ニ其ノ收支ノ豫算ヲ編
成スルコト但圖書費、娛樂費ノ豫算ニ就イ
テハ先ツ當該委員ト協議スルコト
收支豫算ハ役員會ニ提出スルコト
三 每月末ニ舍費ノ決算表ヲ作製シテ寄宿
舍主任ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生
全部ニ報告スルコト

第四章 會計

第二十二條 食費及舍費ハ左ノ通トシ毎月一

日之ヲ納入スルコトニ定メマス
一 食費 一日金五十錢ノ割
一 舍費 一箇月金壹圓參拾錢
第二十三條 舍費ノ目ヲ左ノ通ト致シマス
一 圖書費
二 娛樂費
三 炊事以外ノ石炭及木炭費
四 通信費其ノ他

第五章 諸會合
一 役員會
第二十五條 寄宿舍生活ノ改善ト向上トヲ圖
ル爲ニ毎月一回役員會ヲ開キマス但急ヲ要
スルトキハ臨時ニ之ヲ開キ必要ノ無イ時ハ
之ヲ開カナイコトカアリマス
第二十六條 役員會ハ寮總代室總代及委員テ

之ヲ組織シマス但毎回寄宿舍主任ノ臨席ヲ
請フコトニ致シマス
第二十七條 寄宿舍生徒ハ役員會ニ議案ヲ提
出スルコトカ出來マス但其ノ取捨ハ寮總代
カ委員ト協議シテ之ヲ定メマス
第二十八條 役員會ノ議案ハ寄宿舍主任ノ諮
問案及役員ノ提案トシ會議ノ三日前ニ掲
示スルコトト致シマス
第二十九條 役員會テ決議ヲスル場合ニハ役
員總數ノ三分ノ二以上ノ出席ヲ要シマス
決議ハ過半數テ之ヲ定メマス
第三十條 役員會ノ決議ハ寄宿舍主任ノ承認
ヲ得テ之ヲ施行シマス
第三十一條 舍生相互ノ修養ニ資スル爲ニ毎
月一回第一土曜日午後七時カラ自治會ヲ開
キマス會合ノ情況ハ寮總代カラ寄宿舍主任

ニ報告シマス

三

誕生會

第三十二條 祝日祭日ノ晩餐會ヲ兼ネテ舍生ノ誕生會ヲ開キマス

四

寮會

第三十三條 寮生相互ノ親睦ヲ圖ル爲ニ寄宿舍主任ノ承認ヲ經テ一年一回以上寮會ヲ開キマス

五

雜巾會

第三十四條 舍内ノ清潔整理ニ用ヒル爲廢物ヲ利用シテ一年一回各寮テ雜巾ヲ作リマス

六

其ノ他ノ諸會

第三十五條 前各節ノ會合ノ外寄宿舍主任ノ承認ヲ經テ臨機ニ歡迎會、送別會、慰勞會、祝賀會等ヲ開キマス

第六章 雜件

第三十六條 寄宿舍生徒中テ本規約ニ背キ生

徒トシテノ本分ニ戾ル者カアルトキハ寮總代ハ之ニ忠告ヲ加ヘ尙改悛シナイトキハ寄宿舍主任ニ具申スル事ニ致シマス

第三十七條 本規約ノ訂正、削除、追加等ノ必要ヲ生シタ時ハ役員會ノ決議ニ依リ寄宿舍主任ヲ經テ管理者ノ承認ヲ受ケル事ニ致シマス

昭和五年十月二十八日印刷
昭和五年十月三十一日發行

(非賣品)

東京女子高等師範學校

東京市麹町區飯田町二丁目廿七番地

合資會社佐藤正三商店支配人

印刷者 笠川寅吉
二原堂
印刷所 富谷盛吉

東京市本郷區本郷四丁目三十九番地

